

平成21年度
公務災害・通勤災害発生事例集

平成22年10月

地方公務員災害補償基金広島県支部

目 次

1	はじめに	1
2	公務災害の発生状況の分析	2
①	義務教育学校職員	2
②	その他教育職員	9
③	警 察 職 員	14
④	消 防 職 員	20
⑤	電気・ガス・水道事業職員	24
⑥	運輸事業職員	28
⑦	清掃事業職員	32
⑧	その他の職員（医療）	36
⑨	その他の職員（医療以外）	42
⑩	公務災害全体	49
3	通勤災害の発生状況の分析	52
4	第三者加害事案の発生状況の分析	58
5	凡例	64

1 はじめに

この事例集は、平成21年度の公務災害及び通勤災害（以下「公務災害等」という。）の認定事例を9職種別に分析し、とりまとめたものです。

当基金では、公務災害等が発生した場合に迅速な補償の実施に努めているところですが、まずもって公務災害等の発生を発生させないことが重要であると考えており、その防止に力を入れているところです。

各任命権者や所属長におかれては、この事例集を参考にして、災害がどういう状況で発生しているかを認識し、今後、どのように防止していけばいいかを考える契機にいただければ幸いです。

2 平成21年度 公務災害・通勤災害に係る職種別の状況

職 種	対象職員 (人, %)		認定件数 (件)		職員千人当 り災害発生率 (%)		災害補償費等 (千円)	負担金に対す る災害補償費 等の比率 (補償費等/ 負担金)
	人数	構成 比	公務 災害	通勤 災害	公務 災害	通勤 災害		
義務教育学校職員	16,001	30.0	93	6	5.8	0.4	136,900	1.68
その他の教育職員	7,609	14.3	49	6	6.4	0.8	58,232	1.07
警 察 職 員	5,607	10.5	87	11	15.5	2.0	203,975	1.71
消 防 職 員	2,253	4.2	19	1	8.4	0.4	50,099	2.00
電気・ガス・水道事業職員	1,185	2.2	6	0	5.1	0.0	14,252	1.36
運 輸 事 業 職 員	258	0.5	7	5	27.1	19.4	16,199	5.85
清 掃 事 業 職 員	657	1.2	19	2	28.9	3.0	24,003	1.71
船 員	29	0.1	0	0	0.0	0.0	0	0.00
そ の 他 の 職 員	19,644	37.0	173	37	8.8	1.9	179,097	1.37
合 計	53,243	100.0	453	68	8.5	1.3	682,757	1.55
全国 (平成20年度)					9.8	0.9		1.03

平成21年度の広島県支部の「職員千人当たりの災害発生率」は公務災害が8.5%、通勤災害が1.3%となっており、全国平均（平成20年度）と比較すると、公務災害は全国平均の9.8%を下回り、通勤災害は全国平均の0.9%を上回っています。

また、平成21年度の広島県支部の「負担金に対する災害補償費等」の比率は1.55で、全国平均（平成20年度）の1.03を大幅に上回っています。

【義務教育学校職員】

〔分析結果〕

- 40 職種別では、その他の教育公務員 90.3%、養護学校教員 6.5%、栄養士 2.2%、一般事務職 1.0%となっている。
- 男女別では、「女性」が 60.2%、「男性」が 39.8%となっている。
- 年齢層別では、「50 歳代」が 34.4%で最も高く、「40 歳代」が 33.3%で続き、40 歳代以上で 67.7%と 7 割近くを占めている。
- 月別分類では、「4 月」が 14.0%で最も高く、「9 月」11.8%、「12 月」10.8%が続いている。
- 曜日別分類では、「水曜日」と「金曜日」が 21.5%で最も高く、「月曜日」18.3%が続いている。
- 時間別分類では、「16 時」が 15.1%で最も高く、「9 時」12.9%、「10 時」と「14 時」11.8%が続いている。
- 事故の型別分類では、「転倒」が 35.5%で最も高く、「墜落・転落」11.8%、「はさまれ・巻き込まれ」10.8%が続いている。
- 起因別分類では、「分類不能」を除き、「仮設物・建築物・構造物等」が 23.7%で最も高く、「人間」17.2%、「起因物なし」16.1%が続いている。
- 傷病別分類では、「骨折」が 33.3%で最も高く、「打撲・挫傷」31.2%、「創傷・擦過傷」20.4%が続き、これらで 84.9%を占めている。
- 治癒の状況は、平成 22 年 9 月 30 日現在で、「治癒」68.8%、「未治癒」が 31.2%となっている。
- 療養期間は、平成 22 年 9 月 30 日現在で、「1 月未満」が 33.2%で最も高く、「1 月以上 3 月未満」22.6%、「12 月以上 18 月未満」19.4%が続いている。
療養期間が 12 月以上に及ぶものが 23.7%になっている。
平均の療養期間は 5.6 月となっている。
- 災害発生場面別では、「校内移動中」と「児童・生徒に対応中」が 16.1%で最も高く、「授業等指導中」14.0%、「教材等準備・後片付け中」12.9%が続いている。
- 任命権別では、「広島県教育委員会」が 48.4%、「広島市教育委員会」が 51.6%となっている。
- 学校種別では、「小学校」55.9%、「中学校」34.4%、「特別支援学校」9.7%となっている。

〔発生頻度が高い災害〕

- 校内移動中に滑って転倒したり、階段を踏み外しての墜落・転落によるけが
- 掲示物の掲示や撤去中の墜落・転落によるけが
- 生徒・児童対応中の故意又は不慮のけが
- 体育授業中やクラブ活動指導中の無理な動作や転倒などによるけが
- 授業や学校行事の準備・後片付け中のけが

義務教育学校職員

区分	項目	実数	割合
9職種別	義務教育学校職員	93	100.0
	その他教育職員		0.0
	警察職員		0.0
	消防職員		0.0
	電気、ガス、水道事業職員		0.0
	運輸事業職員		0.0
	清掃事業職員		0.0
	船員		0.0
	その他の職員		0.0
	計		93
40職種別	医師・歯科医師		0.0
	看護師		0.0
	保健師・助産師		0.0
	その他の医療技術者		0.0
	保育所保育士		0.0
	施設保育士・寄宿舎指導員等		0.0
	調理員		0.0
	養護学校教員	6	6.5
	その他の教育公務員	84	90.3
	社会教育主事		0.0
	警察職員		0.0
	消防職員		0.0
	清掃職員		0.0
	土木技師		0.0
	運転士・車掌等		0.0
	農林水産技師		0.0
	建築技師		0.0
	栄養士	2	2.2
	農業等改良普及員		0.0
	司書・学芸員		0.0
獣医師		0.0	
一般事務職	1	1.0	
一般技術職		0.0	
技能労務職		0.0	
計		93	100.0
男女別	男	37	39.8
	女	56	60.2
計		93	100.0
年齢層別	10歳代		0.0
	20歳代	13	14.0
	30歳代	17	18.3
	40歳代	31	33.3
	50歳代	32	34.4
	60歳以上		0.0
	計		93
月別	4月	13	14.0
	5月	9	9.7
	6月	7	7.5
	7月	7	7.5
	8月	6	6.5
	9月	11	11.8
	10月	8	8.6
	11月	5	5.3
	12月	10	10.8
	1月	6	6.5
	2月	6	6.5
	3月	5	5.3
	計		93
曜日別	月曜日	17	18.3
	火曜日	15	16.1
	水曜日	20	21.5
	木曜日	16	17.2
	金曜日	20	21.5
	土曜日	4	4.3
	日曜日	1	1.1
	計		93

区分	項目	実数	割合
時間別	0時		0.0
	1時		0.0
	2時		0.0
	3時		0.0
	4時		0.0
	5時		0.0
	6時		0.0
	7時	3	3.2
	8時	2	2.2
	9時	12	12.9
	10時	11	11.8
	11時	10	10.8
	12時	6	6.5
	13時	8	8.6
	14時	11	11.8
	15時	9	9.7
	16時	14	15.1
	17時	3	3.2
	18時	2	2.2
	19時	1	1.0
	20時	1	1.0
	21時		0.0
	22時		0.0
23時		0.0	
不明		0.0	
計		93	100.0
事故の型別分類	墜落、転落	11	11.8
	転倒	33	35.5
	激突	9	9.7
	飛来、落下	7	7.3
	崩壊・倒壊		0.0
	激突され	1	1.1
	はさまれ、巻き込まれ	10	10.8
	切れ、こすれ	9	9.7
	高温・低温物との接触		0.0
	有害物等との接触		0.0
	動作の反動、無理な動作	9	9.7
	交通事故		0.0
	故意の加害行為	1	1.1
	踏み抜き		0.0
	破裂	1	1.1
	汚染血液による事故		0.0
	火災		0.0
	その他	1	1.1
	分類不能	1	1.1
計		93	100.0
起因物別分類	建設用等機械		0.0
	その他の動力機械	3	3.2
	自動車(乗用車)	1	1.0
	トラック等		0.0
	バイク		0.0
	自転車		0.0
	注射針等		0.0
	装置、設備	2	2.2
	人力機械工具等	7	7.5
	仮設物、建築物、構築物等	22	23.7
	危険物、有害物等		0.0
	材料	3	3.2
	荷		0.0
	地山・岩石	2	2.2
	立木等		0.0
	水		0.0
	高温・低温環境等		0.0
人間	16	17.2	
動物		0.0	
その他		0.0	
その他起因物		0.0	
起因物なし	15	16.1	
分類不能	22	23.7	
計		93	100.0

区分	項目	実数	割合
傷病名分類	骨折	31	33.3
	打撲・挫傷	29	31.2
	創傷・擦過傷	19	20.4
	火傷	1	1.1
	靭帯・腱断裂	4	4.3
	捻挫(腰痛を除く)	7	7.5
	神経損傷		0.0
	刺傷		0.0
	眼疾患		0.0
	呼吸器疾患		0.0
	その他	2	2.2
	疾病		0.0
	計	93	100.0
治癒の状況 (H22.9.30現在)	治癒	64	68.8
	未治癒	29	31.2
	計	93	100.0
療養期間 (H22.9.30現在) 平均 5.6月	1月未満	31	33.2
	1月以上3月未満	21	22.6
	3月以上6月未満	9	9.7
	6月以上12月未満	10	10.8
	12月以上18月未満	18	19.4
	18月以上24月未満	4	4.3
	24月以上		0.0
	不明		0.0
	計	93	100.0
うち未治癒者の 療養期間 (H22.9.30現在)	3月以上6月未満		0.0
	6月以上12月未満	9	31.0
	12月以上18月未満	16	55.2
	18月以上24月未満	4	13.8
	24月以上		0.0
計	29	100.0	
災害発生場面	校内移動中	15	16.1
	児童・生徒に対応中	15	16.1
	授業等指導中	13	14.0
	教材等準備・後片付け中	12	12.9
	学校行事の準備・後片付け中	8	8.6
	設備等の整備、校内清掃中	7	7.5
	学校行事参加中	7	7.5
	クラブ活動指導中	6	6.5
	研修参加中	4	4.2
	故意の加害行為	2	2.2
	出張中	2	2.2
	調理業務中	2	2.2
	計	93	100.0
	任命権者別	広島県教育委員会	45
広島市教育委員会		48	51.6
計		93	100.0
学校種類別	小学校	52	55.9
	中学校	32	34.4
	高等学校		0.0
	特別支援学校	9	9.7
	計	93	100.0

義務教育学校職員

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
児童・生徒に 対応中 (15件)	激突	創傷(擦過傷含む)	児童の間で騒ぎが起き、徐々に大きくなっていったので、早急に騒ぎを止めようとして、廊下を迂回せず手すりを乗り越えて着地した際に、花壇の石に左ひざを打ちつけて負傷した。
	激突	その他	授業中にけんかをしていた2人の生徒のうち1人を別の教員が教室から連れ出したところ、もう1人の生徒が後ろから突進して再度けんかになり、2人を引き離す際に負傷した。
	激突	打撲・挫傷	調理実習中、2人の児童が諍いを起こしたので、仲裁するため2人の所へ近寄り声を掛けた際に、興奮状態の児童がふりあげた足が腹部にあたり、負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	体育の授業中、大声で話していた児童を他の場所へ連れて行こうと腕を引いたところ、その児童が行くのを嫌がったため、バランスを崩して地面に転倒し、左膝を強く打撲し、負傷した。
	転倒	骨折	休憩時間に児童と鬼ごっこをしている途中、児童の呼ぶ声に振り返ったところ、体のバランスを崩して転びそうになったので、左手をついて体を支えた際に体重が左手にかかり、負傷した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	スクールバスで登校する児童を迎えていた際、スクールバスの方にとび出そうとする児童を追いかけて、ダッシュしたところ、突然、右ふくらはぎあたりに激しい痛みを覚え、負傷した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	介護を要する児童をスクールバスから降ろすため、前かがみになって持ち上げるようにして児童を立たせようとしたところ、背に激しい痛みが生じ、負傷した。
	動作の反動、無理な動作	骨折	課題のある児童がおんぶしてあげるというので、その気持ちに応え、児童の背中に乗ったところ、児童が本気で職員を背負おうとして体を大きく揺らし、児童の肘が肋骨し当たり負傷した。
	飛来・落下	打撲・挫傷	授業中に児童の間で諍いがあり、パイプ椅子を振り上げた生徒を注意しようとした際に、児童がバランスを崩したため、振り上げていたパイプ椅子の脚の部分が前頭部に当たり、負傷した。
	飛来・落下	創傷(擦過傷含む)	男子児童が女子児童の筆箱をとって教室の後方へ逃げ、別の男子児童に筆箱を投げて渡したので、止めようとしたところ、男子児童がもうひとりに投げた筆箱が目当たり負傷した。
	激突され	打撲・挫傷	職員室で別の教員と口論になっている生徒を他の場所で話をするため移動する際に、生徒が開けた戸が後ろからついてあるいて被災職員の顔面及び下腿部にあたり、負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	水泳の授業で、指示に従わずプールサイドへ行こうとした生徒を止めようとしたはずみにバランスを崩し、足を踏ん張った際に、プールサイドのコンクリート部分で足をこすり、負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	捻挫(腰痛を除く)	授業中に発達障害のある児童がオルガンの上に乗ったので児童を後ろから抱えて下ろそうとしたところ、児童が振りほどこうとして中指を捻り負傷した。
	激突	骨折	算数の授業中、教室内を回っていたところ、最前列内側の別の児童が立ち上がり、後ろに引いた右腕が前方に伸びていた被災職員の右手の小指に当たり、負傷した。
その他	創傷(擦過傷含む)	授業指導中、療育手帳を持つ生徒が不適応行動を始めたので止めさせようとしたところ、押さえていた被災職員の手を噛みつき、負傷した。	
校内移動中 (15件)	転倒	骨折	教室右側面と児童机の間の通路を通っていたところ、教室右側面に架けてあった児童の体操服入れのひもに足が引っかかって転倒し、負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	教室を出て職員室のある校舎内に入って左に曲がろうとしたところ、玄関マットからワックス塗りが滑りやすい床面に足を踏み出し、前方に転倒して負傷した。
	転倒	骨折	被災職員は、体育朝会のため更衣して体育館へ行こうとしたところ、足を滑らせて負傷した。
	転倒	骨折	授業に必要な書類を職員室に忘れたことに気付く、教室から走って取りに行く途中、右足のスリッパが脱げかかってプレーキとなり転倒して負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	職員室から教室へ移動中に、階段のおどり場で、下りてきた2年児童とぶつかりそうになりよけたところ、体のバランスを崩し、すべて負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	出張するため玄関を出て雨が降っていて濡れていたスロープを歩いていたところ、突然滑り転倒して負傷した。
	転倒	骨折	学校の玄関を出て駐車場に歩いて行こうとしていたところ、玄関前のステップの段差に気付かず、段差で足を捻って転倒して負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	旗の掲揚をして、掲揚台のあるプール入口の階段を下りていたところ、つまづいて転倒して負傷した。
	転倒	火傷	休憩中に紙面を見ながら教室内を歩いていたところ、置いてあったストーブにぶつかって転倒し、やかんの熱湯がかかって負傷した。
	転倒	骨折	児童への水泳指導を行うため、更衣室からビート板を持ってプールサイドに出て、児童の後を歩いて歩いていたところ、機械室前で滑って転倒し、負傷した。
	墜落・転落	打撲・挫傷	教室から職員室に戻るため、階段で下の階へ下りていたところ、おどり場付近で右足を踏み外し、捻るように転倒して負傷した。
	墜落・転落	骨折	校内の渡り廊下の途中にある下り階段で、足元が暗かったため足を踏み外して転倒し、左足首を捻り負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	骨折	階段で足を踏み外して転倒しそうになったので、とっさに右手で手摺りを掴んだ際に、金具に右手の小指をひっかけて負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	頭髪を茶色に染めている生徒の頭を黒く染めるために職員室へ黒染めを取りに行く途中、廊下を走っていて転倒した際に、手がロッカーに当たり負傷した。
	破裂	その他	廊下を歩行していたところ、児童がエアコンプレッサーで空気を入れていたボールがすさまじい音で破裂し、両耳を負傷した。

義務教育学校職員

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
授業等指導中 (13件)	転倒	骨折	アイススケートの授業を行っていたところ、氷の上で転倒したときに後ろに体重がかかったので、とっさに両手で体を支えようとしたため両手首を強く打ち、負傷した。
	転倒	骨折	マラソンで一緒に走っていた生徒が逆走り始めたので、道の端によって見守っていたが、生徒が戻ってきたので、走ろうと振り返った際、左足を路肩から踏み外し捻挫して負傷した。
	転倒	捻挫(腰痛を除く)	生活科単元で野菜を育てるため畑作りを行っていた。土を耕した後、石灰を取りに行こうと向きを変えたときに、置いてあったくわにつまづき転倒し、負傷した。
	転倒	捻挫(腰痛を除く)	体育科の授業で、ハードルの指導中に、見本として実際に跳んだところ、ハードルに足が引っかかって転倒し、右手首で体重を支えるようになり負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	運動場で算数の「長さ」の単元の授業を行っていたところ、一人の児童が皆の動きから遅れ気味になっている様子が気になり、駆け寄ろうとしたところバランスを崩し、左足を捻り、負傷した。
	転倒	骨折	音楽の授業で、曲に合わせて身体表現をしながら児童の机の間を歩いていた際に、児童の机にかけてあった手さげ袋の片方の持ち手で足をひっかけ、後ろに転倒し負傷した。
	動作の反動、無理な動作	捻挫(腰痛を除く)	体育の授業中、跳び箱の伸身飛びの試技を行うため、踏み切って伸身の状態で跳び箱に手を着いた瞬間、両肘に激痛が走って負傷した。
	動作の反動、無理な動作	捻挫(腰痛を除く)	体育の授業中、バスケットボールのシュート指導のためゴール下でジャンプをして着地した際に、右足首を捻り負傷した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	体育の授業でボール運びリレーをする際に、欠席児童の代わりにチームに入り走っていたところ、突然左大腿後部に激痛が走り、負傷した。
	墜落・転落	骨折	「業間体育」の時間中に、一輪車の指導をしていたところ、転倒して負傷した。
	墜落・転落	打撲・挫傷	授業で、花壇で畑仕事をしていたが、花壇の前の通路に鎌を落としてしまい、花壇の端から下の通路の方を見ていたところ、花壇の砂で足を滑らせて、下の通路に転落して負傷した。
	激突	打撲・挫傷	体育の授業で、ソフトボールの試合でキャッチャーをやっていたところ、バッターがボールを打った瞬間、バットが手から離れて左後方へ飛び、被災職員の左側頭部に当たり、負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	授業で、後ろから児童の手に自分の手を添えて大根を切っていたが、次の児童に交代する際に包丁の刃が児童にあたらないように左手で包丁を押えたところ、包丁で親指を切り、負傷した。
教材等準備・後片付け (12件)	墜落・転落	骨折	年度末の教室整備の際に教室の黒板の右上掲示物を取ろうと教壇に机を置き、その上に上がっていたところ、バランスを崩し落下して負傷した。
	墜落・転落	骨折	教室後ろの掲示物の押しピンが取れていたため、直すために児童用のいすを棚の前に置き、そこから棚に上がって押しピンを止めなおしたが、棚から降りようと左足をいすのばした際にバランスを崩し、床へ落下し負傷した。
	墜落・転落	打撲・挫傷	児童の習字の作品を教室の壁に掲示するため、教卓を台にして作業しようとして上に乗ったところ、バランスが崩れ床に転落し、左頭部、左肩、左膝を打ち負傷した。
	墜落・転落	創傷(擦過傷含む)	担任学級の教室後部に設置してあるロッカーの上に乗る、壁面に掲示物を貼ろうとしたが、バランスを崩して転落し、その際に左足をロッカー上部の角にぶつけ負傷した。
	転倒	骨折	準備室の消灯をして出入口に向かって歩いていたところ、足下にあった天体望遠鏡の箱につまづいて前方にあった机の角で右顔面・右足を強打し、負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	教室後ろの掲示物の画鋸がはずれているのに気付かず、ロッカー棚の上になり掲示物を直したところ、台にしていたいすに下りようと足を伸ばしていた際に、右足に痛みを感じて負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	校内掲示物を作成中に、金属の定規を左手で固定し、右手にカッターナイフで定規に沿って切っていたところ、左手の示指が定規からはみ出ていることに気付かず、切って負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	授業で使用する画用紙を切るため、電動裁断機を使用していたところ、画用紙の向きをかえようとして、誤って裁断機の刃の部分に右手環指を押し当てて負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	骨折	授業で使用する楽器を車に搬送していたところ他の職員が誤ってトランクの扉を閉めて、車とトランクの扉の間に指を挟まれて負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	骨折	理科の授業で使うビデオデッキを右手で持ち、左手で準備室のドアを開けた際、ドアの下わずかな隙間に左足親指が引っかかり、左足親指のつめが剥がれ、負傷した。
	激突	創傷(擦過傷含む)	授業で使用した電源ドラムを収めるために技術室に入って棚に上がっていたところ、天井からテレビ台が吊り下げられているのに気付かず、頭部をぶつけて負傷した。
	飛来・落下	打撲・挫傷	準備室で、棚の上に風向計があることに気付かず棚を移動させようとしたところ、風向計が壁の固定棚とぶつかり、落下して負傷した。
	学校行事の準備・後片付け (8件)	墜落・転落	骨折
転倒		骨折	水泳記録会終了後、プール内で片付け作業を行い、プール内からプールサイドへ上がろうとプール横の段へ足をかけた際、足が水ですべり、前方の壁に打ちつけて負傷した。
転倒		打撲・挫傷	水泳指導の準備を行っていたところ、倉庫の階段で足を滑って転倒し、右肘と右脇腹を階段に打ちつけて負傷した。
切れ・こすれ		創傷(擦過傷含む)	児童用の机と椅子に取り付けるテニスボールの切り込み作業中、作業機械の刃で右人差し指を切り負傷した。
切れ・こすれ		創傷(擦過傷含む)	学校で育てた玄米を児童につかせるために用いるため、一升びんを屋外の手洗い場で洗っていたところ、一升びんが蛇口に衝突して破裂し、負傷した。

義務教育学校職員

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
	激突	打撲・挫傷	学童水泳大会に出場する児童を引率して他の小学校に行っていたところ、プールサイドを移動中にコンクリートの割れ目の小さな段差に右足親指を強く打ちつけ、負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	創傷(擦過傷含む)	運動会の準備作業でテントの設営を行っていたところ、テントが倒れそうになり、パイプの接合部に指を挟んで負傷した。
	飛来・落下	打撲・挫傷	生徒とパイプテントを運んでおり、持ち上げた際にテントのパイプが勢い良く外れ、右前歯に当たり、負傷した。
設備等の整備、校内清掃中 (7件)	はさまれ、巻き込まれ	骨折	仕事の引継ぎのため、学校施設開錠、ごみ運搬等の職場環境の事前整備を前任者と行っていたが、ごみ集積場の扉を開けようとしたところ、左手薬指を金具に挟み、負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	打撲・挫傷	大掃除でタイルを磨くために、ポリッシャーのスイッチを入れた際に右手が離れ、ポリッシャーの回転により右手の中指がポリッシャーのハンドルとコードに巻き込まれ、負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	打撲・挫傷	側溝の土砂を除去する作業を行っていたが、側溝の蓋を外し、土砂を除去した後、二人で元に戻そうとしたところ、持っていた蓋が側溝に落ち、横の蓋との間で左手を挟み込んで負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	骨折	校内の大掃除でワックスがかわいていない室内を通過して後側の扉に向かっていたところ、ワックスで滑って転倒し、自分の体がモップの上に落ちて負傷した。
	墜落・転落	打撲・挫傷	大休憩の時間に、授業中点滅していた蛍光灯を交換しようとして教卓に児童いすを乗せ、その上で作業をしていたところ、バランスを崩し落下して負傷した。
	激突	創傷(擦過傷含む)	大掃除中、雑巾を洗うために振り向きながらしゃがもうとしたところ、入口に取り付けてある南京錠を掛けるためのフックに顔面をぶつけ、負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	プール壁面の藻を落とすために大プールに入ろうとして階段を下りたところ、床に足をついた途端にすべって腰を強打して負傷した。
学校行事参加中 (7件)	転倒	打撲・挫傷	野外活動で、生徒とバドミントンをしていた際に転倒し、後頭部を打ち、負傷した。
	転倒	骨折	野外活動でのナイトオリエンテーリング中に、山からの階段を下っていたところ、周囲が暗かったため足元が見えず、階段の滑り止めの模擬丸太でつまずき、左足を捻って転倒し、負傷した。
	転倒	骨折	体育大会で、選手リレーに職員チームの一員として参加していた。バトンを受け取り走った後に次の走者にバトンを渡した後に、体勢を崩して右肩から転倒して負傷した。
	動作の反動、無理な動作	靭帯、腱断裂	ビーチボールバレー大会でボールを受けようと足を踏み込み、前に身体を出そうとした際、左アキレス腱を断裂した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	野外活動の昼食をとっている児童の様子を写真に撮るため、坂を走っていたところ、左足ふくらはぎへ痛みが走り、負傷した。
	動作の反動、無理な動作	靭帯、腱断裂	放課後の陸上練習に児童とペアになり、バトンの受け渡しの練習をしていたところ、スタートして4～5メートルのところでひざの後ろのあたりが急に
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	学校行事で、鉋で竹の節を削る等の作業を行っていたところ、誤って左手を傷つけ負傷した。
クラブ活動指導中 (6件)	転倒	創傷(擦過傷含む)	バスケット指導中、芝生でダッシュをして旗を奪い合う練習に参加し、一番早くダッシュして旗を奪ったところ、後ろから来た選手が突っ込み、誰かの足が引っかかって転倒し負傷した。
	転倒	骨折	サッカー一部の指導中、右足でボールを蹴った瞬間に軸足の左足が滑り、後ろに転倒した際に腕を伸ばした状態で手のひらから地面に手を着き負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	生徒とのソフトバレーの試合中、フェイント気味のボールが来たので、回転レシーブをしてとりに行こうとした時、右膝に激痛が走り、負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	骨折	部活動のミーティング資料の作成中、裁断機でプリントを裁断しようとして紙押さえのハンドルを勢いよく回したところ、紙押さえの鉄板で左指先を挟み、負傷した。
	飛来・落下	骨折	担当しているスポーツクラブで、グランドソフトボールの指導中、生徒の打ったボールをジャンプしながら捕球しようとして、左指を激しくはじかれ、負傷した。
	分類不能	靭帯、腱断裂	サッカー一部の指導でドリブルをしていると、相手側の選手が来たので、左右に体を揺さぶり、相手の左側を抜こうとし、最後に左足に体重をかけた際に外側にねじれて負傷した。
	転倒	捻挫(腰痛を除く)	体育実技講習会に参加し、フラフープを転がしてその中をくぐり抜けようとしたところ、足がフラフープに引っかかり、バランスを失って転倒した際に、頭部左側を強打し、負傷した。
研修参加中 (4件)	転倒	靭帯、腱断裂	校内の体育実技研修会に参加し、長縄を使った運動をしていたところ、4人組みで跳んで着地した瞬間に、だれかに左足を蹴られたような衝撃があり、負傷した。
	激突	骨折	体育指導専門講座に参加中、実技で、ボールを運ぶ運動を行っていたところ、ボールを拾い上げようとしていた教諭の後頭部が顔面に勢いよく当たって負傷した。
	飛来・落下	打撲・挫傷	体育館で行われた職員研修で、「バレーボールを前方上方向に投げて、馬跳びをして、跳んだ先で投げたボールをキャッチする。」という技の練習に取り組んでいたところ、馬跳びをしたときにバランスを崩し、顔面(左おでこ)と両膝から床に落下し、負傷した。
	飛来・落下	捻挫(腰痛を除く)	帰りの会で生徒を注意したところ、その生徒が被災職員が座っていた椅子をいきなり後ろに引いたため、椅子から落ち、臀部及び頭部を打ち、負傷した。
故意の加害行為 (2件)	故意の加害行為	骨折	被災職員が、もう1人の同僚と下校指導をしていたところ、生徒に拳で胸を殴られ負傷した。
	故意の加害行為	骨折	被災職員が、もう1人の同僚と下校指導をしていたところ、生徒に拳で胸を殴られ負傷した。
出張中	墜落・転落	創傷(擦過傷含む)	自然体験活動の下見のために出張し、公園内の危険場所、活動範囲を確認しているときに、斜面を駆け下りた際に途中でつまづき転倒、地面に落下し、前額部と両膝を打撲し負傷した。

義務教育学校職員

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
(2件)	転倒	創傷(擦過傷含む)	生徒の溜まり場である公園へ走って向かっていたところ、途中に段差があり、暗がりのため下の道路に転落した。
調理業務中 (2件)	転倒	骨折	調理員室で文書を作成し、片付けようと立ち上がった際に、バランスを崩し、左足を外側に捻り、負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	給食の調理作業で、包丁でじゃがいもを切っていた際に、左手人差し指を切り、負傷した。

【その他教育職員】

〔分析結果〕

- 40職種別では、「その他の教育公務員」51.0%、「養護学校教員」18.4%、「技能労務職」14.3%、「調理員」8.2%、「一般事務職」4.1%、「一般技術職」と「栄養士」がそれぞれ2.0%となっている。
- 男女別では、「男性」が63.3%、「女性」が36.7%となっている。義務教育学校職員とは逆に男性の方が高くなっている。
- 年齢層別では、「40歳代」が38.8%で最も高く、「50歳代」28.6%、「30歳代」22.4%が続いている。40歳代以上で73.4%と7割以上を占めている。
- 月別分類では、「9月」が18.4%で最も高く、「2月」14.3%、「5月」・「6月」・「12月」がそれぞれ10.2%で続いている。
- 曜日別分類では、「水曜日」が24.5%で最も高く、「月曜日」・「金曜日」がそれぞれ20.4%で続いている。
- 時間別分類では、「15時」が16.4%で最も高く、「10時」12.2%、「9時」と「11時」がそれぞれ10.2%で続いている。
- 事故の型別分類では、「転倒」が36.7%で最も高く、「切れ・こすれ」と「動作の反動・無理な動作」がそれぞれ14.4%、「激突」12.2%が続いている。
- 起因別分類では、「分類不能」を除き、「仮設物・建築物・構造物等」が22.5%で最も高く、「起因物なし」14.3%、「人間」と「人力機械工具等」がそれぞれ10.2%で続いている。
- 傷病別分類では、「打撲・挫傷」が34.7%で最も高く、「骨折」24.5%、「捻挫（腰痛を除く）」16.3%、「創傷・擦過傷」14.3%が続いている。
- 治癒の状況は、平成22年9月30日現在で、「治癒」75.5%、「未治癒」が24.5%となっている。
- 療養期間は、平成22年9月30日現在で、「1月未満」が38.7%で最も高く、「1月以上3月未満」28.6%、「6月以上12月未満」14.3%が続いている。
療養期間が12月以上に及ぶものが14.3%になっている。
平均の療養期間は4.2月となっている。
- 災害発生場面別では、「設備等の整備、校内清掃中」が22.4%で最も高く、「校内移動中」16.3%、「学校行事参加中」・「クラブ活動指導中」がそれぞれ14.3%で続いている。その他教育職員では、義務教育学校職員で最も高い「児童・生徒対応中」は少ない。
- 任命権別では、「広島県教育委員会」が71.4%、「それ以外の教育委員会」が28.6%となっている。
- 学校種別では、「高等学校」53.0%、「特別支援学校」18.4%、「小学校」14.3%、「事務局」6.1%、「中学校」・「共同調理場」がそれぞれ4.1%となっている。

〔発生頻度が高い災害〕

- 校内清掃や剪定・除草中のけが
- 校内移動中に滑って転倒したり、階段を踏み外しての墜落・転落によるけが
- クラブ活動指導中や学校行事中の無理な動作や転倒などによるけが

その他教育職員

区分	項目	実数	割合
9職種別	義務教育学校職員		0.0
	その他教育職員	49	100.0
	警察職員		0.0
	消防職員		0.0
	電気、ガス、水道事業職員		0.0
	運輸事業職員		0.0
	清掃事業職員		0.0
	船員		0.0
	その他の職員		0.0
	計	49	100.0
40職種別	医師・歯科医師		0.0
	看護師		0.0
	保健師・助産師		0.0
	その他の医療技術者		0.0
	保育所保育士		0.0
	施設保育士・寄宿舎指導員等		0.0
	調理員	4	8.2
	養護学校教員	9	18.4
	その他の教育公務員	25	51.0
	社会教育主事		0.0
	警察職員		0.0
	消防職員		0.0
	清掃職員		0.0
	土木技師		0.0
	運転士・車掌等		0.0
	農林水産技師		0.0
	建築技師		0.0
	栄養士	1	2.0
	農業等改良普及員		0.0
	司書・学芸員		0.0
	獣医師		0.0
	一般事務職	2	4.1
	一般技術職	1	2.0
	技能労務職	7	14.3
	計	49	100.0
	男女別	男	31
女		18	36.7
計	49	100.0	
年齢層別	10歳代		0.0
	20歳代	2	4.1
	30歳代	11	22.4
	40歳代	19	38.8
	50歳代	14	28.6
	60歳以上	3	6.1
	計	49	100.0
月別	4月	1	2.0
	5月	5	10.2
	6月	5	10.2
	7月	2	4.1
	8月	3	6.1
	9月	9	18.4
	10月	3	6.1
	11月	4	8.2
	12月	5	10.2
	1月	2	4.1
	2月	7	14.3
	3月	3	6.1
	計	49	100.0
曜日別	月曜日	10	20.4
	火曜日	6	12.2
	水曜日	12	24.5
	木曜日	7	14.3
	金曜日	10	20.4
	土曜日	2	4.1
	日曜日	2	4.1
	計	49	100.0

区分	項目	実数	割合
時間別	0時		0.0
	1時		0.0
	2時		0.0
	3時		0.0
	4時		0.0
	5時		0.0
	6時	1	2.0
	7時		0.0
	8時	2	4.1
	9時	5	10.2
	10時	6	12.2
	11時	5	10.2
	12時	2	4.1
	13時	3	6.1
	14時	4	8.2
	15時	8	16.4
	16時	4	8.2
	17時	2	4.1
	18時	4	8.2
	19時	1	2.0
	20時	1	2.0
	21時		0.0
	22時		0.0
	23時	1	2.0
不明		0.0	
計	49	100.0	
事故の型別分類	墜落、転落	3	6.1
	転倒	18	36.7
	激突	6	12.2
	飛来、落下	2	4.1
	崩壊・倒壊		0.0
	激突され		0.0
	はさまれ、巻き込まれ	3	6.1
	切れ、こすれ	7	14.4
	高温・低温物との接触		0.0
	有害物等との接触	1	2.0
	動作の反動、無理な動作	7	14.4
	交通事故		0.0
	故意の加害行為	1	2.0
	踏み抜き	1	2.0
	破裂		0.0
	汚染血液による事故		0.0
	火災		0.0
	その他		0.0
	分類不能		0.0
	計	49	100.0
起因物別分類	建設用等機械	1	2.0
	その他の動力機械	2	4.1
	自動車(乗用車)	0	0.0
	トラック等		0.0
	バイク		0.0
	自転車		0.0
	注射針等		0.0
	装置、設備	2	4.1
	人力機械工具等	5	10.2
	仮設物、建築物、構築物等	11	22.5
	危険物、有害物等	1	2.0
	材料	2	4.1
	荷	2	4.1
	地山・岩石	1	2.0
	立木等	1	2.0
	水		0.0
	高温・低温環境等		0.0
	人間	5	10.2
	動物		0.0
その他	1	2.0	
その他起因物		0.0	
起因物なし	7	14.3	
分類不能	8	16.4	
計	49	100.0	

区分	項目	実数	割合	
傷病名分類	骨折	12	24.5	
	打撲・挫傷	17	34.7	
	創傷・擦過傷	7	14.3	
	火傷		0.0	
	靭帯・腱断裂	2	4.1	
	捻挫(腰痛を除く)	8	16.3	
	神経損傷		0.0	
	刺傷	1	2.0	
	眼疾患		0.0	
	呼吸器疾患		0.0	
	その他	2	4.1	
	疾病		0.0	
	計	49	100.0	
	治癒の状況 (H22.9.30現在)	治癒	37	75.5
未治癒		12	24.5	
計		49	100.0	
療養期間 (H22.9.30現在)	1月未満	19	38.7	
	1月以上3月未満	14	28.6	
	3月以上6月未満	2	4.1	
	6月以上12月未満	7	14.3	
	平均 4.2月 12月以上18月未満	5	10.2	
	18月以上24月未満	2	4.1	
	24月以上		0.0	
	不明		0.0	
	計	49	100.0	
うち未治癒者の 療養期間 (H22.9.30現在)	3月以上6月未満		0.0	
	6月以上12月未満	5	41.7	
	12月以上18月未満	5	41.7	
	18月以上24月未満	2	16.6	
	24月以上		0.0	
	計	12	100.0	
災害発生場面	校内移動中	8	16.3	
	児童・生徒に対応中	1	2.0	
	授業等指導中	5	10.2	
	教材等準備・後片付け中	2	4.1	
	学校行事の準備・後片付け中		0.0	
	設備等の整備, 校内清掃中	11	22.4	
	学校行事参加中	7	14.3	
	クラブ活動指導中	7	14.3	
	出張中		0.0	
	研修参加中		0.0	
	故意の加害行為	2	4.1	
	調理業務中	4	8.2	
	通常の職務遂行中(その他)	2	4.1	
	計	49	100.0	
	任命権者別	広島県教育委員会	35	71.4
		市町教育委員会	14	28.6
計		49	100.0	
学校種類別	小学校	7	14.3	
	中学校	2	4.1	
	高等学校	26	53.0	
	特別支援学校	9	18.4	
	共同調理場	2	4.1	
	事務局	3	6.1	
	計	49	100.0	

その他教育職員

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
設備等整備、校内清掃中 (11件)	転倒	打撲・挫傷	担当教室で、年度末の大掃除・ワックスがけをしていた際、剥離剤を水に混ぜてまいた床で、足を滑らせて頭を打ち、負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	斜面の除草作業を行っていたところ、木の根元でバランスを崩し、草刈り機を背負ったまま下の道路に飛び降りた際に、右足に全体重がかかり負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	脚立に登って樹木の剪定作業をしていたところ、下段に移動しようとした時に段を踏み外し、バランスを崩しコンクリートの地面に転落し、負傷した。
	転倒	骨折	斜面の草刈を行っていたところ、排水溝が繋がっていた草の葉で覆われていたため、左足を溝に落下させてしまい、左の外側直角方向に転倒し、負傷した。
	転倒	捻挫(腰痛を除く)	生垣を剪定ばさみを使って剪定していたところ、生垣の端で側面を剪定しようとした時に、右足の足場を失い、体の右側から石橋の下に転倒し、負傷した。
	切れ・こすれ	骨折	飼料用とうもろこしの収穫作業を終え、コーンハーベスタの洗浄作業をしていたが、左足でロータに足をかけ回してしまったため、回転刃が下りてきて、左足を負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	不燃ごみの処理作業中、防球ネットの丸パイプとネット部分を切り離すために、カッターナイフでネットの紐を切断した時に、誤って右拇指を切り負傷した。
	切れ・こすれ	打撲・挫傷	植え込みの剪定作業を行っていたところ、植え込みの中で右足を上げたときにエンジン付きのヘッジトリマーの刃が右の膝上部に当たり、負傷した。
	踏み抜き	刺傷	校舎斜面の除草作業中、草刈機で誤って土砂流出防止ネット(針金)を切断したため、針金が長靴を貫通し、負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	創傷(擦過傷含む)	翌日の監査の準備のため、応接室で、職員と一緒に、会議机を動かしていたところ、会議機の脚のロックが外れて折れた状態になった際、二つの机に手を挟まれて、負傷した。
有害物質等との接触	その他	除草剤散布作業中、動力噴霧器の応急処置を行っていたところ、エンジンを始動した際に除草剤液が勢い良く噴出して顔にかかり、負傷した。	
校内移動中 (8件)	転倒	骨折	期末考査中、各クラスを回っていたところ、廊下にかかる段で、足が滑り、前方に転倒しそうになったため、体をかばおうとして左手をつき、負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	ホームルーム(進路)担当のため急いでいたところ、研究室の出入口付近にあったダンボール箱に足をとられて転倒し、負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	職員室を出て進路指導室へ向かおうとしていたところ、廊下が、雨による結露等で濡れていたため、滑って転倒し、右肘及び右脇腹を強打して、負傷した。
	転倒	捻挫(腰痛を除く)	職員室へ行こうと渡り廊下に出た時、敷かれていたゴム製マットにあいていた穴に引っかかり、転倒して、負傷した。
	墜落・転落	骨折	教室から進路指導室へ戻ろうとしていたが、確認しておきたい単語があったため、電子辞書を見ながら向かっていたところ、階段の途中で足を滑らせて転落し、負傷した。
	墜落・転落	靭帯、腱断裂	仕事を終えて帰宅するため、階段を下りていたところ、階段で足が滑って、左足から落ち、左足を負傷した。
	激突	骨折	音楽準備室に向かう途中、靴を脱ぎ入室しようとした際、靴が足に引っかかってふらつき、入口に左足がぶつかって、負傷した。
	動作の反動、無理な動作	骨折	考査監督のため、急いで教室を出て移動中に、廊下を右折した際、左足首を捻り、ポキッと音がして、負傷した。
クラブ活動指導中 (7件)	転倒	骨折	剣道部の実践応用練習で、部員に面を決めるため打ち込んだ際、被災職員の袴が右足先からみつき、バランスを崩して、右足親指が丸まったまま着地し、負傷した。
	転倒	骨折	軟式野球部の練習を指導中、ボールを追って走っている際に、ピッチャーマウンドでつまずいてバランスを崩し、肩から転倒して、負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	柔道クラブのクラブ活動の指導中、乱取りの練習で、相手の生徒から投げられて右肩を強打し、すぐに寝技にもちこまれて、右肩を強く押され、負傷した。
	激突	その他	バレーボール部を指導中、アタック練習で、生徒が打ったアタックが顔面に当たり、負傷した。
	激突	捻挫(腰痛を除く)	バレーボール新人選手権大会でのスパイク練習中、別のチームのアタッカーが打ったスパイクのボールが、ノーバウンドで被災職員の左耳全体を直撃し、負傷した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	バレーボール部の指導中、選手にトスに入るまでのフットワークを指導するため、実践してみせた瞬間に、右足に痛みが走り、負傷した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	硬式庭球部の指導中、生徒の打ったサーブのボールを受けようとして、勢いよく後退したところ、左ふくらはぎに激しい痛みを感じ、負傷した。
学校行事参加中 (7件)	激突	骨折	ドッジボールの練習を、生徒と行っていたが、生徒の投げたボールを取ろうとして手を出した際、指先にボールが当たり、負傷した。
	激突	打撲・挫傷	文化祭終了後、学校内の電灯を消して歩いていたが、文化祭の作品を展示している廊下を歩いていた時、薄暗かったため、テーブルの角に右足を強打して、負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	捻挫(腰痛を除く)	冬季校外学習の引率中、そり実習で、指導生徒のそりが激突しそうになったため、そりに追いつき、そりの方向を変えた際、被災職員の右手がそりの下に巻き込まれて、負傷した。

その他教育職員

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
	墜落・転落	打撲・挫傷	学校行事のダンスフェスティバル中、舞台監督として、舞台袖で、出演者等に指示をしていたが、階段下のストープの灯りを頼りに階段を下りた際、階段を踏み外して転倒し、負傷した。
	動作の反動、無理な動作	骨折	合唱祭の後片付け業務の際、体育館のフロアーからステージ上がるための木製可動式階段を移動させるため、力を入れて、持ち上げた瞬間、激痛を感じ負傷した。
	飛来・落下	打撲・挫傷	学校行事の全校集会の準備のため、屋内運動場で行っていたが、入口の鉄製扉を扉を開けた途端、扉の上側の蝶番が外れその扉が左足の上に落ちて、負傷した。
	転倒	捻挫(腰痛を除く)	体育祭で、雨が降ってきたため、屋上に設置していた記録用のカメラ等を回収する作業をすることとなったが、雨で滑りやすくなっていた渡り廊下で、滑って転倒し、右手を負傷した。
授業等指導中 (5件)	転倒	創傷(擦過傷含む)	体育の授業で、マラソン大会に向けてコースを試走する指導をしていたところ、コースをスタートした際に、生徒と接触して転倒し、負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	体育の授業で、バスケットボールを生徒に混ざって指導していたところ、ドリブル中に右後方から生徒に激しく接触され、転倒して、右足を負傷した。
	転倒	捻挫(腰痛を除く)	バスケットボールの授業で、パス練習を被災職員も入って行っていた際、相手からのパスがそれ、隣の生徒の足を踏み、足首を外側に捻って倒れ、負傷した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	体育の指導で、サッカーの試合中、ボールを追って走っていたところ、ゴムが切れたような音と共に、右足に激しい痛みがあり、右足を負傷した。
	動作の反動、無理な動作	靭帯、腱断裂	体育の授業でサッカーのプレーをしながら審判を行う形で授業を進めていたが、ボールを追い、方向転換した際に、左足ふくらはぎ付近に激痛があり、負傷した。
調理業務中 (4件)	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	給食の調理作業中、溝のグレーチングにつまづいて転倒した際に、持っていた杓で下顎を切り、負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	調理作業中、きゅうりを裁断機で千切りしていたところ、きゅうりの皮が裁断機の手前にたまったので、機械が作動している状態で取り除こうとした際に左手中指を負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	翌日の給食調理に使用するフードスライサーのプレートを洗浄していたところ、プレートの刃の部分で左手掌部を切り、負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	調理作業中に里芋を切ろうとした際に、手が滑り、左手人差し指を切り、負傷した。
教材等準備・後片付け中 (2件)	はさまれ、巻き込まれ	打撲・挫傷	保健体育授業後、職員でトランポリンの片付け中、トランポリンを折りたたもうとして、被災職員の右手が挟まれて、負傷した。
	飛来・落下	骨折	木材加工の授業のため、スライドのこぎりで木片をカットする練習をしていたが、左手で押さえていた木片が少し動いたため、のこぎりの歯が左手を直撃して、負傷した。
故意の加害行為 (2件)	激突	捻挫(腰痛を除く)	生徒指導中、生徒が音楽を聞きたいと要望したが今日は聞けないと指導したところ、頭突きを受け、足で蹴られて後ろに飛ばされ、頭を打ち、負傷した。
	故意の加害行為	打撲・挫傷	体育の授業中に、担当していた生徒が急に走り出したため、授業に戻るよう促したところ、この生徒に急に頭突きをされ負傷した。
児童・生徒に対応中 (1件)	転倒	打撲・挫傷	階段手すりの所に気分が悪くなった生徒がおり、座らせようとしたが、脱力した生徒の体重が被災職員にかかり、抱きかかえたまま座り込んで転倒して
通常の職務(その他) (2件)	転倒	捻挫(腰痛を除く)	選挙の投票準備のため、椅子を2階から1階へ移動する作業を行っていた際に、階段で椅子を落とそうになったので、持ち直そうとしたときに階段を踏み外して転倒し、負傷した。
	動作の反動、無理な動作	骨折	文書発送作業を行っていた際に、長机に置いていたダンボール箱が落ちそうになったので左手で支えたところ、打ちつけた衝撃と、箱の重量により人差し指を骨折し、負傷した。

【警察職員】

〔分析結果〕

- 40 職種別では、「警察官」98.9%、「一般事務職」1.1%となっている。
- 男女別では、「男性」が93.1%、「女性」が6.9%となっている。
- 年齢層別では、「20 歳代」が50.6%で最も高く、半数を超えている。「30 歳代」25.3%、「40 歳代」16.1%が続いている。「20 歳代」・「30 歳代」で75.9%と7割以上を占めている。
- 月別分類では、「5 月」が26.4%で最も高く、「11 月」12.7%、「10 月」・「12 月」がそれぞれ9.3%が続いている。
- 曜日別分類では、「木曜日」が25.4%で最も高く、「水曜日」17.3%、「月曜日」・「火曜日」がそれぞれ14.9%が続いている。
- 時間別分類では、「10 時」が16.1%で最も高く、「11 時」14.9%、「15 時」12.6%が続いている。
- 事故の型別分類では、「動作の反動・無理な動作」が53.0%で最も高く、半数を超えている。「転倒」13.9%、「墜落・転落」・「交通事故」がそれぞれ6.9%が続いている。
- 起因別分類では、「分類不能」を除き、「人間」が44.8%で最も高く、「自動車」・「バイク」がそれぞれ6.9%が続いている。
- 傷病別分類では、「骨折」が42.5%で最も高く、「打撲・挫傷」26.5%、「靭帯・腱断裂」10.3%が続いている。他の職種に比べ「骨折」の比率が4割以上と高く、他の職種では比率が高くない「靭帯・腱断裂」が約1割を占めるのが特徴である。
- 治癒の状況は、平成22年9月30日現在で、「治癒」79.3%、「未治癒」が20.7%となっている。
- 療養期間は、平成22年9月30日現在で、「3 月以上 6 月未満」32.3%が最も高く、「1 月以上 3 月未満」29.9%、「1 月未満」21.8%が続いている。
療養期間が12 月以上に及ぶものが20.6%になっている。
平均の療養期間は5.5 月となっている。
- 災害発生場面別では、「訓練中（柔道）」が40.2%で最も高く、「訓練中（逮捕術）」13.8%、「訓練中（その他）」8.0%が続き、訓練中全体で68.9%を占め、全体の7割近くになっている。
訓練中以外では、「公務通勤」6.9%、「追跡中」・「救助中」・「車両運転中（交通事故）」・「捜査移動中」がそれぞれ4.6%、「施設内移動中」・「動物」がそれぞれ2.3%、「加害者対応中」1.1%となっている。

〔発生頻度が高い災害〕

- 術科訓練中の無理な動作によるけが（骨折、靭帯・腱断裂）
- 公務通勤や出動中での交通事故
- 加害者追跡中の転倒や飛び降りた際のけが
- 捜査移動中の転倒によるけが

警察職員

区分	項目	実数	割合
9職種別	義務教育学校職員		0.0
	その他教育職員		0.0
	警察職員	87	100.0
	消防職員		0.0
	電気、ガス、水道事業職員		0.0
	運輸事業職員		0.0
	清掃事業職員		0.0
	船員		0.0
	その他の職員		0.0
	計	87	100.0
40職種別	医師・歯科医師		0.0
	看護師		0.0
	保健師・助産師		0.0
	その他の医療技術者		0.0
	保育所保育士		0.0
	施設保育士・寄宿舎指導員等		0.0
	調理員		0.0
	養護学校教員		0.0
	その他の教育公務員		0.0
	社会教育主事		0.0
	警察職員	86	99.9
	消防職員		0.0
	清掃職員		0.0
	土木技師		0.0
	運転士・車掌等		0.0
	農林水産技師		0.0
	建築技師		0.0
	栄養士		0.0
	農業等改良普及員		0.0
	司書・学芸員		0.0
	獣医師		0.0
	一般事務職	1	1.1
	一般技術職		0.0
技能労務職		0.0	
計	87	100.0	
男女別	男	81	93.1
	女	6	6.9
	計	87	100.0
年齢層別	10歳代	1	1.1
	20歳代	44	50.6
	30歳代	22	25.3
	40歳代	14	16.1
	50歳代	6	6.9
	60歳以上	0	0.0
	計	87	100.0
月別	4月	6	6.9
	5月	23	26.4
	6月	5	5.7
	7月	3	3.4
	8月	5	5.7
	9月	4	4.6
	10月	8	9.3
	11月	11	12.7
	12月	8	9.3
	1月	6	6.9
	2月	5	5.7
	3月	3	3.4
	計	87	100.0
曜日別	月曜日	13	14.9
	火曜日	13	14.9
	水曜日	15	17.3
	木曜日	22	25.4
	金曜日	10	11.5
	土曜日	11	12.6
	日曜日	3	3.4
	計	87	100.0

区分	項目	実数	割合
時間別	0時	1	1.2
	1時	3	3.4
	2時	1	1.2
	3時		0.0
	4時		0.0
	5時		0.0
	6時		0.0
	7時	1	1.2
	8時		0.0
	9時	3	3.4
	10時	14	16.1
	11時	13	14.9
	12時	1	1.2
	13時	5	5.7
	14時	9	10.3
	15時	11	12.6
	16時	8	9.2
	17時	8	9.2
	18時	2	2.4
	19時	3	3.4
	20時	1	1.2
	21時	3	3.4
	22時		0.0
	23時		0.0
不明		0.0	
計	87	100.0	
事故の型別分類	墜落、転落	6	6.9
	転倒	12	13.9
	激突	4	4.6
	飛来、落下	2	2.3
	崩壊・倒壊		0.0
	激突され	1	1.1
	はさまれ、巻き込まれ	2	2.3
	切れ、こすれ	1	1.1
	高温・低温物との接触		0.0
	有害物等との接触		0.0
	動作の反動、無理な動作	46	53.0
	交通事故	6	6.9
	故意の加害行為	1	1.1
	踏み抜き	1	1.1
	破裂		0.0
	汚染血液による事故		0.0
	火災		0.0
その他	4	4.6	
分類不能	1	1.1	
計	87	100.0	
起因物別分類	建設用等機械		0.0
	その他の動力機械		0.0
	自動車	6	6.9
	トラック等		0.0
	バイク	6	6.9
	自転車	1	1.2
	注射針等		0.0
	装置、設備	0	0.0
	人力機械工具等	2	2.3
	仮設物、建築物、構築物等	2	2.3
	危険物、有害物等		0.0
	材料	2	2.3
	荷		0.0
	地山・岩石	2	2.3
	立木等		0.0
	水		0.0
	高温・低温環境等	1	1.2
人間	39	44.8	
動物	2	2.3	
その他		0.0	
その他起因物		0.0	
起因物なし	13	14.9	
分類不能	11	12.6	
計	87	100.0	

区分	項目	実数	割合
傷病名分類	骨折	37	42.6
	打撲・挫傷	23	26.5
	創傷・擦過傷	4	4.6
	火傷		0.0
	靱帯・腱断裂	9	10.3
	捻挫(腰痛を除く)	7	8.0
	神経損傷	2	2.3
	刺傷		0.0
	眼疾患		0.0
	呼吸器疾患		0.0
	その他	5	5.7
	疾病		0.0
	計	87	100.0
治癒の状況 (H22.9.30現在)	治癒	69	79.3
	未治癒	18	20.7
	計	87	100.0
療養期間 (H22.9.30現在)	1月未満	19	21.8
	1月以上3月未満	26	29.9
	3月以上6月未満	18	32.3
	6月以上12月未満	6	6.9
	12月以上18月未満	15	17.2
	18月以上24月未満	3	3.4
	24月以上		0.0
	不明		0.0
	計	87	111.5
うち未治癒者の 療養期間 (H22.9.30現在)	3月以上6月未満	0	0.0
	6月以上12月未満	3	16.7
	12月以上18月未満	12	62.0
	18月以上24月未満	3	16.7
	24月以上		0.0
計	18	95.4	
災害発生場面	訓練中(柔道)	35	40.2
	訓練中(逮捕術)	12	13.8
	訓練中(運転)	3	3.4
	訓練中(体力測定)	2	2.3
	訓練中(剣道)	1	1.2
	訓練中(その他)	7	8.0
	公務通勤	6	6.9
	追跡中	4	4.6
	救助中	4	4.6
	車輛運転中(交通事故)	4	4.6
	捜査移動中	4	4.6
	施設内移動中	2	2.3
	動物	2	2.3
	加害者対応中	1	1.2
	計	87	100.0

警察職員

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
訓練中 (柔道) (35件)	動作の反動、 無理な動作	骨折	初任科の授業で寝技の訓練をしていて、相手に押さえ込まれた際、相手の腰骨と畳に左手を挟み、つぶされるような感じを受けると同時に、激痛が走ったもの。
	動作の反動、 無理な動作	骨折	警察柔道大会の訓練要員として寝技の訓練中、仰向けになり、上方から覆い被さる相手の左襟を左手で掴み、自身に引きつけようとしたところ、左肘を相手の体と挟まれ負傷した。
	動作の反動、 無理な動作	骨折	警察柔道大会の訓練要員として乱取りの訓練中、相手が技を掛けようと被災職員の体をひきつけた際、被災職員の鼻と相手の右肩がぶつかり、負傷した。
	動作の反動、 無理な動作	骨折	警察柔道大会の選手要員として訓練中、技を打ち込む稽古で相手の打ち込みを受ける際、相手の右胸部で何度も左胸部を強打し、負傷した。
	動作の反動、 無理な動作	骨折	警察柔道大会の選手要員として、乱取りの訓練中、相手に技を掛けられ、左肩から畳にたたきつけられ負傷した。
	動作の反動、 無理な動作	骨折	全日本女子柔道に向け柔道の訓練中、相手を左大外刈りで投げた際、左手を畳に強く突き、負傷した。
	動作の反動、 無理な動作	骨折	警察柔道大会の選手要員として乱取りの訓練中、相手に背負い投げをかけた際、右後方へ投げ返され、相手の右腕が腰と畳に挟まった状態で倒れ、腰部付近を強く打ち負傷した。
	動作の反動、 無理な動作	骨折	警察柔道大会に選手として出場し、試合中、若干大きい体格の相手を右側から大きく巻き込む形で背負い投げをかけたところ、相手の全体重が右腰背部にかかり、痛みを感じた。
	動作の反動、 無理な動作	骨折	柔道の授業中、立ち技の訓練で相手に左背負い投げをかけられた際、相手の左肩が左鎖骨部分にあたり強打し、負傷した。
	動作の反動、 無理な動作	骨折	柔道の授業中、立ち技の訓練で相手が技をかけてきたため、逃れようと左足を移動させようとしたところ、相手の右足で左足薬指を強打し、負傷した。
	動作の反動、 無理な動作	骨折	警察柔道大会の選手として訓練中、相手の右袖を左手で掴んだ際、相手が右手を後方へと力を込めて振り切ったため、その勢いで左手が振り切られ、痛みを感じた。
	動作の反動、 無理な動作	骨折	警察柔道強化指定選手として、練習試合中、相手の右袖を掴んでいたところ、相手が手を払おうと右腕を大きく振った際、左手母指に相手の右腕が強く当たり道着に挟まれ、負傷した。
	動作の反動、 無理な動作	骨折	柔道強化指定選手として、警察柔道大会に出場し試合中、相手を投げたところ、相手の上に倒れ、胸部を強打し負傷した。
	動作の反動、 無理な動作	骨折	警察柔道大会に選手として出場した際、試合中相手に技を掛けられ、バランスを崩し転倒し、負傷した。
	動作の反動、 無理な動作	打撲・挫傷	入校中、柔道の昇段審査で相手に投げられた際、受け身をしない、右肩から畳上に落ちて、右肩を強く打った。
	動作の反動、 無理な動作	打撲・挫傷	警察柔道大会の選手要員として訓練中、相手に技を掛けられ、体勢が崩れそのまま右肩を畳に打ちつけ、それと同時に相手が右肩付近に落ちてきて負傷した。
	動作の反動、 無理な動作	打撲・挫傷	警察柔道大会の訓練要員として訓練中、相手が技を仕掛けてきたので踏ん張ったところ、更に相手が体重をかけたため、お互いバランスが崩れ、倒れまいと畳に左手をついて倒れ負傷し
	動作の反動、 無理な動作	打撲・挫傷	柔道大会にむけ、訓練要員として訓練中、右足を相手の右足にかけ技をかけようとしたところ、右股が開いた格好となり、激痛が走った。
	動作の反動、 無理な動作	打撲・挫傷	警察柔道大会の選手要員として訓練中、相手に技を掛けられた際、右肩から倒れ、負傷した。
	動作の反動、 無理な動作	打撲・挫傷	警察柔道大会の選手要員として立技の訓練中、相手に技を掛けられ投げられた際、左肩が異常に伸びるような形となり、痛みを感じた。
	動作の反動、 無理な動作	打撲・挫傷	柔道強化指定選手として指名を受け、強化練習会に参加した際、立ち技の練習で相手の右かかたが右下腿部に強く当たり、激痛を感じた。
	動作の反動、 無理な動作	打撲・挫傷	警察柔道大会に選手として出場した際、試合中相手に投げられ、左肩を畳で強打し、負傷した。
	動作の反動、 無理な動作	打撲・挫傷	術科大会柔道の部の試合中、相手を投げた際、相手の体が左手の上に落ちる格好になり、左手母指の付け根あたりを相手の体と床に挟んだ状態となり、負傷したもの。
	動作の反動、 無理な動作	靭帯、腱断裂	警察柔道大会の選手要員として試合形式の訓練中、相手の背負い投げを受けた際、一本負けになるのを防ごうとして、相手と回転しながら畳上に落下し、右肩を打ち負傷したもの。
	動作の反動、 無理な動作	靭帯、腱断裂	警察柔道大会の訓練要員として訓練中、相手に足技を掛けられ、後方に投げられた際、左膝を負傷したもの。
	動作の反動、 無理な動作	靭帯、腱断裂	全日本女子柔道選手権大会に向け柔道の訓練をしていた際、相手に技を掛けられたため、防御しようとしてバランスを崩し、左膝を捻り負傷したもの。
	動作の反動、 無理な動作	靭帯、腱断裂	警察柔道大会の選手要員として出場し、試合中、相手に技を掛けられ、バランスを崩し右膝を内側に捻った状態で倒れ、負傷したもの。
動作の反動、 無理な動作	捻挫(腰痛を除く)	警察柔道大会の選手要員として寝技の訓練中、相手に絞め技をかけられ、技から逃れようと体を回転させた際、左腕が体の下に入り、左肩を捻り負傷したもの。	
動作の反動、 無理な動作	その他	柔道訓練に参加し、一本背負いの打ち込みをしていた際、右足太股の筋肉が収縮し、圧迫するような違和感があり、痛みがあった。	
動作の反動、 無理な動作	その他	警察柔道大会の訓練要員として、寝技の訓練中、相手に頭と耳を畳に押しつけられたため、頭を左右に振り逃れようとした際、畳で両耳を強く擦り、負傷した。	
動作の反動、 無理な動作	その他	警察柔道大会の訓練要員として、寝技の訓練中、四つん這いの状態から仰向けにしようと相手が近づいてきた際、相手の左膝が左耳に当たり、負傷した。	

警察職員

	動作の反動、無理な動作	その他	柔道強化指定選手として、階段を使った訓練中、他の訓練員を登りだけ背負い、階段を登りきって下りていたところ、吐き気をもよおして嘔吐し、目眩を生じ立ち上がることができなくなった。
	はさまれ、巻き込まれ	骨折	柔道の授業中、寝技の訓練で、相手を押さえ込んだところ、相手が逃れようと動いたため、畳についていた左手が、小指方向に反り返り、負傷した。
	転倒	骨折	柔道同好会として練習に参加し乱取り稽古中、被災者は後方に倒されたとき、右足首が反り返り負傷した。
	激突	打撲・挫傷	全国警察柔道大会への出場に向け訓練中、立ち技の稽古で相手に首の後ろの襟を掴まれ、下に押さえつけられた際、上体を起こそうと背筋に力を入れた瞬間、激痛が走った。
訓練中 (逮捕術) (12件)	動作の反動、無理な動作	靭帯、腱断裂	逮捕術大会の試合中、相手が打ち込んでこようとしたのを避けるため後方に下がって間合いを取り、左足に体重をかけ相手の肩を打って出ようとしたとき、突然左足に激痛がはしたたもの。
	動作の反動、無理な動作	靭帯、腱断裂	逮捕術の訓練で突きの打ち込みをしていた際、後方にバックステップし、再度突きしようとして体勢を整えようとしたところ、右足アキレス腱付近に激痛が走ったもの。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	逮捕術の授業中、左膝を捻りながら転倒し、負傷した。
	動作の反動、無理な動作	靭帯、腱断裂	逮捕術個人優勝大会予選会の試合中、相手がソフト警棒で肩を打ってきたので、かわそうと体をのけぞらすようにして後方に下がろうとした際、足首に激痛が走ったもの。
	動作の反動、無理な動作	靭帯、腱断裂	逮捕術個人優勝大会の予選会の試合中、相手がソフト警棒で左肩を狙って打ち込んできたため、間合いをとろうと右足を畳につけた瞬間、右足首後ろに激しい痛みを感じ、動けなくなった。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	逮捕術の授業中、警棒で相手の肩を打ちにいったところ、大きく空振りをし、右肩に激痛が走ったもの。
	動作の反動、無理な動作	捻挫(腰痛を除く)	警察逮捕術大会に警察署代表選手として出場し、試合中左足首を負傷した。
	激突	骨折	警察逮捕術強化指定選手として、警棒対警棒の訓練中、相手に甲手を狙って打ち込まれた際、右前腕部を強打し、激痛が走った。
	激突	骨折	逮捕術強化指定選手として、互いに防具を着用し、相手に連続で打ち込みを行う訓練をしていたところ、右の拳に痛みを感じ始め、突きが行えない状態になった。
	激突	骨折	逮捕術強化指定選手として、練習試合をしていたところ、相手に技をかけられ倒れる際、体勢を崩して倒れ、右足を負傷した。
	墜落・転落	打撲・挫傷	逮捕術強化指定選手として練習試合中、相手の上に覆い被さるように転倒し、左手を前に出して体を支えようとしたため、左肘に体重がかかり、負傷した。
	その他	骨折	逮捕術の授業中、相手が左肩を狙い警棒で打ってきたので、咄嗟に左手で避けようとしたところ、左指先を打たれ、負傷した。
訓練中 (運転) (3件)	転倒	骨折	二輪車運転訓練中、ブレーキをかけたところ前輪がロックし、バランスを崩し転倒、負傷した。
	転倒	骨折	職場実習生のバイク運転訓練を指導中、8の字コースを運転し車体を左に傾けた際、前輪がスリップし、車体とともに転倒、左胸を強く打ち負傷した。
	転倒	神経損傷	白バイ特練候補生として走行訓練中、前輪タイヤのバランスを崩し、咄嗟に左手を出して体を支えようとした際、左手掌部を強打し、転倒した。
訓練中 (体力測定) (2件)	転倒	骨折	体育の授業で警察体力検定中、折り返し走でマークをタッチして折り返しをする際、足を滑らせ転倒しそうになったため、左手をつき、手首を負傷した。
	転倒	骨折	警察体力検定を実施中、障害物であるバーを飛び越えようとしたところ、バーに足が引っかかり前のめりに転倒し、左手を地面についた際、負傷したもの。
訓練中 (剣道) (1件)	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	剣道大会にむけ、警察署の訓練指導員として訓練中、面打ちをしようと左足を軸に踏み込んだ際、左足ふくらはぎに叩かれたような衝撃があり、痛みを感じた。
訓練中 (その他) (7件)	動作の反動、無理な動作	骨折	入学中、体育教育法の授業でバスケットボールをしていて、パスカートをしようとジャンプし着地の際、後方にいた者の足の甲部分に着地し、バランスを崩し、左足首を捻った。
	動作の反動、無理な動作	神経損傷	座り込みをしている仮想デモ隊員を立ち上がらせる訓練で、中腰の姿勢で相手を抱え上げようとした際、突然腰部に激痛を感じた。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	駆け足訓練をしていて、急に右膝内側に痛みを感じ、走ることが出来なくなった。
	動作の反動、無理な動作	靭帯、腱断裂	特別警ら隊の訓練に参加し、装備品を装備しての駆け足訓練の際、靴先がつまずき、右膝を捻り、痛みを感じた。
	飛来・落下	骨折	災害警備訓練中、エアーマットへ降下する訓練でエアーマットへ降下した際、強い衝撃と痛みを腰部に感じ、痛さのため起きあがれなくなった。
	墜落・転落	骨折	エアーマットへ降下する訓練でマットへ降下した際、マットの側端に着地し、アスファルト舗装の地面に臀部から激突し、負傷した。
	その他	その他	警察学校に入校し、トレーニング活動中、駆け足訓練をしていた際、倒れ、意識不明となった。
公務通勤 (6件)	交通事故(道路)	打撲・挫傷	公休日に勤務を命じられ、原付125ccで退勤途中、交差点内を直進していたところ、対向の右折してくる車両と衝突し、負傷したもの。
	交通事故(道路)	骨折	私有の普通自動二輪車で、内偵捜査に赴き、捜査を終え帰宅していたところ、見通しの悪い交差点で普通自動車と出会い頭に衝突し、負傷した。
	転倒	骨折	前日からの当番勤務を終え、普通自動二輪車で退勤途中、減速しようとしたところ、後輪がスリップし転倒、左肘を負傷した。

警察職員

	転倒	骨折	当直勤務を終え、午後1時ころ勤務場所を出発し、自家用二輪車で退勤途中、路外の縁石へ接触、転倒し負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	週休日に勤務を命じられ、バイクで退勤途中、赤信号で停止していたところ、後方から車両に追突され、右斜め前方へ投げ出され、別の停車中の車両にぶつかり、負傷したものの。
	分類不能	骨折	自転車を運転して帰宅途中、突然自転車の後輪がロックし体が前につんのめった状態で転倒し、左肩を路面で強打し負傷した。
追跡中 (4件)	転倒	創傷(擦過傷含む)	職務質問しようとしたところ、駐車場に逃げ込んだため、追いかけた際、駐車場の車両進入防止用のチェーンに気づかず、チェーンに足を取られ、転倒し負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	職務質問をしようとしたところ、逃走しようとしたので、スクーターの後部エアロパーツを掴み走って追跡したが、振り切られ転倒、負傷した。
	墜落・転落	捻挫(腰痛を除く)	現場で、不審な男が逃走したため、追跡し、高さ約2.5mの段差を飛び降り着地した際、両ももに痛みを感じ、体勢を崩し左手を地面につき、左手を痛めた。
	動作の反動、無理な動作	骨折	被疑者が住宅地内等を逃走した際、フェンスを乗り越え飛び降りたので、続いて飛び降りて着地した際に骨折した。
救助中 (4件)	切れ・こすれ	打撲・挫傷	自殺企図者を救助した際、素足で入水したため、川底の貝殻やガラス片で両足の裏を負傷した。
	踏み抜き	創傷(擦過傷含む)	火災現場で作業中、釘のついた瓦を踏み、負傷した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	人が死んでいるとの通報を受け、現場臨場し事案処理のため、死体を搬送しようと持ち上げたところ、腰に痛みを感じた。
	飛来・落下	捻挫(腰痛を除く)	火災現場で通報者から事情聴取中、はしがが倒れてきて、頭部に当たり負傷した。
車両運転中 (交通事故) (4件)	交通事故(道路)	骨折	公用バイクを運転中、通行人に呼び止められたと思い止まろうとブレーキをかけたところ、後輪が滑りバイクごと転倒し、負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	110番の現場へ向かうため、小型警ら車を運転し、交差点を右折しようとした際、対向車線から赤信号無視で直進してきた速度超過の普通乗用車と激突し、負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	110番の現場へ向かうため、小型警ら車に側乗し、交差点を右折しようとした際、対向車線から赤信号無視で直進してきた速度超過の普通乗用車と激突し、負傷した。
	交通事故(道路)	捻挫(腰痛を除く)	管内パトロールのため小型警ら車を運転中、横断歩道で停車した際、二重追突事故に遭い、負傷した。
捜査移動中 (4件)	転倒	打撲・挫傷	事件捜査のため、山中で検索をし、林道へ出ようと斜面を降りていたところ、ぬかるみで足を取られ、両足を大きく開いた状態で転倒し、左膝を捻り負傷した。
	転倒	捻挫(腰痛を除く)	交通事故処理中、交通規制内の道路上を走って移動中、舗装部分と非舗装部分との境目の段差で足を踏み外し、負傷したものの。
	墜落・転落	骨折	職務質問を終え、パトカーまで戻ろうとしたところ、街灯もなく辺りが暗かったため、誤って左足を用水路に踏み外し、約1.6mの高さから転落、負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	打撲・挫傷	飲酒運転の検問場所に到着し、車両内から車外へ出ようと折りたたみ補助椅子を収納する際、椅子の脚部と留め金部分の間に左手中指を挟み、負傷した。
施設内移動中 (2件)	墜落・転落		勤務を終え、帰宅しようとしたところ、職場の階段を下りていたところ、階段の滑り止めのゴムに足がつまづき転倒し、負傷した。
	墜落・転落	打撲・挫傷	捜査のため庁舎外に出ようと階段を下りていたところ、階段を踏み外し、転落し負傷した。
動物 (2件)	その他	創傷(擦過傷含む)	当直勤務中、一時預かりの犬に水を与えるため、水を入れた容器を置いたところ、犬が飛びかかってきて、右手をかまれた。
	その他	創傷(擦過傷含む)	もめごと事案に対応するため発生場所へ赴き、通報者へ事情聴取を始めようとしたところ、通報者の子犬が突然吠えだし、右足の親指の付け根を咬まれた。
加害者対応中 (1件)	故意の加害行為	打撲・挫傷	交通トラブルの現場で、加害者が被害者に掴みかかりそうになったので、防ごうと間に立ったところ突き飛ばされ転倒し、負傷した。

【消防職員】

〔分析結果〕

- 40 職種別では、「消防職員」100.0%となっている。
- 男女別では、「男性」が100.0%となっている。
- 年齢層別では、「50歳代」が47.4%で最も高く、半数近くを占めている。「20歳代」21.1%、「30歳代」・「40歳代」がそれぞれ15.8%で続いている。
- 月別分類では、「9月」・「12月」がそれぞれ15.8%で最も高く、「6月」・「10月」・「1月」・「3月」がそれぞれ10.5%で続いている。
- 曜日別分類では、「木曜日」・「土曜日」・「日曜日」がそれぞれ21.1%で最も高く、「月曜日」・「水曜日」・「金曜日」がそれぞれ10.5%で続いている。
他の職種に比べて「土曜日」・「日曜日」の比率が高いのが特徴である。
- 時間別分類では、「8時」・「14時」が26.3%で最も高く、「11時」15.7%が続いている。
- 事故の型別分類では、「動作の反動・無理な動作」が31.6%で最も高く、「転倒」・「その他」がそれぞれ15.7%で続いている。
- 起因別分類では、「分類不能」を除き、「材料」・「起因物なし」がそれぞれ20.9%で最も高い。
- 傷病別分類では、「骨折」が47.3%で最も高く、半数近くを占めている。「打撲・挫傷」21.1%、「創傷・擦過傷」・「その他」がそれぞれ10.5%で続いている。
- 治癒の状況は、平成22年9月30日現在で、「治癒」89.5%、「未治癒」が10.5%となっている。
- 療養期間は、平成22年9月30日現在で、「1月以上3月未満」が47.3%で最も高く、「1月未満」26.3%、「3月以上6月未満」・「6月以上12月未満」・「12月以上18月未満」がそれぞれ15.8%で続いている。
療養期間が12月以上に及ぶものが15.8%になっている。
平均の療養期間は4.4月となっている。
- 災害発生場面別では、「訓練中」が47.4%で最も高く、「出動中」26.3%、「施設内移動中」・「公務通勤」がそれぞれ10.5%で続いている。

〔発生頻度が高い災害〕

- 訓練中の無理な動作によるけが
(ロープ訓練中が最も多い。)

消防職員

区分	項目	実数	割合	
9職種別	義務教育学校職員		0.0	
	その他教育職員		0.0	
	警察職員		0.0	
	消防職員	19	100.0	
	電気、ガス、水道事業職員		0.0	
	運輸事業職員		0.0	
	清掃事業職員		0.0	
	船員		0.0	
	その他の職員		0.0	
	計	19	100.0	
40職種別	医師・歯科医師		0.0	
	看護師		0.0	
	保健師・助産師		0.0	
	その他の医療技術者		0.0	
	保育所保育士		0.0	
	施設保育士・寄宿舎指導員等		0.0	
	調理員		0.0	
	養護学校教員		0.0	
	その他の教育公務員		0.0	
	社会教育主事		0.0	
	警察職員		0.0	
	消防職員	19	100.0	
	清掃職員		0.0	
	土木技師		0.0	
	運転士・車掌等		0.0	
	農林水産技師		0.0	
	建築技師		0.0	
	栄養士		0.0	
	農業等改良普及員		0.0	
	司書・学芸員		0.0	
	獣医師		0.0	
	一般事務職		0.0	
	一般技術職		0.0	
	技能労務職		0.0	
	計	19	100.0	
	男女別	男	19	100.0
		女	0	0.0
計		19	100.0	
年齢層別	10歳代	0	0.0	
	20歳代	4	21.1	
	30歳代	3	15.8	
	40歳代	3	15.8	
	50歳代	9	47.4	
	60歳以上	0	0.0	
	計	19	100.1	
月日別	4月	1	5.3	
	5月	1	5.3	
	6月	2	10.5	
	7月	3	15.8	
	8月		0.0	
	9月	3	15.8	
	10月	2	10.5	
	11月		0.0	
	12月	3	15.8	
	1月	2	10.5	
	2月		0.0	
	3月	2	10.5	
	計	19	100.0	
曜日別	月曜日	2	10.5	
	火曜日	1	5.2	
	水曜日	2	10.5	
	木曜日	4	21.1	
	金曜日	2	10.5	
	土曜日	4	21.1	
	日曜日	4	21.1	
	計	19	100.0	

区分	項目	実数	割合
時間別	0時		0.0
	1時		0.0
	2時		0.0
	3時		0.0
	4時		0.0
	5時		0.0
	6時		0.0
	7時		0.0
	8時		0.0
	9時	5	26.3
	10時	2	10.5
	11時		0.0
	12時	3	15.7
	13時		0.0
	14時		0.0
	15時	5	26.3
	16時	1	5.3
	17時		0.0
	18時	1	5.3
	19時	1	5.3
	20時		0.0
	21時	1	5.3
	22時		0.0
	23時		0.0
不明		0.0	
計	19	100.0	
事故の型別分類	墜落、転落	1	5.3
	転倒	3	15.7
	激突	1	5.3
	飛来、落下		0.0
	崩壊・倒壊		0.0
	激突され	1	5.3
	はさまれ、巻き込まれ	2	10.5
	切れ、こすれ	1	5.3
	高温・低温物との接触		0.0
	有害物等との接触		0.0
	動作の反動、無理な動作	6	31.6
	交通事故	1	5.3
	故意の加害行為		0.0
	踏み抜き		0.0
	破裂		0.0
	汚染血液による事故		0.0
	火災		0.0
	その他	3	15.7
	分類不能		0.0
	計	19	100.0
起因物別分類	建設用等機械		0.0
	その他の動力機械	1	5.3
	自動車(乗用車)	1	5.3
	トラック等		0.0
	バイク	1	5.3
	自転車		0.0
	注射針等		0.0
	装置、設備		0.0
	人力機械工具等	1	5.3
	仮設物、建築物、構築物等	1	5.3
	危険物、有害物等		0.0
	材料	4	20.9
	荷	1	5.3
	地山・岩石		0.0
	立木等	1	5.3
	水	1	5.3
	高温・低温環境等		0.0
	人間		0.0
	動物	1	5.3
その他	1	5.3	
その他起因物		0.0	
起因物なし	4	20.9	
分類不能	1	5.2	
計	19	100.0	

区分	項目	実数	割合
傷病名分類	骨折	9	47.3
	打撲・挫傷	4	21.1
	創傷・擦過傷	2	10.5
	火傷		0.0
	靭帯・腱断裂	1	5.3
	捻挫(腰痛を除く)	1	5.3
	神経損傷		0.0
	刺傷		0.0
	眼疾患		0.0
	呼吸器疾患		0.0
	その他	2	10.5
	疾病		0.0
	計		19
治癒の状況 (H22.9.30現在)	治癒	17	89.5
	未治癒	2	10.5
計		19	100.0
療養期間 (H22.9.30現在)	1月未満	5	26.3
	1月以上3月未満	5	47.3
	3月以上6月未満	3	15.8
	6月以上12月未満	3	15.8
	平均 5.1月 12月以上18月未満	3	15.8
	18月以上24月未満		0.0
	24月以上		0.0
	不明		0.0
	計		19
うち未治癒者の 療養期間 (H22.9.30現在)	3月以上6月未満		0.0
	6月以上12月未満		0.0
	12月以上18月未満	2	100.0
	18月以上24月未満		0.0
	24月以上		0.0
計		2	100.0
災害発生場面	訓練中	9	47.4
	出勤中	5	26.3
	施設内移動中	2	10.5
	公務通勤	2	10.5
	準備・後片付け中	1	5.3
	計		19

消防職員

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
訓練中 (9件)	はさまれ、巻き込まれ	骨折	ロープ渡過の救助訓練中、宙吊りになった際に自己確保ロープの結束部が右胸部辺りにあったため、下腹部に修正しようとして体を反転したところ、肋軟骨を骨折した。
	動作の反動、無理な動作	骨折	ロープ登坂訓練中、登坂者となり、ロープを腰部に巻いて登っていたところ、ロープを巻いている腰部に全体重がかかったため、腰部あたりに激痛が走り、左肋骨を骨折した。
	その他	打撲・挫傷	ロープブリッジ訓練中、チロリアン渡過でロープを渡っていたところ、ロープが揺れてバランスを崩し、右手親指を左手にぶつけて負傷した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	はしごの登坂訓練中、ロープを身体に結着して登坂者の安全確保をしていたところ、登坂者が足を踏み外したため、足を踏ん張った瞬間、下腿部に激痛が走った。
	激突され	打撲・挫傷	消防訓練中、給水ホースのバックを肩に掛けて出火想定場所に向かっていたところ、ホースとホースを繋ぐ鉄製のカップリング部が右足に当たって負傷した。
	激突	骨折	同僚と体力錬成を実施しており、2人1組でメディンボール(重量4kg)を補助者の股の下から受け取って持ち上げる訓練をしていたところ、人差し指をボールで突いて負傷した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	土嚢を一旦持ち上げ、トラックの左側に投げ下ろす訓練をしていたところ、土嚢を投げた時に左膝に違和感を感じ、左膝半月板軟骨を損傷した。
	動作の反動、無理な動作	その他	要救助者(55kgの人形)を建物のベランダまで担架で搬送し、クレーンで救出する訓練中に、前傾姿勢になったところ腰部に激痛が走り負傷した。
	その他	その他	潜水訓練を実施しており、岸から30m潜降してパイに到着した後、合図で浮上するという訓練を行っていた。帰宅後、耳に違和感があり、出血があった。
出勤中 (5件)	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	消火活動中、出火建物と隣家との間が鉄板のトタンで覆われて有効注水ができなかったため、トタンを引き剥がしていたところ、手を切って負傷した。
	転倒	靭帯、腱断裂	消火活動中、インパルス銃(タンクを背負うタイプの消火器具)を背負って竹林法面を駆け上がっていたところ、笹の枯葉で足が滑ったため、左足を踏ん張った際、激痛が走って負傷した。
	動作の反動、無理な動作	骨折	土手下に車が転落したと通報があり、現場を確認するため、土手に設置してあるコンクリートの階段を下り、階段から土手に足を着いたところ、窪みで足を捻って負傷した。
	その他	創傷(擦過傷含む)	救急搬送のため、救急車を停車して患者宅に入ろうとしていたところ、母屋と納屋の間に鎖で繋がれた犬が咬みつき、負傷した。
	動作の反動、無理な動作	捻挫(腰痛を除く)	消防車に乗車して管内の水利調査を実施しており、防火水槽を調査しようとして消防車から降車した際、路面が傾斜していたため、足首を捻って負傷した。
施設内移動中 (2件)	墜落・転落	骨折	事務所の2階から1階へ下りようとしたところ、階段上部でバランスを崩し、後ろ向きで立ったまま滑るように階段を落ち、骨折した。
	転倒	骨折	救急事案発生時の連絡があったため、公用車に向かって駐車場を横切ろうとしたところ、通路と駐車場の境に垂れ下がった針金があり、足を取られて転倒し、負傷した。
公務通勤 (2件)	交通事故(道路)	骨折	自動二輪車で通勤途中、交差点を直進しようとしたところ、対向車が右折しようとして交差点に進入してきたため、衝突して転倒し、負傷した。
	転倒	骨折	当直勤務後帰宅中、交差点左折の際、自転車が交差点に進入して衝突しそうになったため、ブレーキを掛けたところ、前輪が鉄製のマンホールの蓋でスリップし、転倒し負傷した。
準備・片付け (1件)	はさまれ、巻き込まれ	骨折	電動ホースカーの始業点検中、移動するためにスロットルを回したところ、想像以上に早く動いたため、車庫内の棚とハンドルの間に手を挟んで負傷した。

【電気・ガス・水道事業職員】

〔分析結果〕

- 40 職種別では、「一般技術職」66.6%、「土木技師」・「一般事務職」がそれぞれ16.7%となっている。
- 男女別では、「男性」が100.0%となっている。
- 年齢層別では、「50歳代」が49.9%で最も高く、半数を占めている。「30歳代」・「40歳代」・「60歳以上」がそれぞれ16.7%で続いている。
- 月別分類では、「11月」が33.2%で最も高く、「7月」・「9月」・「1月」・「3月」がそれぞれ16.7%で続いている。
- 曜日別分類では、「木曜日」が66.6%で最も高く、「火曜日」・「金曜日」がそれぞれ16.7%で続いている。
- 時間別分類では、「11時」・「14時」が33.3%で最も高く、「10時」・「不明」がそれぞれ16.7%で続いている。
- 事故の型別分類では、「激突」が49.9%で最も高く、「転倒」・「有害物等との接触」・「その他」がそれぞれ16.7%で続いている。
- 起因別分類では、「自動車（乗用車）」が49.9%で最も高く、「仮設物・建築物・構築物等」・「危険物・有害物等」・「動物」がそれぞれ16.7%で続いている。
- 傷病別分類では、「打撲・挫傷」・「創傷・擦過」が33.3%で最も高く、「捻挫（腰痛を除く）」・「疾病」がそれぞれ16.7%で続いている。
- 治癒の状況は、平成22年9月30日現在で、「治癒」が100%となっている。
- 療養期間は、平成22年9月30日現在で、「1月以上3月未満」83.3%、「不明」となっている。
療養期間が3か月未満のものが8割を超え、短期間のものが高いのが特徴である。
平均の療養期間は0.2月となっている。
- 災害発生場面別では、「出張業務中」が49.9%で最も高く、半数を占め、「車輛運転中」・「準備・後片付け中」・「疾病」がそれぞれ16.7%となっている。

〔発生頻度が高い災害〕

- 公用車から荷物を取り出し中、同僚職員がドアを閉めたことによるけが

電気・ガス・水道事業職員

区分	項目	実数	割合
⑨職種別	義務教育学校職員		0.0
	その他教育職員		0.0
	警察職員		0.0
	消防職員		0.0
	電気、ガス、水道事業職員	6	100.0
	運輸事業職員		0.0
	清掃事業職員		0.0
	船員		0.0
	その他の職員		0.0
	計	6	100.0
40職種別	医師・歯科医師		0.0
	看護師		0.0
	保健師・助産師		0.0
	その他の医療技術者		0.0
	保育所保育士		0.0
	施設保育士・寄宿舎指導員等		0.0
	調理員		0.0
	養護学校教員		0.0
	その他の教育公務員		0.0
	社会教育主事		0.0
	警察職員		0.0
	消防職員		0.0
	清掃職員		0.0
	土木技師	1	16.7
	運転士・車掌等		0.0
	農林水産技師		0.0
	建築技師		0.0
	栄養士		0.0
	農業等改良普及員		0.0
	司書・学芸員		0.0
	獣医師		0.0
	一般事務職	1	16.7
	一般技術職	4	66.6
技能労務職		0.0	
計	6	100.0	
男女別	男	6	100.0
	女		0.0
	計	6	100.0
年齢層別	10歳代		0.0
	20歳代		0.0
	30歳代	1	16.7
	40歳代	1	16.7
	50歳代	3	49.9
	60歳以上	1	16.7
	計	6	100.0
月別	4月		0.0
	5月		0.0
	6月		0.0
	7月	1	16.7
	8月		0.0
	9月	1	16.7
	10月		0.0
	11月	2	33.2
	12月		0.0
	1月	1	16.7
	2月		0.0
	3月	1	16.7
	計	6	100.0
曜日別	月曜日		0.0
	火曜日	1	16.7
	水曜日		0.0
	木曜日	4	66.6
	金曜日	1	16.7
	土曜日		0.0
	日曜日		0.0
	計	6	100.0

区分	項目	実数	割合
時間別	0時		0.0
	1時		0.0
	2時		0.0
	3時		0.0
	4時		0.0
	5時		0.0
	6時		0.0
	7時		0.0
	8時		0.0
	9時		0.0
	10時	1	16.7
	11時	2	33.3
	12時		0.0
	13時		0.0
	14時	2	33.3
	15時		0.0
	16時		0.0
	17時		0.0
	18時		0.0
	19時		0.0
	20時		0.0
	21時		0.0
	22時		0.0
	23時		0.0
不明	1	16.7	
計	6	100.0	
事故の型別分類	墜落、転落		0.0
	転倒	1	16.7
	激突	3	49.9
	飛来、落下		0.0
	崩壊・倒壊		0.0
	激突され		0.0
	はさまれ、巻き込まれ		0.0
	切れ、こすれ		0.0
	高温・低温物との接触		0.0
	有害物等との接触	1	16.7
	動作の反動、無理な動作		0.0
	交通事故		0.0
	故意の加害行為		0.0
	踏み抜き		0.0
	破裂		0.0
	汚染血液による事故		0.0
	火災		0.0
	その他	1	16.7
	分類不能		0.0
	計	6	100.0
起因物別分類	建設用等機械		0.0
	その他の動力機械		0.0
	自動車(乗用車)	3	49.9
	トラック等		0.0
	バイク		0.0
	自転車		0.0
	注射針等		0.0
	装置、設備		0.0
	人力機械工具等		0.0
	仮設物、建築物、構築物等	1	16.7
	危険物、有害物等	1	16.7
	材料		0.0
	荷		0.0
	地山・岩石		0.0
	立木等		0.0
	水		0.0
	高温・低温環境等		0.0
	人間		0.0
	動物	1	16.7
	その他		0.0
その他起因物		0.0	
起因物なし		0.0	
分類不能		0.0	
計	6	100.0	

区分	項目	実数	割合
傷病名分類	骨折		0.0
	打撲・挫傷	2	33.3
	創傷・擦過傷	2	33.3
	火傷		0.0
	靭帯・腱断裂		0.0
	捻挫(腰痛を除く)	1	16.7
	神経損傷		0.0
	刺傷		0.0
	眼疾患		0.0
	呼吸器疾患		0.0
	その他	1	16.7
	疾病	6	100.0
	計	6	100.0
治癒の状況 (H22.9.30現在)	治癒		0.0
	未治癒	6	100.0
	計		0.0
療養期間 (H22.9.30現在) 平均 0.2月	1月未満	5	66.6
	1月以上3月未満		0.0
	3月以上6月未満		0.0
	6月以上12月未満		0.0
	12月以上18月未満		0.0
	18月以上24月未満		0.0
	24月以上	1	16.7
	不明	6	83.3
	計		0.0
うち未治癒者の 療養期間 (H22.9.30現在)	3月以上6月未満		0.0
	6月以上12月未満		0.0
	12月以上18月未満		0.0
	18月以上24月未満		0.0
	24月以上	0	0.0
	計	3	49.9
災害発生場面	出張業務中	1	16.7
	車輛運転中	1	16.7
	準備・後片付け中	1	16.7
	疾病	6	100.0
	計		

電気, ガス, 水道事業職員

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
出張業務中	激突	打撲・挫傷	排水設備工事の竣工検査を行うため、公用車のハッチバックのドアを開けてドライバーを取り出し、閉めようとしたところ、ドアの角で頭を強打して負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	薬品貯蔵層のバルブの開閉作業中、段差に足をかけた時に引っかかりこけ、左下腿の脛を打ち、挫傷した。
	その他	創傷(擦過傷含む)	浄水場内の野良犬を捕獲しようとしたところ、犬に指を咬まれて負傷した。
車輛運転中 (交通事故)	激突	捻挫(腰痛を除く)	出張用務終了後、前走車が右折するために停車したので、自車も停車し、前走車の進行を待っていたところ、後ろから進行してきた普通自動車に衝突され、負傷した。
準備・片付け	激突	創傷(擦過傷含む)	出張終了後、採水容器を取り出そうとして公用車のバックドアを覗き込んだところ、隣にいた職員がバックドアを閉めたため、頭部がドアの角に衝突して負傷した。
疾病	有害物質等との接触	胸腹部臓器疾患(肝臓疾患を除く)	石綿を含有した配水管の布設作業に従事し、主に配水管の切断や布設等を担当しており、大量の石綿を吸引して発症した。

【運輸事業職員】

〔分析結果〕

- 40 職種別では、「運転士・車掌等」85.7%、「一般事務職」14.3%となっている。
- 男女別では、「男性」が100.0%となっている。
- 年齢層別では、「40歳代」が57.1%で最も高く、半数以上を占めている。「50歳代」28.5%、「30歳代」14.3%で続き、40歳代以上で85.7%を占めている。
- 月別分類では、「10月」が28.5%で最も高く、「4月」・「5月」・「7月」・「8月」・「9月」がそれぞれ14.3%となっている。
- 曜日別分類では、「火曜日」・「土曜日」がそれぞれ28.6%で最も高く、「月曜日」・「木曜日」・「金曜日」がそれぞれ14.3%となっている。
他の職種に比べて土曜日の比率が高いのが特徴である。
- 時間別分類では、「12時」・「16時」が28.6%で最も高く、「5時」・「7時」・「18時」が14.3%となっている。
- 事故の型別分類では、「交通事故」が57.1%で最も高く、「墜落・転落」・「転倒」・「故意の加害行為」がそれぞれ14.3%で続いている。
他の職種に比べ、「交通事故」が高いのが特徴である。
- 起因別分類では、「分類不能」を除き、「自動車(乗用車)」が57.1%で最も高く、「仮設物・建築物・構築物等」・「人間」がそれぞれ14.3%で続いている。
- 傷病別分類では、「打撲・挫傷」85.7%で8割以上を占め、「創傷・擦過傷」14.3%となっている。
- 治癒の状況は、平成22年9月30日現在で、「治癒」85.7%、「未治癒」が14.3%となっている。
- 療養期間は、平成22年9月30日現在で、「3月以上6月未満」・「12月以上18月未満」が28.6%で最も高く、「1月未満」・「6月以上12月未満」・「24月以上」がそれぞれ14.3%となっている。
療養期間が12月以上に及ぶものが42.8%になっている。
平均の療養期間は10.9月となっている。
- 災害発生場面別では、「運転業務中(交通事故)」が42.8%で最も高く、「運転業務中(加害行為)」・「準備・後片付け中」・「設備等の整備・清掃中」・「公務通勤」がそれぞれ14.3%となっている。

〔発生頻度が高い災害〕

- 運転業務中の交通事故

運輸事業職員

区分	項目	実数	割合	
9職種別	義務教育学校職員		0.0	
	その他教育職員		0.0	
	警察職員		0.0	
	消防職員		0.0	
	電気、ガス、水道事業職員		0.0	
	運輸事業職員	7	100.0	
	清掃事業職員		0.0	
	船員		0.0	
	その他の職員		0.0	
	計	7	100.0	
40職種別	医師・歯科医師		0.0	
	看護師		0.0	
	保健師・助産師		0.0	
	その他の医療技術者		0.0	
	保育所保育士		0.0	
	施設保育士・寄宿舎指導員等		0.0	
	調理員		0.0	
	養護学校教員		0.0	
	その他の教育公務員		0.0	
	社会教育主事		0.0	
	警察職員		0.0	
	消防職員		0.0	
	清掃職員		0.0	
	土木技師		0.0	
	運転士・車掌等	6	85.7	
	農林水産技師		0.0	
	建築技師		0.0	
	栄養士		0.0	
	農業等改良普及員		0.0	
	司書・学芸員		0.0	
	獣医師		0.0	
	一般事務職	1	14.3	
	一般技術職		0.0	
	技能労務職		0.0	
	計	7	100.0	
	男女別	男	7	100.0
		女		0.0
計		7	100.0	
年齢層別	10歳代		0.0	
	20歳代		0.0	
	30歳代	1	14.3	
	40歳代	4	57.1	
	50歳代	2	28.6	
	60歳以上		0.0	
	計	7	100.0	
月別	4月	1	14.3	
	5月	1	14.3	
	6月		0.0	
	7月	1	14.3	
	8月	1	14.3	
	9月	1	14.3	
	10月	2	28.5	
	11月		0.0	
	12月		0.0	
	1月		0.0	
	2月		0.0	
	3月		0.0	
	計	7	100.0	
曜日別	月曜日	1	14.2	
	火曜日	2	28.6	
	水曜日		0.0	
	木曜日	1	14.3	
	金曜日	1	14.3	
	土曜日	2	28.6	
	日曜日		0.0	
	計	7	100.0	

区分	項目	実数	割合
時間別	0時		0.0
	1時		0.0
	2時		0.0
	3時		0.0
	4時		0.0
	5時	1	14.2
	6時		0.0
	7時	1	14.3
	8時		0.0
	9時		0.0
	10時		0.0
	11時		0.0
	12時	2	28.6
	13時		0.0
	14時		0.0
	15時		0.0
	16時	2	28.6
	17時		0.0
	18時	1	14.3
	19時		0.0
	20時		0.0
	21時		0.0
	22時		0.0
	23時		0.0
不明		0.0	
計	7	100.0	
事故の型別分類	墜落、転落	1	14.3
	転倒	1	14.3
	激突		0.0
	飛来、落下		0.0
	崩壊・倒壊		0.0
	激突され		0.0
	はさまれ、巻き込まれ		0.0
	切れ、こすれ		0.0
	高温・低温物との接触		0.0
	有害物等との接触		0.0
	動作の反動、無理な動作		0.0
	交通事故	4	57.1
	故意の加害行為	1	14.3
	踏み抜き		0.0
	破裂		0.0
	汚染血液による事故		0.0
	火災		0.0
	その他		0.0
	分類不能		0.0
	計	7	100.0
起因物別分類	建設用等機械		0.0
	その他の動力機械		0.0
	自動車(乗用車)	4	57.1
	トラック等		0.0
	バイク		0.0
	自転車		0.0
	注射針等		0.0
	装置、設備		0.0
	人力機械工具等		0.0
	仮設物、建築物、構築物等	1	14.3
	危険物、有害物等		0.0
	材料		0.0
	荷		0.0
	地山・岩石		0.0
	立木等		0.0
	水		0.0
	高温・低温環境等		0.0
	人間	1	14.3
	動物		0.0
その他		0.0	
その他起因物		0.0	
起因物なし		0.0	
分類不能	1	14.3	
計	7	100.0	

区分	項目	実数	割合	
傷病名分類	骨折		0.0	
	打撲・挫傷	6	85.7	
	創傷・擦過傷	1	14.3	
	火傷		0.0	
	靭帯・腱断裂		0.0	
	捻挫(腰痛を除く)		0.0	
	神経損傷		0.0	
	刺傷		0.0	
	眼疾患		0.0	
	呼吸器疾患		0.0	
	その他		0.0	
	疾病		0.0	
	計	7	100.0	
治癒の状況 (H22.9.30現在)	治癒	6	85.7	
	未治癒	1	14.3	
	計	7	100.0	
療養期間 (H22.9.30現在)	1月未満	1	14.3	
	1月以上3月未満	0	0.0	
	3月以上6月未満	2	42.8	
	6月以上12月未満	1	14.3	
	平均 13.9月	12月以上18月未満	2	28.6
	18月以上24月未満	0	0.0	
	24月以上	1	14.3	
	不明		0.0	
計	7	114.3		
うち未治癒者の 療養期間 (H22.9.30現在)	3月以上6月未満		0.0	
	6月以上12月未満		0.0	
	12月以上18月未満		0.0	
	18月以上24月未満		0.0	
	24月以上	1	100.0	
	計	1	100.0	
災害発生場面	業務運転中(交通事故)	3	42.8	
	業務運転中(加害行為)	1	14.3	
	準備・後片付け中	1	14.3	
	設備等の整備、清掃中	1	14.3	
	公務通勤	1	14.3	
	計	7	100.0	

運輸事業職員

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
運転業務中 (4件)	交通事故 (道路)	打撲・挫傷	バスを運行中、同一方向右側を走行していた車が左折しようとしてレーンチェンジをしたため、車とバス右前部が接触して負傷した。
	交通事故 (道路)	打撲・挫傷	バスの運行中、普通乗用車が中央線を越えて走ってきたので急ブレーキをかけたが、バスが停止したと同時に相手車両がバスの前部に衝突して負傷した。
	交通事故 (道路)	打撲・挫傷	バスに乗務中、停車して乗務記録をつけていたところ、軽自動車バス正面に衝突して負傷した。
	故意の加害行為	打撲・挫傷	バスを運行中、側道から合流しようとしていた車両の進路をふさぐように停車したため、車両の運転者が腹を立て、バスの窓ごしから殴りかかってきた。
準備・後片付け中	転倒	打撲・挫傷	バスを運行するため、運転席に乗り込もうとしたところ、ステップが滑ってバランスを崩し、ステップで右手を強打して負傷した。
設備等の整備、清掃中	墜落・転落	創傷(擦過傷含む)	バス停に張った公告を剥がす作業を行っていたところ、バス停付近の側溝にしてあるグレーチングと溝蓋のすき間に左足がはまり、溝蓋で左下腿を強打して負傷した。
公務通勤	交通事故 (道路)	打撲・挫傷	普通乗用車で出勤途中、交差点で信号を無視して進入してきた普通乗用車と衝突し、負傷した。

【清掃職員】

〔分析結果〕

- 40 職種別では、「清掃職員」89.5%、「運転士・車掌等」、「技能労務職」がそれぞれ5.3%となっている。
- 男女別では、「男性」が94.7%、「女性」5.3%となっている。
- 年齢層別では、「40歳代」が31.6%で最も高く、「30歳代」、「50歳代」がそれぞれ26.3%で続いている。40歳代以上で63.2%となり6割以上となっている。
- 月別分類では、「5月」が31.5%で最も高く、「4月」26.2%、「8月」10.5%が続いている。「4月」と「5月」で57.7%を占め、6割近くになっている。
- 曜日別分類では、「月曜日」が31.5%で最も高く、「水曜日」21.1%、「火曜日」・「木曜日」がそれぞれ15.8%で続いている。
- 時間別分類では、「11時」が21.0%で最も高く、「9時」、「10時」、「16時」がそれぞれ15.8%で続いている。
- 事故の型別分類では、「激突」が26.2%で最も高く、「交通事故」21.1%、「はさまれ・巻き込まれ」15.8%で続いている。
- 起因別分類では、「トラック等」が31.5%で最も高く、「自動車(乗用車)」が26.3%、「人工機械工具等」、「荷」がそれぞれ10.5%で続いている。
車輻を原因とするものが57.8%となり、6割近くを占める。
- 傷病別分類では、「打撲・挫傷」が63.2%で6割以上を占め、「骨折」21.1%、「創傷・擦過傷」15.7%となっている。
- 治癒の状況は、平成22年9月30日現在で、「治癒」100.0%となっている。
- 療養期間は、平成22年9月30日現在で、「1月未満」が42.1%で最も高く、「1月以上3月未満」36.8%、「3月以上6月未満」15.8%が続いている。
療養期間が3か月未満のものが78.9%で8割近くを占め、12月以上に及ぶものはなく、短期間のものの比率が高いのが特徴である。
平均の療養期間は1.8月となっている。
- 災害発生場面別では、「車輻乗降中」が31.6%、「車輻運転中(交通事故)」・「ゴミ収集業務中」がそれぞれ21.1%、「道路移動中」、「設備等の整備・清掃中」がそれぞれ10.5%、「準備・後片付け中」5.2%となっている。

〔発生頻度が高い災害〕

- ごみ収集車乗降中の車輻（ハンドル、ドアなど）への衝突や車輻から飛び降りた際のけが
- ごみ収集車運転中の衝突事故
- ごみ収集車横を通過した車との接触事故
- ごみ収集業務中のごみによるけが

清掃事業職員

区分	項目	実数	割合	
9職種別	義務教育学校職員		0.0	
	その他教育職員		0.0	
	警察職員		0.0	
	消防職員		0.0	
	電気、ガス、水道事業職員		0.0	
	運輸事業職員		0.0	
	清掃事業職員	19	100.0	
	船員		0.0	
	その他の職員		0.0	
	計	19	100.0	
40職種別	医師・歯科医師		0.0	
	看護師		0.0	
	保健師・助産師		0.0	
	その他の医療技術者		0.0	
	保育所保育士		0.0	
	施設保育士・寄宿舎指導員等		0.0	
	調理員		0.0	
	養護学校教員		0.0	
	その他の教育公務員		0.0	
	社会教育主事		0.0	
	警察職員		0.0	
	消防職員		0.0	
	清掃職員	17	89.5	
	土木技師		0.0	
	運転士・車掌等	1	5.3	
	農林水産技師		0.0	
	建築技師		0.0	
	栄養士		0.0	
	農業等改良普及員		0.0	
	司書・学芸員		0.0	
	獣医師		0.0	
	一般事務職		0.0	
	一般技術職		0.0	
	技能労務職	1	5.3	
	計	19	100.1	
	男女別	男	18	94.7
		女	1	5.3
計	19	100.0		
年齢層別	10歳代		0.0	
	20歳代	2	10.5	
	30歳代	5	26.3	
	40歳代	6	31.6	
	50歳代	5	26.3	
	60歳以上	1	5.3	
計	19	100.0		
月別	4月	5	26.2	
	5月	6	31.5	
	6月		0.0	
	7月	1	5.3	
	8月	2	10.5	
	9月	1	5.3	
	10月	1	5.3	
	11月	1	5.3	
	12月	1	5.3	
	1月	1	5.3	
	2月		0.0	
	3月		0.0	
	計	19	100.0	
曜日別	月曜日	6	31.5	
	火曜日	3	15.8	
	水曜日	4	21.1	
	木曜日	3	15.8	
	金曜日	2	10.5	
	土曜日		0.0	
	日曜日	1	5.3	
	計	19	100.0	

区分	項目	実数	割合
時間別	0時		0.0
	1時		0.0
	2時		0.0
	3時		0.0
	4時		0.0
	5時		0.0
	6時		0.0
	7時		0.0
	8時	1	5.3
	9時	3	15.8
	10時	3	15.8
	11時	4	21.0
	12時		0.0
	13時	2	10.5
	14時	2	10.5
	15時	1	5.3
	16時	3	15.8
	17時		0.0
	18時		0.0
	19時		0.0
	20時		0.0
	21時		0.0
	22時		0.0
	23時		0.0
不明		0.0	
計	19	100.0	
事故の型別分類	墜落、転落	2	10.5
	転倒	1	5.3
	激突	5	26.2
	飛来、落下	2	10.5
	崩壊・倒壊		0.0
	激突され		0.0
	はさまれ、巻き込まれ	3	15.8
	切れ、こすれ	1	5.3
	高温・低温物との接触		0.0
	有害物等との接触		0.0
	動作の反動、無理な動作	1	5.3
	交通事故	4	21.1
	故意の加害行為		0.0
	踏み抜き		0.0
	破裂		0.0
	汚染血液による事故		0.0
	火災		0.0
	その他		0.0
	分類不能		0.0
	計	19	100.0
起因物別分類	建設用等機械		0.0
	その他の動力機械	1	5.3
	自動車(乗用車)	5	26.3
	トラック等	6	31.5
	バイク		0.0
	自転車		0.0
	注射針等		0.0
	装置、設備		0.0
	人力機械工具等	2	10.5
	仮設物、建築物、構築物等	1	5.3
	危険物、有害物等		0.0
	材料		0.0
	荷	2	10.5
	地山・岩石		0.0
	立木等		0.0
	水		0.0
	高温・低温環境等		0.0
	人間		0.0
	動物		0.0
	その他		0.0
その他起因物		0.0	
起因物なし	1	5.3	
分類不能	1	5.3	
計	19	100.0	

区分	項目	実数	割合
傷病名分類	骨折	4	21.1
	打撲・挫傷	12	63.2
	創傷・擦過傷	3	15.7
	火傷		0.0
	靭帯・腱断裂		0.0
	捻挫(腰痛を除く)		0.0
	神経損傷		0.0
	刺傷		0.0
	眼疾患		0.0
	呼吸器疾患		0.0
	その他		0.0
	疾病		0.0
	計		19
治癒の状況 (H22.9.30現在)	治癒	19	100.0
	未治癒		0.0
療養期間 (H22.9.30現在)	計	19	100.0
平均 1.8月	1月未満	8	42.1
	1月以上3月未満	7	36.8
	3月以上6月未満	3	15.8
	6月以上12月未満	1	5.3
	12月以上18月未満		0.0
	18月以上24月未満		0.0
	24月以上		0.0
	不明		0.0
	計	19	100.0
うち未治癒者の 療養期間 (H22.9.30現在)	3月以上6月未満		0.0
	6月以上12月未満		0.0
	12月以上18月未満		0.0
	18月以上24月未満		0.0
	24月以上		0.0
	計	0	0.0
災害発生場面	車輛乗降中	6	31.6
	車輛運転中(交通事故)	4	21.1
	ゴミ収集業務中	4	21.1
	道路移動中	2	10.5
	設備等の整備, 清掃中	2	10.5
	準備・後片付け中	1	5.2
	計	19	100.0

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
車輛乗降中 (6件)	激突	創傷(擦過傷含む)	ごみの収集を終え、後部ドアを閉めようとしたところ、ドアに取り付けてあるコース番号を示すプレートに頭をぶつけて負傷した。
	激突	打撲・挫傷	収集車後部のドア部分を閉めようとしたところ、ドアに付いている止具で頭部を打って負傷した。
	激突	打撲・挫傷	ごみ処理場内を散水するため、散水車(大型車)の高いシート位置に勢いをつけて乗り込もうとしたところ、バランスを崩してハンドルで左胸部を強打して負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	打撲・挫傷	公用車を下りてドアを閉めたところ、開閉部付近に指をおいていたため、ドアに指を挟んで負傷した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	塵芥車の排出板に段ボールが引っかかっていたため、荷箱前方のステップに上がった後、飛び降りたところ、左足を捻って負傷した。
	墜落・転落	骨折	中継車に粗大ゴミを積んで降りようとしたところ、足が滑って右足から転落して負傷した。
車輛運転中 (交通事故) (4件)	交通事故(道路)	打撲・挫傷	ごみ収集車を運転中、信号のない交差点を直進しようとしたところ、左側から直進してきた普通乗用車に気づき、停止しようとしたが間に合わず、衝突して負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	ごみ収集車に同乗し、信号のない交差点を直進していたところ、左側から直進してきた普通乗用車と衝突して負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	ごみ収集車に同乗し、信号のない交差点を直進していたところ、左側から直進してきた普通乗用車と衝突して負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	収集車に後進していた車がアクセルとブレーキを踏み間違えて収集車に衝突し、収集車と相手車両に挟まれて負傷した。
ゴミ収集業務中 (4件)	飛来・落下	創傷(擦過傷含む)	ごみ処理場内でソファの解体中、バネを取り外そうとして力を入れたところ、バネが跳ねて腕に当たり、負傷した。
	飛来・落下	打撲・挫傷	積荷を降ろそうとトラック荷台の横扉を開けたところ、積荷の木材が足に落下して負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	骨折	トラックのリアゲートにゴミが挟まって開かない状態となっていたため、開けようとしていたところ、挟まっていたゴミが外れてリアゲートに手を挟んで負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	ごみステーションのごみを積み込んでいたところ、ごみ袋から針金が突き出ていたため、右大腿部を切創した。
道路移動中 (2件)	激突	打撲・挫傷	停車していた作業車両の後方から加害車両が勢いよく通り抜け、右側前タイヤで右足を踏まれて負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	ごみの収集作業中、車外に出て収集車を誘導していたところ、路面の舗装が悪く、つまずいて転倒し、負傷した。
設備等の整備、清掃中 (2件)	激突	打撲・挫傷	遠心分離機の仮設配管を通常配管に戻す作業中、ラチェットレンチでボルトを締めつけていたところ、レンチがボルトから外れて左顔部に当たって裂傷を負った。
	墜落・転落	打撲・挫傷	不法投棄監視カメラの整備のため、脚立に上がってカメラ収納ボックスの鍵を開けようとしたところ、脚立が後方に転倒し、前方転落して顔面等を負傷した。
準備・片付け (1件)	はさまれ、巻き込まれ	骨折	道路清掃車の運行前点検中、運転台を持ち上げて清掃し、運転台を下げたところ、思わぬ速度で落下したため、運転台とフェンダーの間で手首を挟み、負傷した。

【その他の職員（医療）】

〔分析結果〕

- 40 職種別では、「看護師」が 67.3% で最も高く、「医師・歯科医師」22.4%、「その他の医療技術者」7.5%、「保健師・助産師」3.0%となっている。
- 男女別では、「女性」61.2%、「男性」が 38.8%となっている。
- 年齢層別では、「20 歳代」が 49.4% で最も高く、半数近くを占めている。「30 歳代」25.4%、「40 歳代」20.9%が続いている。
- 月別分類では、「6 月」、「8 月」が 13.4% で最も高く、「9 月」11.9%、「7 月」10.3%が続いている。6 月～9 月の間に 49.0% と約半数が発生している。
- 曜日別分類では、「月曜日」、「木曜日」が 20.9% で最も高く、「火曜日」、「水曜日」、「金曜日」がそれぞれ 14.9% で続いている。
- 時間別分類では、「15 時」が 17.8% で最も高く、「11 時」14.9%、「16 時」11.9%、「14 時」10.4%が続いている。
- 事故の型別分類では、「汚染血液による事故」が 80.6% で最も高く、8 割以上を占める。「その他」8.9%が続いている。
- 起因別分類では、「分類不能」を除き、「注射針等」が 65.6% で最も高く、6 割以上を占める。「起因物なし」6.0%、「材料」4.5%が続いている。
- 傷病別分類では、「刺傷」が 74.5% で最も高く、7 割以上を占めている。「創傷・擦過傷」、「その他」7.5%、「打撲・挫傷」、「捻挫（腰痛を除く）」、「呼吸器疾患」がそれぞれ 3.0% で続いている。
- 治癒の状況は、平成 22 年 9 月 30 日現在で、「治癒」79.1%、「未治癒」が 20.9%となっている。
- 療養期間は、平成 22 年 9 月 30 日現在で、「6 月以上 12 月未満」49.3% で最も高く、「3 月以上 6 月未満」16.4%が続いている。
療養期間が 12 月以上に及ぶものが 20.9% になっている。
平均の療養期間は 7.7 月となっている。
- 災害発生場面別では、「針刺し」が 61.2% で最も高く、「切創」17.9%、「院内感染」7.5%、「血液飛散」、「患者等対応」がそれぞれ 6.0% で続いている。

〔発生頻度が高い災害〕

- 病院内での針刺し・切創などによる血液汚染事故

その他の職員(医療)

区分	項目	実数	割合
9職種別	義務教育学校職員		0.0
	その他教育職員		0.0
	警察職員		0.0
	消防職員		0.0
	電気、ガス、水道事業職員		0.0
	運輸事業職員		0.0
	清掃事業職員		0.0
	船員		0.0
	その他の職員	67	100.0
	計	67	100.0
40職種別	医師・歯科医師	15	22.4
	看護師	45	67.3
	保健師・助産師	2	3.0
	その他の医療技術者	5	7.5
	保育所保育士		0.0
	施設保育士・寄宿舎指導員等		0.0
	調理員		0.0
	養護学校教員		0.0
	その他の教育公務員		0.0
	社会教育主事		0.0
	警察職員		0.0
	消防職員		0.0
	清掃職員		0.0
	土木技師		0.0
	運転士・車掌等		0.0
	農林水産技師		0.0
	建築技師		0.0
	栄養士		0.0
	農業等改良普及員		0.0
	司書・学芸員		0.0
	獣医師		0.0
	一般事務職		0.0
	一般技術職		0.0
	技能労務職		0.0
	計	67	100.2
男女別	男	26	38.8
	女	41	61.2
	計	67	100.0
年齢層別	10歳代		0.0
	20歳代	33	49.4
	30歳代	17	25.4
	40歳代	14	20.9
	50歳代	3	4.5
	60歳以上	0	0.0
	計	67	100.2
月別	4月	4	6.0
	5月	3	4.5
	6月	9	13.4
	7月	7	10.3
	8月	9	13.4
	9月	8	11.9
	10月	4	6.0
	11月	5	7.5
	12月	5	7.5
	1月	3	4.5
	2月	5	7.5
	3月	5	7.5
		計	67
曜日別	月曜日	14	20.9
	火曜日	10	14.9
	水曜日	10	14.9
	木曜日	14	20.9
	金曜日	10	14.9
	土曜日	5	7.5
	日曜日	4	6.0
	計	67	100.0

その他の職員(医療)

区分	項目	実数	割合	区分	項目	実数	割合	
時間別	0時		0.0	傷病名分類	骨折	1	1.5	
	1時	1	1.5		打撲・挫傷	2	3.0	
	2時		0.0		創傷・擦過傷	5	7.5	
	3時		0.0		火傷		0.0	
	4時	1	1.5		靭帯・腱断裂		0.0	
	5時	1	1.5		捻挫(腰痛を除く)	2	3.0	
	6時		0.0		神経損傷		0.0	
	7時	3	4.5		刺傷	50	74.5	
	8時	1	1.5		眼疾患		0.0	
	9時		0.0		呼吸器疾患	2	3.0	
	10時	5	7.5		その他	5	7.5	
	11時	10	14.9		疾病		0.0	
	12時	4	6.0		計	67	100.0	
	13時	5	7.5		治療の状況	治療	53	79.1
	14時	7	10.4		(H22.9.30現在)	未治療	14	20.9
	15時	12	17.8		療養期間	計	67	100.0
	16時	8	11.9		(H22.9.30現在)	1月未満	8	11.9
	17時	1	1.5		平均 7.7月	1月以上3月未満	1	1.5
	18時	1	1.5			3月以上6月未満	11	16.4
	19時	3	4.5			6月以上12月未満	33	49.3
	20時		0.0			12月以上18月未満	12	17.9
	21時	2	3.0			18月以上24月未満	1	1.5
	22時		0.0			24月以上	1	1.5
	23時		0.0			不明		0.0
	不明	2	3.0		計	67	100.0	
	計	67	100.0		うち未治療者の療養期間	3月以上6月未満		0.0
	事故の型別分類	墜落、転落			0.0	(H22.9.30現在)	6月以上12月未満	3
転倒		1	1.5	12月以上18月未満	9	64.4		
激突			0.0	18月以上24月未満	1	7.1		
飛来、落下		1	1.5	24月以上	1	7.1		
崩壊・倒壊			0.0	計	14	100.0		
激突され		1	1.5	災害発生場面	針刺し	41	61.2	
はさまれ、巻き込まれ		1	1.5		切創	12	17.9	
切れ、こすれ		2	3.0		血液飛散	4	6.0	
高温・低温物との接触			0.0		院内感染	5	7.5	
有害物等との接触			0.0		患者等対応	4	6.0	
動作の反動、無理な動作		1	1.5		行事準備・後片付け		0.0	
交通事故			0.0		施設内移動		0.0	
故意の加害行為			0.0		農業・土木作業中		0.0	
踏み抜き			0.0		設備等整備、清掃中		0.0	
破裂			0.0		調理業務		0.0	
汚染血液による事故		54	80.6		出張中		0.0	
火災			0.0		動物・昆虫	1	1.4	
その他		6	8.9		レクリエーション事業中		0.0	
分類不能			0.0		ゴミ処理作業		0.0	
計		67	100.0		児童生徒対応中		0.0	
起因物別分類	建設用等機械		0.0		所属別	住民加害		0.0
	その他の動力機械		0.0			公務通勤		0.0
	自動車(乗用車)		0.0			通常の職務遂行中(その他)		0.0
	トラック等		0.0			計	67	100.0
	バイク		0.0			県立広島病院	8	11.9
	自転車		0.0	県立安芸津病院		10	14.9	
	注射針等	44	65.6	尾道市民病院		13	19.4	
	装置、設備		0.0	福山市民病院		27	40.3	
	人力機械工具等	1	1.5	三次中央病院		5	7.5	
	仮設物、建築物、構築物等	1	1.5	西城市民病院		1	1.5	
	危険物、有害物等		0.0	安芸太田病院		1	1.5	
	材料	3	4.5	その他		2	3.0	
	荷		0.0	計		67	100.0	
	地山・岩石		0.0					
	立木等		0.0					
	水		0.0					
	高温・低温環境等		0.0					
	人間	2	3.0					
	動物	1	1.5					
	その他		0.0					
	その他起因物	4	6.0					
	起因物なし		0.0					
	分類不能	11	16.4					
	計	67	100.0					

その他職員(医療)

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
(41件)	汚染血液による事故	刺傷	甲状腺腫の針細胞診のため穿刺の準備をしていたところ、誤って左手第1指の付け根を針で刺して負傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	C型肝炎患者の人工膝関節置換術中に、持針器の縫合針が右手小指背側に刺さり負傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	患者の点滴を行う際に、誤って左手指を針で刺して負傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	病棟で入院患者にインスリン注射を施行し、引き抜いたはずみで汚染針を左手親指に刺した。
	汚染血液による事故	刺傷	HIV感染不明の患者の手術中に、縫合針で誤って左手第2指を刺傷し、負傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	患者のベッドサイドでシーツを整えていたところ、ベッド柵に近い所にインスリン用注射器があり、その針先で左手第1指を刺し、負傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	皮下組織の縫合を行っていたところ、縫合針が左手母指に刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	針箱の中に入った手術用物品を長鉗子を使って探していたところ、汚染されたキルシュナー(長い針金)が右手に刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	手術室で手術介助をしていたところ、誤って使用済みの針が左手に刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	手術の器械出し業務中、医師から縫合針を受け取ろうとした時に縫合針が右手示指第2関節に刺さり、負傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	手術中、ドレーンのキャップを外そうとしたところ、手袋についた脂肪で手が滑り、ドレーンの針で右手を刺傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	心臓がほとんど動いていない救急患者を処置していたところ、携帯電話の音で患者の腕が反応し、縫合針で左手を刺傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	カテーテル検査中、患者の中心静脈を確保するために針を挿入し、試験穿刺から本穿刺に変えていたところ、誤って本穿刺針を左手指に刺して負傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	ワゴン車で使用済みのタオルを集め、タオル全部を一度に持ったところ、タオルの中にペンタイプのインスリン用の針が入っていたため、右手に刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	感染廃棄箱にゴミを捨てようとした際に、箱内の注射針が右母指のつけ根に刺さり、負傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	インスリン注射を施行した後、リムーバーを使って針を注射器から外そうとしたところ、針がリムーバーにはまらず左手掌に刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	手術中、縫合に使用した針を処置しようとしたところ、針が右手第三指に刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	人工骨頭挿入術の介助中、使用済みの針が付いた針持器を受け取ろうとしたところ、針先が左手第二指に刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	インスリン注射を施行するため、酒精綿で消毒しようとしたところ、前日使用した針が付いたままになっていたため、右手第一手に刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	外科手術の器械出しをしていた際に、針付の糸を持針器につけようとしたところ、誤って右手第2指を刺し、負傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	持続点滴の患者の胸辺りが濡れていたため、点滴漏れの確認をしようとして患者の服をめくろうとしたところ、Tシャツから針が出ていて右手に刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	患者にインシュリン注射を行った後、針先にカバーをつけ針を外そうとしたところ、カバーだけが外れたため残っていた針が右手第4指に刺さり、負傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	患者にインシュリン皮下注射を行った後、注射器のキャップ部分を左手で持ち、キャップしようとしたところ、左手中指を刺し、負傷した。
汚染血液による事故	刺傷	降頭十二指腸切除術の手術中、消化管吻合をしていたところ、血液の附着した針が左第2指に刺さった。	
汚染血液による事故	刺傷	動脈硬化症の血管内治療を施しており、ワイヤーの先端を血管の形状に合わせて整えていたところ、患者の治療に使用した針先が右第3指に刺さった。	
汚染血液による事故	刺傷	医師が採血した注射器を片手で受け取り、もう一方の手で検体容器を受け取ったところ、リキャップが外れていたため、注射針が検体容器を取り上げた手に刺さった。	
汚染血液による事故	刺傷	翼状針で患者の採血をしており、抜針のため針を収納していたところ、患者が腕を動かしたため、針が左第1指に刺さった。	
汚染血液による事故	刺傷	肝臓切除術の器材出し業務を行っており、主治医が閉創中、術野に無影灯を合わせようとしていたところ、主治医が皮膚を通して針を引き上げたため、無影灯を操作していた左前腕部を刺傷した。	
汚染血液による事故	刺傷	ペン型インシュリンのゴム栓を消毒していたところ、前回使用した注射針が残っていたため、左手第2指に針が刺さった。	
汚染血液による事故	刺傷	ストーマ閉鎖術の手術をしており、閉創するため、針にソフトナイロンをつけて持針器ごとオペレーターに渡したところ、持針器の針に右手が引っかかって刺傷した。	

その他職員(医療)

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
	汚染血液による事故	刺傷	インスリン注射を患者に施行した後、右手に注射器を持ち、左手にキャップを持ってリキャップしようとしたところ、針がキャップに入らず左指を刺傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	使用済みの針を処理するため、回診車の針廃棄容器を取り出したところ、容器の蓋が開いており、廃棄していた針がこぼれ落ちて右第二指に刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	入院中の患者にインシュリンを施行し、針をリキャップしようとしたところ、右手第三指に針が刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	手術中、右手に把持した針先が左手第4指に当たり、負傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	救急搬送患者の手術中、左鼠径部からの動脈シースを挿入する介助をしていたところ、使用していた穿刺針が左第三指に刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	患者の点滴のため、スーパーキャスを右前腕に穿刺し、固定用テープ等のごみと一緒に置いておき、ごみを左手で握ったところ、スーパーキャスの針先が左第2指に刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	インスリン注射器を処置ワゴンの上に置こうとしたところ、他の患者に話しかけられ、体をそちらに向けようとした時に右手第2指に痛みを感じ、負傷した。
	汚染血液による事故	刺傷	採血を終了した患者の創傷面に保護剤を貼付し、翼付安全針を抜こうとしたところ、患者が動いたため、針が左第2指に刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	造影剤の瓶に刺していた針を抜いて点滴チューブに刺し替えようとしたところ、チューブから針が滑って左手第2指に刺さった。
	汚染血液による事故	刺傷	静脈ルートを確保するために留置針を穿刺したが、逆血が確認できなかったため、改めて穿刺しようとしたところ、誤って左指に留置針を刺した。
	その他	刺傷	点滴を中止し、抜針しようと左手で刺針部位を消毒綿で押さえながら右手で針を抜いたときに針が左手に刺さり、負傷した。
	切創 (12件)	汚染血液による事故	刺傷
汚染血液による事故		刺傷	病理室でホルマリンに入っていた患者のリンパ節を切り出していたところ、誤って右手をメスで刺した。
汚染血液による事故		刺傷	手術終了後、使用した機材を片付けていたところ、電気メスの先が右手前腕内側に刺さった。
汚染血液による事故		創傷(擦過傷含む)	O型肝炎患者の手術中に、担当の医師が持っていたメスと左手が接触し、負傷した。
汚染血液による事故		創傷(擦過傷含む)	手術器具の片付け作業中、誤ってメスの刃で右手を切り、負傷した。
切れ・こすれ		創傷(擦過傷含む)	大腿骨骨折の手術中、筋膜を切開していたところ、右手に持っていたメスで左手を刺傷した。
切れ・こすれ		創傷(擦過傷含む)	看護師詰所で吸引瓶を洗浄していたところ、吸引瓶を落としてしまい、飛散したガラス片が右手指に当たって切創した。
汚染血液による事故		刺傷	スピッツ(蓋付き試験管)を手にとって数量を確認していたところ、1本が手から滑って落ち、スリッパの中に入り込んでいたガラス片が左足刺さって負傷した。
汚染血液による事故		刺傷	患者の腹膜透析終了後、排液の入った袋を処理しようとしたところ、排液バックを切ったハサミが左手第二指に刺さった。
汚染血液による事故		刺傷	T字カミソリで受持ち患者の髪を剃り、カミソリを洗ってペーパータオルで水をふき取ろうとしたところ、誤って左第1指を切った。
汚染血液による事故	刺傷	腹壁癒着ヘルニアの手術中、腹壁内にヘルニアメッシュを装着するため、腹壁を左手で固定し、メッシュ固定用のエンドクローズを刺したところ腹壁を貫通して左手に刺さった。	
汚染血液による事故	刺傷	O型肝炎患者の人工関節置換術中に、患者の骨を切離した際の鋭利に切り残った骨が左示指に刺さり負傷した。	
血液飛散 (4件)	汚染血液による事故	その他	患者の点滴を終え、点滴用針を抜針して折り曲げようとしたところ、針内部に血液が滞留しており、針が元に戻った弾みで血液が飛散し、右目に入った。
	汚染血液による事故	刺傷	O型肝炎患者の血糖値を測定中、LFSクイックセンサーで血液を吸い上げたところ、センサーに付着していた血液が左手(素手の状態)の傷口部分に付着した。
	汚染血液による事故	その他	輸血検査を実施しており、患者の血清を別の試験管へ移していたところ、試験管を落として患者の血清が飛散し、その一部が左眼に入った。
	汚染血液による事故	その他	O型肝炎患者の手術中に高圧洗浄器を使用して創部を洗浄していたところ、洗浄液が左眼に入り負傷した。
院内感染 (5件)	その他	その他	咽頭結核を発症した職員と濃厚接触があり、職員の結核検査を実施したところ、感染していた。
	その他	その他	肺結核菌を保有していた患者と頻りに接触していたが、その後の検査で同患者の結核菌保有が判明したため、接触者検診を実施したところ感染が判明した。
	その他	その他	肺結核菌を保有していた患者と頻りに接触していたが、その後の検査で同患者の結核菌保有が判明したため、接触者検診を実施したところ感染が判明した。

その他職員(医療)

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
	その他	呼吸器疾患	肺結核菌を保有していた患者と頻繁に接触していたが、その後の検査で同患者の結核菌保有が判明したため、接触者検診を実施したところ感染が判明した。
	その他	呼吸器疾患	肺結核菌を保有していた患者と頻繁に接触していたが、その後の検査で同患者の結核菌保有が判明したため、接触者検診を実施したところ感染が判明した。
患者等対応 (4件)	はさまれ、巻き込まれ	捻挫(腰痛を除く)	入院患者が失禁したため、シーツの交換作業をしており、シーツをマットレスの下に入れ込もうとして左第5指を負傷した。
	激突され	打撲・挫傷	意識障害の患者に呼びかけや頬を強くたたいても反応しなかったため、前胸部をこぶしで圧する胸骨刺激を行ったところ、患者が起き上がり、胸部を蹴られて負傷した。
	故意の加害行為	打撲・挫傷	患者からのセクハラ行為を訴えた看護師を出すよう要求されたが、それに応じなかったため、激高してごみ箱で頭部を殴打され負傷した。
	動作の反動、無理な動作	捻挫(腰痛を除く)	デイサービス利用者のトイレ介助を行っており、排泄終了後、寝台で紙おむつに交換して車椅子に移乗させようとしたところ、腰部を捻挫した。
動物・昆虫	その他	創傷(擦過傷含む)	相談者宅を訪問し、相談者に近づいて話をしながら、飼い犬に触ろうとして手を伸ばしたところ、飼い犬に左手をかまれて負傷した。

【その他の職員（医療以外）】

〔分析結果〕

- 40 職種別では、「一般事務職」が 28.2%で最も高く、「保育所保育士」12.3%、「調理員」9.4%、「土木技師」6.6%が続いている。
- 男女別では、「男性」65.1%、「女性」が 34.9%となっている。
- 年齢層別では、「50 歳代」が 35.8%で最も高く、「40 歳代」28.3%、「30 歳代」19.8%、「20 歳代」11.3%が続いている。40 歳代以上で 64.1%と占め、6 割以上となっている。
- 月別分類では、「7 月」が 13.2%で最も高く、「8 月」12.8%、「9 月」、「3 月」がそれぞれ 11.3%で続いている。他の職種では比率が低い「7 月」・「8 月」で 26.0%を占め、高くなっているのが特徴である。
- 曜日別分類では、「火曜日」が 20.8%で最も高く、「金曜日」19.8%、「水曜日」18.9%、「月曜日」16.0%、「木曜日」14.2%が続いている。平日の曜日による差はあまりない。
- 時間別分類では、「10 時」が 22.6%で最も高く、「11 時」14.2%、「9 時」13.2%、「14 時」、「16 時」がそれぞれ 9.4%で続いている。
午前中の「9 時」「10 時」「11 時」で 50.0%を占め、半数が発生している。
- 事故の型別分類では、「転倒」が 17.0%で最も高く、「切れ・こすれ」14.2%、「はさまれ、巻き込まれ」12.3%、「転落・墜落」11.3%が続いている。
- 起因別分類では、「分類不能」を除き、「起因物なし」が 13.2%で最も高く、「人工機械工具等」12.4%、「仮設物、建築物、構築物等」11.3%、「自動車（乗用車）」9.4%が続いている。
- 傷病別分類では、「骨折」が 32.1%で最も高く、「打撲・挫傷」27.4%、「創傷・擦過傷」19.8%が続いている。これらで 79.3%を占め、8 割近くとなっている。
- 治癒の状況は、平成 22 年 9 月 30 日現在で、「治癒」91.5%、「未治癒」が 8.5%となっている。
- 療養期間は、平成 22 年 9 月 30 日現在で、「1 月未満」が 51.9%で最も高く、半数以上となっている。「1 月以上 6 月未満」24.5%、「6 月以上 12 月未満」11.3%が続いている。
療養期間が 12 月以上に及ぶものが 5.6%になっている。
平均の療養期間は 2.7 月となっている。
- 災害発生場面別では、「行事準備・後片付け」が 16.0%で最も高く、「施設内移動」13.2%・「農業・土木作業中」12.3%、「設備等整備、清掃中」10.4%が続いている。

〔発生頻度が高い災害〕

- 行事の準備・後片付け中の机やテントによるけが
- 農業・土木作業や監督中の転落や鎌や鉋によるけが
- 清掃や剪定作業中の転落や切創によるけが
- 動物・昆虫によるけが（蜂 4 件、牛豚 3 件、蛾 1 件）
- レクリエーション事業中のけが

その他の職員(医療以外)

区分	項目	実数	割合
9職種別	義務教育学校職員		0.0
	その他教育職員		0.0
	警察職員		0.0
	消防職員		0.0
	電気、ガス、水道事業職員		0.0
	運輸事業職員		0.0
	清掃事業職員		0.0
	船員		0.0
	その他の職員	106	100.0
	計	106	100.0
40職種別	医師・歯科医師		0.0
	看護師		0.0
	保健師・助産師		0.0
	その他の医療技術者		0.0
	保育所保育士	13	12.3
	施設保育士・寄宿舎指導員等	2	1.9
	調理員	10	9.4
	養護学校教員		0.0
	その他の教育公務員		0.0
	社会教育主事		0.0
	警察職員		0.0
	消防職員		0.0
	清掃職員	5	4.7
	土木技師	7	6.6
	運転士・車掌等		0.0
	農林水産技師		0.0
	建築技師	1	0.9
	栄養士		0.0
	農業等改良普及員	1	0.9
	司書・学芸員	1	0.9
	獣医師	3	2.8
	一般事務職	49	28.2
	一般技術職	8	7.5
	技能労務職	6	5.7
	計	106	81.8
	男女別	男	69
女		37	34.9
計	106	100.0	
年齢層別	10歳代		0.0
	20歳代	12	11.3
	30歳代	21	19.8
	40歳代	30	28.3
	50歳代	38	35.8
	60歳以上	5	4.7
	計	106	99.9
月別	4月	5	4.7
	5月	8	7.5
	6月	8	7.5
	7月	14	13.2
	8月	13	12.8
	9月	5	4.7
	10月	12	11.3
	11月	4	3.8
	12月	8	7.5
	1月	7	6.6
	2月	10	9.4
	3月	12	11.3
	計	106	100.3
曜日別	月曜日	17	16.0
	火曜日	22	20.8
	水曜日	20	18.9
	木曜日	15	14.2
	金曜日	21	19.8
	土曜日	9	8.5
	日曜日	2	1.9
	計	106	100.1

区分	項目	実数	割合	
時間別	0時		0.0	
	1時	1	0.9	
	2時		0.0	
	3時		0.0	
	4時		0.0	
	5時		0.0	
	6時		0.0	
	7時	2	1.9	
	8時	3	2.8	
	9時	14	13.2	
	10時	24	22.6	
	11時	15	14.2	
	12時	3	2.8	
	13時	6	5.7	
	14時	10	9.4	
	15時	9	8.5	
	16時	10	9.4	
	17時	3	2.8	
	18時	2	1.9	
	19時	2	1.9	
	20時	1	0.9	
	21時		0.0	
	22時		0.0	
	23時	1	0.9	
不明		0.0		
計		106	99.8	
事故の型別分類	墜落、転落	12	11.3	
	転倒	18	17.0	
	激突	7	6.6	
	飛来、落下	9	8.5	
	崩壊・倒壊		0.0	
	激突され	6	5.7	
	はさまれ、巻き込まれ	13	12.3	
	切れ、こすれ	15	14.2	
	高温・低温物との接触	2	1.9	
	有害物等との接触		0.0	
	動作の反動、無理な動作	9	8.5	
	交通事故	1	0.9	
	故意の加害行為	3	2.8	
	踏み抜き	1	0.9	
	破裂		0.0	
	汚染血液による事故		0.0	
	火災	1	0.9	
	その他	9	8.5	
	分類不能		0.0	
	計		106	100.0
	起因物別分類	建設用等機械	1	0.9
その他の動力機械		4	3.8	
自動車(乗用車)		10	9.4	
トラック等		3	2.8	
バイク			0.0	
自転車			0.0	
注射針等		1	0.9	
装置、設備		6	5.7	
人力機械工具等		13	12.4	
仮設物、建築物、構築物等		12	11.3	
危険物、有害物等			0.0	
材料		7	6.6	
荷		2	1.9	
地山・岩石		3	2.8	
立木等		2	1.9	
水			0.0	
高温・低温環境等			0.0	
人間		6	5.7	
動物	6	5.7		
その他	1	0.9		
その他起因物	1	0.9		
起因物なし	14	13.2		
分類不能	14	13.2		
計		106	100.0	

その他の職員(医療以外)

区分	項目	実数	割合	
傷病名分類	骨折	34	32.1	
	打撲・挫傷	29	27.4	
	創傷・擦過傷	21	19.8	
	火傷	4	3.8	
	靭帯・腱断裂	1	0.9	
	捻挫(腰痛を除く)	7	6.6	
	神経損傷		0.0	
	刺傷	6	5.7	
	眼疾患	1	0.9	
	呼吸器疾患		0.0	
	その他	3	2.8	
	疾病		0.0	
計	106	100.0		
治癒の状況 (H22.9.30現在)	治癒	97	91.5	
	未治癒	9	8.5	
	計	106	100.0	
療養期間 (H22.9.30現在)	1月未満	55	51.9	
	1月以上3月未満	26	24.5	
	3月以上6月未満	7	6.6	
	6月以上12月未満	12	11.3	
	平均 2.7月	12月以上18月未満	5	4.7
	18月以上24月未満		0.0	
	24月以上	1	0.9	
	不明		0.0	
	計	106	99.9	
うち未治癒者の 療養期間 (H22.9.30現在)	3月以上6月未満		0.0	
	6月以上12月未満	5	55.6	
	12月以上18月未満	3	33.3	
	18月以上24月未満		0.0	
	24月以上	1	11.1	
計	9	100.0		
災害発生場面	針刺し		0.0	
	切創		0.0	
	血液飛散		0.0	
	院内感染		0.0	
	患者等対応		0.0	
	行事準備・後片付け	17	16.0	
	施設内移動	14	13.2	
	農業・土木作業中	13	12.3	
	設備等整備、清掃中	11	10.4	
	調理業務	10	9.4	
	出張中	9	8.5	
	動物・昆虫	8	7.5	
	レクリエーション事業中	5	4.7	
	ゴミ処理作業	5	4.7	
	児童生徒対応中	3	2.8	
	住民加害	3	2.8	
	公務通勤	2	1.9	
	通常の職務遂行中(その他)	6	5.7	
	計	106	99.9	

その他の職員(医療以外)

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
行事準備・後片付け (17件)	はさまれ、巻き込まれ	骨折	衆議院議員選挙の開票事務終了後、公用車に乗るため、折りたたんでいた後席を戻そうとしたところ、金具部分に手を挟んで負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	骨折	衆議院議員選挙終了の翌日、使用した机を収納庫に収めるため、収納庫ごと入れようとしたところ、机が収納庫に当たり、その机と収納庫の間に指を挟んで負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	創傷(擦過傷含む)	選挙の開票所の撤収作業中、敷いていたマットを筒に巻き、鉄製の柵に収めていたところ、筒が固定具から外れ、鉄製の柵と筒の間に右手が挟まれて負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	創傷(擦過傷含む)	鉄製折りたたみ椅子を取り出す作業を行っていた際に、鉄製折りたたみ椅子が収納された台車を収納庫から引き出した時に、右足を台車に巻き込まれ負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	捻挫(腰痛を除く)	花火大会の開催にあたり、雨により前日からめかるんでいた駐車場を確認し、後ろ向きで駐車場の扉を閉めようとしたところ、扉下の隙間と地面に足首を挟んで捻った。
	はさまれ、巻き込まれ	捻挫(腰痛を除く)	祭りの準備中、テントの骨組みを軽トラックに積むため、骨組みを括っているロープを両手で持ち上げたところ、左手だけで支える状態となり、手首をねじって負傷した。
	飛来・落下	打撲・挫傷	駅伝の意見交換会の会場設営の準備作業中、折り畳み式の長机の脚を固定させずに持ち上げて床に置いたため、脚の部分が収納され、机が足の甲に落下して負傷した。
	飛来・落下	打撲・挫傷	産業メッセ開催中、使用していた机を控室に運んでいたところ、控室扉で手を挟んでしまい、その衝撃で机を離したため、机が足に落下して負傷した。
	飛来・落下	骨折	選挙公報を備え置くために車輪付きの折りたたみ式の会議机を一人で運んでいたところ、車輪が引っかかって机が左足の上に倒れ、負傷した。
	飛来・落下	創傷(擦過傷含む)	祭りの準備作業中、ステージを囲むためのパネルを接続していたところ、パネルの接続部が外れ、剥がれ落ちたパネルが頭部に当たって負傷した。
	飛来・落下	打撲・挫傷	柵に収納されていたポータブルトイレの背もたれの部分を持って下ろそうとしたところ、ポータブルトイレの背もたれの部分が外れて前額部を強打し、負傷した。
	墜落・転落	打撲・挫傷	保育所の運動会の終了後、使用した道具等を倉庫に片付けるため、倉庫の柵に収めて降りようとしたところ、足を踏み外して仰向けで落下し、負傷した。
	墜落・転落	骨折	ロッカーの上にある会議用カバンを取るため、椅子に上がっていたところ、他の職員に声をかけられ、振り向いた途端にバランスを崩して転落した。
	動作の反動、無理な動作	骨折	テントを収納庫に片付けて扉を閉めようとしたが、支柱が引っかかって扉が開まらなかったため、中腰になって支柱を両手で持ち上げたところ、急に腰部が痛くなった。
	激突	打撲・挫傷	図書館へ搬入する本をコンテナに詰め、公用車に運搬中、ハッチバックドアに頭部をぶつけて負傷した。
	激突され	打撲・挫傷	消防訓練終了後、テントの片付けのため支柱を折り曲げて回収する作業を行っていたところ、隣で作業を行っていた課員が折り曲げた支柱が額に当たり、負傷した。
	転倒	骨折	重さ14kgの跳び箱を一人で持ち上げ、テラスから段差のあるすいたの上を下りたところ、バランスを崩して左足を負傷した。
施設内移動中 (14件)	激突	骨折	戸外に連れ出すため、子どもの手をとろうとしたところ、扉の横にある柵に右の肋骨をぶつけて負傷した。
	激突	打撲・挫傷	バレーボール教室の終了後、子供たちを呼び止めるため急いで外に出ようとしたところ、出入口と間違え、出入口横の固定強化ガラスに激突し、負傷した。
	墜落・転落	骨折	原付バイクが納品され、ネームプレートを張るために他の原付バイクの貼り付け位置を覗き込んでいたところ、段差に気付かず転落して負傷した。
	転倒	骨折	引出しの書類を取り出すために立ち上がり移動しようとしたところ、下に置かれていた外動力カバンが左足に引っかかり、右肘を下にした状態で転倒し、負傷した。
	転倒	骨折	式の途中、来賓が1名増えたため、他の職員に椅子を増設するように伝えて戻ろうとしたところ、階段につまづき、転倒して負傷した。
	転倒	骨折	児童と戸外遊びをするため、庭に出ようとしたところ、手洗い場の段差につまづき、転倒して負傷した。
	転倒	骨折	複数の書類が混同しないよう、両手に書類を持って階段を上っていたところ、階段を踏み外して転倒し、階段の角で膝蓋下部を強打して負傷した。
	転倒	骨折	盆休みの前で通知書等の発送業務に追われて通路を歩き来していたところ、通路上で膝から転倒して負傷した。
	転倒	骨折	出張のため、公用の原付バイクで地下駐車場から出ようとしたところ、駐車場のカーブで転倒して負傷した。
	転倒	骨折	会議に出席するため、右肩に鞆をかけ、右手で靴を持って廊下を歩いていたところ、滑って臀部から転倒し、右手を廊下について負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	トイレから出ようとしたところ、トイレと廊下の境にある段差につまづいて転倒し、廊下においてあるベンチテーブルに額をぶつけて負傷した。
	転倒	捻挫(腰痛を除く)	事務室内でコピー用紙を運搬していたところ、段差につまづき、前のめりに転倒して負傷した。
	転倒	骨折	育児相談終了後、役場に戻る途中、遊園地を施錠するため、駐車場を歩いたところ、石を踏んで足を捻り負傷した。
	動作の反動、無理な動作	創傷(擦過傷含む)	遊戯室での遊び終了後、立ち上がり動き出した児童がいたため、座らせようと立ち上がった瞬間、バランスを崩して足の爪を負傷した。
農業・土木作業中	墜落・転落	骨折	造林事業の完了検査のため、山林内の施行箇所を実査した後、下山していたところ、造林時の残木が積み上げてあるところから沢に滑落して負傷した。

その他の職員(医療以外)

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
(13件)	墜落・転落	骨折	梯子を使用して法面から下りていたところ、梯子の道路に接している脚部が滑り、路面に飛び降りようとしたが、梯子に足が引っかかって転落した。
	墜落・転落	打撲・挫傷	測量中、枯葉に隠れていた小石を踏んだため、右足を踏み外し、約2m下方に滑り落ち、岩に親指付け根部分を強く打ちつけ負傷した。
	激突	打撲・挫傷	道路の法面崩落現場の調査中、倒れた電柱の上をまたいで通り抜けようとした時に、電柱の鉄の棒に右足のふくらはぎを強打し、負傷した。
	切れ・こすれ	打撲・挫傷	道路パトロール中に鎌で竹木を切っていたところ、竹木が車道側に倒れたので、歩道側に移動させようとした際に左手で持っていた鎌で右手を切り、負傷した。
	切れ・こすれ	刺傷	積雪による倒木処理のため、軍手をして鉋で竹の枝を切っていたところ、鉋の刃が指先に当たって負傷した。
	その他	眼疾患	搾乳ロボットのチューブが亀裂損傷し、殺菌剤が噴出し、被災職員の目に入り、負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	地籍調査のために、測量の妨げとなる竹木を鉋で刈り払いしていたところ、鉋の刃が左膝に触れて負傷した。
	転倒	骨折	大雨による道路崩落箇所确保安全のため、バリケードの設置作業を行っており、土嚢を両手に持って斜面を下っていたところ、枯葉で足が滑り、転倒して負傷した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	棚田と水路の境界確認のため、棚田の石積みを上ろうとして右足で踏み切ったところ、ふくらはぎを負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	打撲・挫傷	水道漏れの確認のため、現場側溝のグレーチング蓋を開けようとしたところ、蓋と外枠に手を挟んで負傷した。
	動作の反動、無理な動作	その他	市道の陥没補修のため、現地に向き、公用車から重量30kgの仮補修用コンクリートを持ち上げ、道路に下ろそうとしたところ、腰部に激痛が走った。
	飛来・落下	打撲・挫傷	せん定作業と棚線への誘引作業を行っていたところ、誘引ひもが断絶して枝が跳ね返り、左の眼球を枝で打ち負傷した。
	設備等整備、清掃中 (11件)	高温・低温の物との接触	火傷
はさまれ、巻き込まれ		打撲・挫傷	除雪用トラックのタイヤチェーン装着作業中、車台とジャッキのハンドルの間に手を挟み、負傷した。
切れ・こすれ		創傷(擦過傷含む)	剪定作業中、左手を添えて鋸を引いたところ、誤って左中指を切り負傷した。
切れ・こすれ		創傷(擦過傷含む)	剪定した藤の枝をエンジンヘッジトリマーで切断する作業を行っていたところ、藤のツルがエンジンヘッジトリマーに引っかかり、右足を前に出していたため刃先が右膝に接触し、負傷した。
切れ・こすれ		打撲・挫傷	紙折り機の紙詰まりを直すため、紙の吐き出し口に手を入れて詰まった紙を取り除こうとしたところ、金属片に左小指が当たり、負傷した。
墜落・転落		骨折	スレート屋根の交換作業中、屋根から転落し、地面で体の左側を強打し負傷した。
墜落・転落		骨折	剪定作業中、側面を剪定するために斜面に移動した時に足が滑り、その下にあった水道栓の上に落下した際に右脇腹を強く打ち、負傷した。
転倒		創傷(擦過傷含む)	科学館の大型展示物のほこりを落として床のほこりを集めていたところ、バランスを崩して転倒し、展示物の台座で頭部を強打して負傷した。
転倒		創傷(擦過傷含む)	ドアの敷居の汚れを落とし、元の位置にドアを戻そうと左手でドアのゴム部分を掴んだ際に滑って転倒し、左手をドアにぶつけ負傷した。
動作の反動、無理な動作		骨折	保育所内の事務室の前をほうきで清掃中、右足を踏み出したところ、右足側面に体重がかかったため、捻った状態になって負傷した。
飛来・落下		骨折	桜の伐採作業を行っていたところ、枝が重みで裂けて脚立に衝突したため転倒し、地面に転落し、負傷した。
調理業務中 (10件)	その他	火傷	調理場で揚げ物に使用した油を鍋からオイルポットに戻そうとしたところ、鍋が傾き、油が台の上に飛び散って両下肢にかかって負傷した。
	火災	火傷	調理業務中、湯を沸かすために回転釜に点火したところ、ガスに引火して右手を火傷した。
	高温・低温の物との接触	火傷	給食調理中、調理釜でゆでていた麺を金網ザルにうち上げていた際に体の向きを変えたところ、お湯が左足の下腿にかかり、火傷を負った。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	調理中、トマトのホール缶の蓋を全部切らずに立ててあり、1つのホール缶を持ち上げようとしたところ、隣のホール缶で手のくるぶしを切って負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	人参を裁断機で裁断していたところ、右手中指と人差し指を切り、負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	じゃが芋さいの目切機はさまっているじゃが芋を刃物掃除用具で取り除こうとしていたところ、手が滑り、切刃で右母指を切創した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	厨房でキャベツの芯を切断していた最中、左手指先に鈍痛がすると同時に多量の出血があり、見ると第3指先を切創していた。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	給食調理のため野菜裁断機にキャベツを左手で入れ、手を離れた際に、手が少し奥に入り、裁断機の刃に触れ、負傷した。
	転倒	骨折	給食の後片付け作業中に転倒し、左の脇腹を床に強打したために肋骨を骨折した。

その他の職員(医療以外)

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
	飛来・落下	打撲・挫傷	食器・食缶を洗浄機に通し、出口で受け取る作業を行っていたところ、出口に掛けてあるシャッターが職員の額に当たり、負傷した。
出張中 (9件)	激突され	打撲・挫傷	公用車で下り車線を走行中、上り車線を走行していた車が急ブレーキでスリップし、下り車線に侵入したため、衝突して負傷した。
	激突され	打撲・挫傷	公用車で下り車線を走行中、上り車線を走行していた車が急ブレーキでスリップし、下り車線に侵入したため、衝突して負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	公用車で出張中、交差点で信号待ちをしていたところ、後続車に追突されて負傷した。
	墜落・転落	打撲・挫傷	浄水場遠隔監視システムの通信回線の復旧確認を行い、戻ろうとして車で林道を走行していたところ、河川に車ごと転落して負傷した。
	激突	骨折	東京都内で開催された研究協議会に出席し、広島空港から自家用車を運転しての帰宅中、わき見運転をしたためガードレールにぶつかり負傷した。
	激突	打撲・挫傷	公用車で公民館に連絡文書を届け、預かった文書を後部座席に取っていたところ、後部座席の側方からバックしてきた車に追突されて負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	打撲・挫傷	小学生の林業体験のため、間伐材を積もうとして2トントンの荷台の扉を開けたところ、扉と車体の間に手を挟んで負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	創傷(擦過傷含む)	公用車の後部座席から降り、後ろ向きでスライドドアを開けようとしたところ、助手席とドアの間に手を挟んで負傷した。
	転倒	骨折	研修会会場に向かい歩いていたところ、路上に設置されていた点字ブロックに躓いて体勢を崩し、歩道の端のレンガで左手を打ち、負傷した。
動物・昆虫 (8件)	その他	刺傷	地籍調査のため、建物の周りに杭を打っていたが、笹が生えていたため、笹を刈っていたところ、顔に蜂が飛んできて刺された。
	その他	刺傷	豪雨による災害確認のため、山の中腹まで登って崩落がないことを確認し、下山しようとしたところ、右手に激しい痛みを感じ、蜂毒によるアナフィラキシーショックによるものと診断された。
	その他	刺傷	水道用メーターの引揚・取付作業を実施しており、メーターボックスの蓋を開けたところ、中から数匹の蜂が出てきて、そのうちの1匹に顔を刺されて負傷した。
	その他	刺傷	宿泊施設を再開するため、建物調査をしていたところ、研修棟入口付近で突然攻撃してきたキイロスズメバチに刺されて負傷した。
	その他	骨折	牛の放牧中、他の場所へ牛を移動させようとしたところ、突然牛が走り出し、右足を踏みつけられ負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	骨折	和牛の放牧に伴う臨床検査・飼養管理指導中、牛を他の放牧区へ移動させようとしたところ、牛が急に走り出し、左手の指に綱が絡み、牛に強く引っ張られて負傷した。
	墜落・転落	捻挫(腰痛を除く)	豚の採血を行っていたところ、別の豚が背後から近づき被災者の股間をすり抜けようとしたので、豚の背に乗せられて約1mほど走ったところでコンクリート製の地面に落ち、負傷した。
	その他	その他	地籍調査事業による境界の立会いを行うため、現地でも木々を支えに歩いていたが、急に手首が痛くなり、湿疹が出てきた。(茶毒蛾の幼虫の毒針毛による炎症)
レクリエーション (5件)	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	レクリエーション事業のソフトボール大会に参加中、走者として本塁に向かって走っていたところ、右足大腿部に激痛がし、負傷した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	職場レクリエーション事業のソフトボール大会で打者として出場中、ショートゴロを打って一塁ベースに駆け込もうとした際、左足大腿部に激しい痛みが走り負傷した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	職員レクリエーション事業のソフトバレーボール大会での練習中、レシーブを受けた時に右下腿ふくらはぎに激痛が走り、負傷した。
	飛来・落下	骨折	職員レクリエーション事業のソフトボール大会に選手として参加中、センターへのライナーを捕球しようとして打球が右手の小指に当たり、負傷した。
	飛来・落下	骨折	職員レクリエーション参加中、バレーボールの試合で相手チームが打ってきたボールをトスを上げる要領で両手でレシーブしたところ、右手の小指を突き指し、負傷した。
ゴミ処理作業 (5件)	はさまれ、巻き込まれ	捻挫(腰痛を除く)	ごみの収集作業が終わったので収集車運転手に合図するため、収集車の横を後ずさりしていたところ、収集車を追い越そうとした車両に左足甲を轢かれ負傷した。
	激突	打撲・挫傷	ごみの収集中、ごみステーションの開き戸を開けたところ、収集車後部に右肘を打ち付け、とっさに扉を押し返したため、扉で右手首を捻挫して負傷した。
	激突され	骨折	粗大ごみを破砕機に搬入作業中、板の棒を投げ込もうとしたところ、棒の先にT字型に棒が打ちつけてあり、その出っ張り部分で左わき腹を強打して負傷した。
	切れ・こすれ	刺傷	ごみステーションのごみを収集中、土嚢袋に入ったごみを持ち上げたところ、袋から割れたガラスが突き出ており、そのガラスが左下腿に刺さって負傷した。
	踏み抜き	創傷(擦過傷含む)	粗大ごみの収集中、落ちていた釘を踏み、右足裏に刺さって負傷した。
児童・生徒対応中 (3件)	激突され	打撲・挫傷	保育室から児童が出ていたため、児童の後ろから保育室に入らせようとしていたところ、児童が急に振り返って両足にぶつかり、右側に足を捻挫して転倒した。
	墜落・転落	骨折	園児を抱いて隣の保健室に連れて行こうとしたところ、足元の段差に気付かず、バランスを崩して転倒し、負傷した。
	墜落・転落	骨折	児童を誘導しながら階段を上がっていたところ、児童が急に寄りかかってきたため、支えきれず、転倒して負傷した。
住民加害	故意の加害行為	創傷(擦過傷含む)	宅地造成工事のため、里道に行き止まりの看板を立てたところ、立腹した住民が一緒にいた職員に暴力行為に出たため、止めに入ったところ、顔面を殴打され、腕を噛まれた。

その他の職員(医療以外)

場面	事故の型	傷病名	災害発生状況
(3件)	故意の加害行為	打撲・挫傷	宅地造成工事のため、里道に行き止まりの看板を立てたところ、立腹した住民車のボンネットに押し倒され、携帯電話の紐で首を絞められて負傷した。
	転倒	捻挫(腰痛を除く)	小学校の校門から転がり出たボールにより車が損害を受けたとして市に損害賠償を要求している住民が市長に会わせると大声をあげたので、静止しようとしたところ、住民に左腕を払いのけられ、そのはずみで後ろに転倒し、事務室の椅子で後頭部を強打し、負傷した。
公務通勤	交通事故(道路)	骨折	休日勤務を終え、原付自転車で通勤していたところ、左方向からきた自動車が一時停止を無視して交差点に進入したため、衝突して負傷した。
(2件)	転倒	骨折	補助金調査の準備のため22時40分まで勤務し退庁したが、積雪のためJR駅から自宅までを徒歩で帰っていたところ転倒し、負傷した。
通常の職務(その他)	はさまれ、巻き込まれ	創傷(擦過傷含む)	出力された帳票を単票にするための事後処理機を操作していたが、帳票が詰まったため、機械の蓋を開けて取り除いていたところ、突然蓋が閉まり、指を挟んで負傷した。
(6件)	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	カッターナイフの刃が収まりにくかったため、力を入れたところ、カッターナイフの下部から刃が出て、持っていた左手薬指を切創した。
	動作の反動、無理な動作	打撲・挫傷	クラブ活動であるバレーボール中、ネット際でジャンプして着地した時に、右足が相手コートにいる児童の足の付近に当たって足をひねり、負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	県主催の水防訓練に参加しており、鎌でロープを切る担当となり、鎌を両手で持ってロープを切った瞬間、鎌の先端で右膝を刺して負傷した。
	切れ・こすれ	創傷(擦過傷含む)	工場排水の理化学検査のため、分解瓶に試料を取り、試薬を加え栓を締めていたところ、分解瓶が壊れて右手を切り、負傷した。
	転倒	靭帯、腱断裂	港の係船料徴収のため、乗船して料金を徴収し、甲板から高低差1mの岸壁に飛び降りたところ、車止めに足が引っかかって転倒し、負傷した。

【公務災害全体】

〔分析結果〕

- 9 職種別では、「その他の職員」38.3%、「義務教育学校職員」20.5%、「警察職員」19.2%、「その他教育職員」10.8%、「消防職員」・「清掃職員」がそれぞれ4.2%、「運輸事業職員」1.5%、「電気・ガス・水道事業職員」1.3%となっている。
- 40 職種別では、「その他の教育公務員」が24.1%で最も高く、「警察職員」19.0%、「一般事務職」12.1%、「看護師」9.9%、「清掃職員」4.9%、「消防職員」4.2%が続いている。
- 男女別では、「男性」64.9%、「女性」が35.1%となっている。
- 年齢層別では、「40 歳代」が27.0%で最も高く、「50 歳代」24.7%、「20 歳代」24.3%、「30 歳代」21.6%が続いている。
- 月別分類では、「5 月」が12.5%で最も高く、「9 月」9.5%、「10 月」・「12 月」がそれぞれ8.8%、「7 月」・「8 月」がそれぞれ8.6%で、「4 月」・「6 月」がそれぞれ7.9%で僅差が続いている。
- 曜日別分類では、「木曜日」が19.0%で最も高く、「水曜日」18.3%、「月曜日」17.7%、「金曜日」17.0%が続いている。平日の曜日による差はあまりない。
- 時間別分類では、「10 時」が14.2%で最も高く、「11 時」13.8%、「15 時」11.3%、「14 時」11.0%、「16 時」10.8%が続いている。
- 事故の型別分類では、「転倒」が19.5%で最も高く、「動作の反動・無理な動作」17.5%、「汚染血液による事故」12.0%、「墜落・転落」・「切れ・こすれ」がそれぞれ7.9%が続いている。
- 起因別分類では、「分類不能」を除き、「人間」が15.3%で最も高く、「起因物なし」12.0%、「仮設物・建築物・構築物等」11.6%、「注射針等」9.9%、「人力機械工具等」6.8%、「自動車（乗用車）」6.6%が続いている。
- 傷病別分類では、「骨折」が28.3%で最も高く、「打撲・挫傷」27.4%、「創傷・擦過傷」14.1%、「刺傷」12.6%が続いている。
- 治癒の状況は、平成22年9月30日現在で、「治癒」81.2%、「未治癒」が18.8%となっている。
- 療養期間は、平成22年9月30日現在で、「1 月未満」が32.2%で最も高く、「1 月以上3 月未満」23.2%、「6 月以上12 月未満」16.1%、「12 月以上18 月未満」13.2%、「3 月以上6 月未満」12.1%が続いている。
療養期間が12 月以上に及ぶものが16.1%になっている。
平均の療養期間は4.9 月となっている。

公務災害全体

区分	項目	実数	割合	
9職種別	義務教育学校職員	93	20.5	
	その他教育職員	49	10.8	
	警察職員	87	19.2	
	消防職員	19	4.2	
	電気、ガス、水道事業職員	6	1.3	
	運輸事業職員	7	1.5	
	清掃事業職員	19	4.2	
	船員	0	0.0	
	その他の職員	173	38.3	
	計	453	100.0	
40職種別	医師・歯科医師	15	3.3	
	看護師	45	9.9	
	保健師・助産師	2	0.4	
	その他の医療技術者	5	1.1	
	保育所保育士	13	2.9	
	施設保育士・寄宿舎指導員等	2	0.4	
	調理員	14	3.1	
	養護学校教員	15	3.3	
	その他の教育公務員	109	24.1	
	社会教育主事	0	0.0	
	警察職員	86	19.0	
	消防職員	19	4.2	
	清掃職員	22	4.9	
	土木技師	8	1.8	
	運転士・車掌等	7	1.5	
	農林水産技師	0	0.0	
	建築技師	1	0.2	
	栄養士	3	0.7	
	農業等改良普及員	1	0.2	
	司書・学芸員	1	0.2	
	獣医師	3	0.7	
	一般事務職	55	12.1	
	一般技術職	13	2.9	
	技能労務職	14	3.1	
	計	453	100.0	
	男女別	男	294	64.9
		女	159	35.1
計	453	100.0		
年齢層別	10歳代	1	0.2	
	20歳代	110	24.3	
	30歳代	98	21.6	
	40歳代	122	27.0	
	50歳代	112	24.7	
	60歳以上	10	2.2	
	計	453	100.0	
月別	4月	36	7.9	
	5月	56	12.5	
	6月	36	7.9	
	7月	39	8.6	
	8月	39	8.6	
	9月	43	9.5	
	10月	40	8.8	
	11月	32	7.1	
	12月	40	8.8	
	1月	28	6.2	
	2月	33	7.3	
	3月	31	6.8	
	計	453	100.0	
曜日別	月曜日	80	17.7	
	火曜日	73	16.1	
	水曜日	83	18.3	
	木曜日	86	19.0	
	金曜日	77	17.0	
	土曜日	37	8.2	
	日曜日	17	3.7	
	計	453	100.0	

区分	項目	実数	割合
時間別	0時	1	0.2
	1時	4	0.9
	2時	2	0.4
	3時		0.0
	4時	1	0.2
	5時	2	0.4
	6時	1	0.2
	7時	10	2.2
	8時	14	3.1
	9時	39	8.6
	10時	64	14.2
	11時	62	13.8
	12時	18	4.0
	13時	29	6.4
	14時	50	11.0
	15時	51	11.3
	16時	49	10.8
	17時	18	4.0
	18時	12	2.6
	19時	11	2.4
	20時	4	0.9
	21時	6	1.3
	22時		0.0
	23時	2	0.4
不明	3	0.7	
計	453	100.0	
事故の型別分類	墜落、転落	36	7.9
	転倒	88	19.5
	激突	35	7.7
	飛来、落下	23	5.1
	崩壊・倒壊		0.0
	激突され	10	2.2
	はさまれ、巻き込まれ	34	7.5
	切れ、こすれ	36	7.9
	高温・低温物との接触	2	0.4
	有害物等との接触	2	0.4
	動作の反動、無理な動作	79	17.5
	交通事故	16	3.5
	故意の加害行為	7	1.5
	踏み抜き	3	0.7
	破裂	1	0.2
	汚染血液による事故	54	12.0
	その他	1	0.2
火災	24	5.3	
分類不能	2	0.5	
計	453	100.0	
起因物別分類	建設用等機械	2	0.4
	その他の動力機械	11	2.4
	自動車(乗用車)	30	6.6
	トラック等	9	2.0
	バイク	7	1.5
	自転車	1	0.2
	注射針等	45	9.9
	装置、設備	10	2.2
	人力機械工具等	31	6.8
	仮設物、建築物、構築物等	52	11.6
	危険物、有害物等	2	0.4
	材料	21	4.6
	荷	7	1.5
	地山・岩石	8	1.8
	立木等	4	0.9
	水	1	0.2
	高温・低温環境等	1	0.2
人間	69	15.3	
動物	11	2.4	
その他	3	0.7	
その他起因物	5	1.1	
起因物なし	54	12.0	
分類不能	69	15.3	
計	453	100.0	

区分	項目	実数	割合
傷病名分類	骨折	128	28.3
	打撲・挫傷	124	27.4
	創傷・擦過傷	64	14.1
	火傷	5	1.1
	靭帯・腱断裂	17	3.8
	捻挫(腰痛を除く)	33	7.3
	神経損傷	2	0.4
	刺傷	57	12.6
	眼疾患	1	0.2
	呼吸器疾患	2	0.4
	その他	19	4.2
	疾病	1	0.2
	計	453	100.0
治癒の状況 (H22.9.30現在)	治癒	368	81.2
	未治癒	85	18.8
	計	453	100.0
療養期間 (H22.9.30現在) 平均 6.7月	1月未満	146	32.2
	1月以上3月未満	105	23.2
	3月以上6月未満	55	12.1
	6月以上12月未満	73	16.1
	12月以上18月未満	60	13.2
	18月以上24月未満	10	2.2
	24月以上	3	0.7
	不明	1	0.2
	計	453	99.9
うち未治癒者の 療養期間 (H22.9.30現在)	3月以上6月未満	0	0.0
	6月以上12月未満	25	29.4
	12月以上18月未満	47	55.3
	18月以上24月未満	10	11.8
	24月以上	3	3.5
	計	85	100.0

【通勤災害全体】

〔分析結果〕

- 9職種別では、「その他の職員」54.4%、「警察職員」16.2%、「義務教育学校職員」、「その他教育職員」がそれぞれ8.8%、「運輸事業職員」7.4%、「清掃事業職員」2.9%、「消防職員」1.5%となっている。
- 40職種別では、「一般事務職」が32.3%で最も高く、「警察職員」14.7%、「その他の教育公務員」13.2%、「運転士・車掌等」7.4%が続いている。
- 男女別では、「男性」57.4%、「女性」が42.6%となっている。
- 年齢層別では、「50歳代」33.9%、「40歳代」27.9%、「30歳代」22.1%が続いている。40歳代以上が64.7%で6割以上を占めている。
- 月別分類では、「11月」が14.7%で最も高く、「7月」13.2%、「9月」、「12月」がそれぞれ11.8%で続いている。
- 曜日別分類では、「木曜日」、「金曜日」がそれぞれ26.5%で最も高く、「月曜日」25.0%、「水曜日」14.7%が続いている。週末や週明け直後の比率が高い。
- 時間別分類では、「7時」が27.8%で最も高く、「8時」26.5%、「19時」8.8%が続いている。通勤時の「7時」・「8時」で54.3%を占め、退勤時の「17時」から「21時」までの32.4%を上回る。
- 事故の型別分類では、「転倒」が42.7%で最も高く、「交通事故」26.5%、「激突」、「激突され」がそれぞれ13.2%で続いている。
- 起因別分類では、「分類不能」を除き、「自動車（乗用車）」が41.1%で最も高く、「バイク」23.5%、「起因物なし」13.2%、「自転車」10.3%が続いている。車輛を起因とするものが76.4%となり8割近くを占める。
- 傷病別分類では、「骨折」が36.8%で最も高く、「打撲・挫傷」33.8%、「捻挫（腰痛を除く）」20.6%が続いている。
- 治癒の状況は、平成22年9月30日現在で、「治癒」73.5%、「未治癒」が26.5%となっている。
- 療養期間は、平成22年9月30日現在で、「3月以上6月未満」が23.5%で最も高く、「1月未満」、「6月以上12月未満」がそれぞれ22.1%、「1月以上3月未満」16.2%が続いている。
療養期間が12月以上に及ぶものが16.1%になっている。
平均の療養期間は5.8月となっている。
- 出退勤途上区分では「出勤途上」58.8%、「退勤途上」41.2%となっており、出勤途上退勤途上を上回る。
- 通勤方法では、「自動車」が33.9%で最も高く、「徒歩」19.1%、「原動機付自転車・バイク」、「自動二輪車」がそれぞれ17.6%、「自転車」10.3%が続いている。
- 災害発生場所では、「交差点」が51.5%で最も高く、「その他道路」42.6%が続いている。これらで94.1%となり、道路上の災害が9割以上を占めている。
- 第三者加害事案の該当状況では、「該当」が52.9%、「非該当」47.1%となっている。

通勤災害全体

区分	項目	実数	割合
9職種別	義務教育学校職員	6	8.8
	その他教育職員	6	8.8
	警察職員	11	16.2
	消防職員	1	1.5
	電気、ガス、水道事業職員		0.0
	運輸事業職員	5	7.4
	清掃事業職員	2	2.9
	船員		0.0
	その他の職員	37	54.4
	計	68	100.0
40職種別	医師・歯科医師	2	2.9
	看護師	3	4.4
	保健師・助産師	2	2.9
	その他の医療技術者	1	1.5
	保育所保育士	3	4.4
	施設保育士・寄宿舎指導員等		0.0
	調理員		0.0
	養護学校教員	1	1.5
	その他の教育公務員	9	13.2
	社会教育主事	1	1.5
	警察職員	10	14.7
	消防職員	1	1.5
	清掃職員	2	2.9
	土木技師		0.0
	運転士・車掌等	5	7.4
	農林水産技師	1	1.5
	建築技師	1	1.5
	栄養士	1	1.5
	農業等改良普及員		0.0
	司書・学芸員		0.0
	獣医師		0.0
	一般事務職	22	32.3
	一般技術職	2	2.9
技能労務職	1	1.5	
計	68	100.0	
男女別	男	39	57.4
	女	29	42.6
	計	68	100.0
年齢層別	10歳代	0	0.0
	20歳代	9	13.2
	30歳代	15	22.1
	40歳代	19	27.9
	50歳代	23	33.9
	60歳以上	2	2.9
	計	68	100.0
月別	4月	6	8.8
	5月	3	4.4
	6月	4	5.9
	7月	9	13.2
	8月	5	7.4
	9月	8	11.8
	10月	4	5.9
	11月	10	14.7
	12月	8	11.8
	1月	6	8.8
	2月	3	4.4
	3月	2	2.9
	計	68	100.0
曜日別	月曜日	17	25.0
	火曜日	4	5.9
	水曜日	10	14.7
	木曜日	18	26.5
	金曜日	18	26.5
	土曜日	0	0.0
	日曜日	1	1.4
	計	68	100.0

区分	項目	実数	割合
時間別	0時		0.0
	1時		0.0
	2時		0.0
	3時		0.0
	4時		0.0
	5時		0.0
	6時	1	1.5
	7時	19	27.8
	8時	18	26.5
	9時		0.0
	10時	1	1.5
	11時	1	1.5
	12時	2	2.9
	13時		0.0
	14時		0.0
	15時	3	4.4
	16時	1	1.5
	17時	4	5.9
	18時	5	7.4
	19時	6	8.8
	20時	2	2.9
	21時	5	7.4
	22時		0.0
	23時		0.0
不明		0.0	
計	68	100.0	
事故の型別分類	墜落、転落	2	2.9
	転倒	29	42.7
	激突	9	13.2
	飛来、落下		0.0
	崩壊・倒壊		0.0
	激突され	9	13.2
	はさまれ、巻き込まれ		0.0
	切れ、ごすれ		0.0
	高温・低温物との接触		0.0
	有害物等との接触		0.0
	動作の反動、無理な動作	1	1.5
	交通事故	18	26.5
	故意の加害行為		0.0
	踏み抜き		0.0
	破裂		0.0
	汚染血液による事故		0.0
	火災		0.0
	その他		0.0
	分類不能		0.0
	計	68	100.0
起因物別分類	建設用等機械		0.0
	その他の動力機械		0.0
	自動車(乗用車)	28	41.1
	トラック等	1	1.5
	バイク	16	23.5
	自転車	7	10.3
	注射針等		0.0
	装置、設備		0.0
	人力機械工具等		0.0
	仮設物、建築物、構築物等	3	4.4
	危険物、有害物等		0.0
	材料		0.0
	荷		0.0
	地山・岩石	1	1.5
	立木等		0.0
	水		0.0
	高温・低温環境等		0.0
	人間	1	1.5
動物		0.0	
その他	1	1.5	
その他起因物		0.0	
起因物なし	9	13.2	
分類不能	1	1.5	
計	68	100.0	

通勤災害全体

区分	項目	実数	割合
傷病名分類	骨折	25	36.8
	打撲・挫傷	23	33.8
	創傷・擦過傷	6	8.8
	火傷		0.0
	靭帯・腱断裂		0.0
	捻挫(腰痛を除く)	14	20.6
	神経損傷		0.0
	刺傷		0.0
	眼疾患		0.0
	呼吸器疾患		0.0
	その他		0.0
	疾病		0.0
	計	68	100.0
治療の状況 (H22.9.30現在)	治療	50	73.5
	未治療	18	26.5
	計	68	100.0
療養期間 (H22.9.30現在)	1月未満	15	22.1
	1月以上3月未満	11	16.2
	3月以上6月未満	16	23.5
	6月以上12月未満	15	22.1
	平均 5.8月 12月以上18月未満	8	11.8
	18月以上24月未満	3	4.4
	24月以上		0.0
	不明		0.0
	計	68	100.1
うち未治療者の 療養期間 (H22.9.30現在)	3月以上6月未満		0.0
	6月以上12月未満	9	50.0
	12月以上18月未満	6	33.3
	18月以上24月未満	3	16.7
	24月以上		0.0
	計	18	100.0
出退勤途上区分	出勤途中	40	58.8
	退勤途中	28	41.2
	計	68	100.0
通勤方法	自動車	23	33.9
	原動機付自転車・バイク	12	17.6
	自動二輪車	12	17.6
	自転車	7	10.3
	徒歩	13	19.1
	タクシー	1	1.5
	計	68	100.0
災害発生場所	交差点	35	51.5
	その他道路	29	42.6
	本庁	1	1.5
	出先機関施設等	1	1.5
	その他	2	2.9
	計	68	100.0
第三者加害事案	該当	36	52.9
	非該当	32	47.1
	計	68	100.0

通勤災害全体

九職種名称	事故の型	傷病名	災害発生状況
義務教育学校職員 (6件)	激突され	捻挫(腰痛を除く)	自家用車で出張し勤務終了後、年次有給休暇をとって自宅へ帰宅する途中、赤信号で停止していたところへ後方から追突され、負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	通勤のため、普通自動二輪車で通常の通勤経路を通常と同時刻に道路を直進していたところ、反対車線から右折した乗用車の側面に衝突し、負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	自家用車で通勤中、信号で停止中、後続の原動機付自転車に追突され、その衝撃で頸部を座席上部で打ち、負傷した。
	転倒	骨折	勤務終了後、小学校を出て駅へ歩いている途中、マンション入口の歩道で転び、両膝をコンクリートで強打し、負傷した。
	転倒	骨折	体調が悪かったためタクシーを使って学校の近くまで行き、徒歩で出勤していたところ、歩道に散乱していた雑草に足元をとられ転倒し、負傷した。
	転倒	創傷(擦過傷含む)	駅から勤務地までを徒歩で通勤中、側溝のコンクリートの蓋の穴に足先がはまり、転倒した際に負傷した。
義務教育学校職員以外の教育職員 (6件)	激突	捻挫(腰痛を除く)	勤務が終了し、車で帰宅していた際、赤信号で一時停止していたところ、後続の小型乗用車に追突され、負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	勤務終了後、自家用車で退勤途中に、交差点で右折した際、直進してきた大型トラックに自車左側部を衝突され、負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	退勤途中、1台後ろの小型自動車が2台後ろの小型自動車に追突され、被災職員の車に追突し、被災職員の車も1台前の普通乗用車に追突し、負傷した。
	墜落・転落	骨折	勤務終了後、帰宅するため、駅まで急いで自転車を運転していたところ、バランスを崩して、歩道から田んぼに転落し、右手首を負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	時間外勤務をした後、退勤途中に、バスから降車した際、歩道の縁石につまずいて転倒し、負傷した。
転倒	打撲・挫傷	退勤途上で、バスを降車後、バス停からバイクで帰宅していた。交差点を通過直後、歩道端の電柱と植え込みの間から人が現れたが、回避できず軽く接触後、バイクとともに転倒し、負傷した。	
警察職員 (11件)	激突	骨折	自動二輪車で出勤途中、後続の普通乗用車が追い越しの途中、急に左斜め前の脇道に左折したため、普通乗用車に衝突し、転倒、負傷した。
	激突	骨折	自動二輪車で退勤途中、交差点進入直前で信号が黄色に変わったが、そのまま交差点に進入したところ、対向で右折待ちをしていた軽四自動車と衝突し路面に投げ出され負傷した。
	激突	打撲・挫傷	自転車で退勤途中、信号機等で交通整理の行われていない四差路交差点を進行していたところ、左方から進行してきた軽四乗用自動車と出会い頭に衝突し、負傷した。
	激突	打撲・挫傷	普通自動二輪車で退勤途中、赤信号で停車し、信号が青となり10メートルほど進んだところ、後方から軽四自動車に追突され、転倒し負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	自家用自動車退勤途中、ラジオのチャンネルを変えようと脇見をした際、中央線を越え、対向してきた大型貨物自動車と正面衝突をし、負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	自動二輪車で出勤途中、前方に進路変更してきた車両を認めたため、進路変更したところ、前方に右折待ち普通乗用車が停車していたことから、これを避けようと更に進路変更をしたが間に合わず、普通乗用車と接触してバランスを崩し、転倒し負傷した。
	転倒	骨折	朝早く起床したので、通常のバス停ではなく、途中のバス停まで歩くことにし、歩いて出勤していたところ、歩道の切り下げ部でつまづき、転倒し、負傷した。
	転倒	骨折	車両を駐車している駐車場まで徒歩で退勤途中、夜間で暗かったため、道路の溝底に右足を落とし、右側に転倒した際、右手を強打し、負傷した。
	転倒	骨折	普通自動二輪車で出勤途中、交差点手前で赤色信号を認め、減速のためブレーキをかけたところ、前輪がロックし、転倒し負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	大型自動二輪車で出勤途中、右側を追い抜く車両があったため、左に体重をかけたところ、ハンドル操作を誤り、左側のガードレールに接触し、転倒、負傷したものの。
	転倒	打撲・挫傷	朝家を出るのが遅くなったため、公共機関ではなく、自転車で出勤し、側道から歩道へ段差を乗り越え進入しようとした際、自転車の前輪が外れ転倒し、負傷した。
消防職員	激突	打撲・挫傷	原付自転車で出勤途中、渋滞で停止していた車の横を走行していたところ、対向車線から交差点を右折してきた車と衝突して負傷した。
運輸事業職員 (5件)	交通事故(道路)	骨折	二輪車で出勤途中、交差点で右側の橋から進入してきた二輪車と衝突し、負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	車で退勤途中、渋滞していたため、徐々に減速して完全に車が停車したところ、後続車に追突されて負傷した。
	転倒	骨折	バイクで出勤していたところ、交差点で左折中に後輪がスリップし、転倒して負傷した。

通勤災害全体

九職種名称	事故の型	傷病名	災害発生状況
	転倒	創傷(擦過傷含む)	勤務終了後、自動二輪で帰宅途中、直進が工事中だったため、警備員の迂回の指示に従い交差点を右折していたところ、交差点の角にある店舗から自転車が車道に出てきたため、衝突を回避しようと急ブレーキを掛けたところ、バランスを崩して転倒した。
	転倒	創傷(擦過傷含む)	勤務が終了し、側車付き二輪車で帰宅途中、左後輪がドライブシャフトごと外れて操縦不能となり、縁石に接触して転倒した。
清掃事業職員	激突	骨折	バイクで出勤途中、対向車が事故の反動で中央線を越え、反対車線を走行していた被災職員に衝突した。
(2件)	転倒	打撲・挫傷	バイクで出勤途中、青信号で交差点に進入しようとしていたところ、信号無視した自転車が横切ったため、ブレーキを掛けた際にバランスを失い、転倒して負傷した。
その他の職員	激突	捻挫(腰痛を除く)	出勤途中、左折しようとしたところ、相手方車両は当方の方向を確認せずに右折してきたため、当方の車両前部に衝突した。
(37件)	激突	捻挫(腰痛を除く)	出勤途中、道路幅の狭い交互通行の道で停止中に後方から追突され、1回目の追突で車両が1m前に押し出されたところに2回目の追突があり、強い衝撃により負傷した。
	激突され	打撲・挫傷	自家用車での通勤路上、交差点で停車していたところ、後方から普通乗用車が追突し、その衝撃で頭部を強打し、負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	参観日に出席するため、年休を取得して自宅に向かっていたところ、後続車に追突されて負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	車で通勤しており、職務を終えて勤務地から駐車場に向かって横断歩道を歩いていたところ、前方不注意の車と接触して負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	車で退勤途中、赤信号で停止していたところ、後続車に追突されて負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	自転車で出勤中、T字路で右折しようとした自動車と衝突し、負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	自家用車での退勤路上、雪道による渋滞の中、徐行していたところ、後続の乗用車に追突され、その衝撃で負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	交差点で停車していたところ、後方から来た車に追突され、負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	自家用車で出勤途中、T字路を直進しようとしていたところ、乗用車が側道左側から急に右折してきたため、衝突して負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	準夜勤のため、原付自転車で病院に出勤途中、青信号で交差点を直進していたところ、対向車線を走行していた自動車が右折したため、衝突して負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	二輪車で退勤途中、左側脇道から侵入してきた車と衝突して負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	自家用車での通勤中、反対車線を走行していた相手方車両がセンターラインを大きくはみ出したため、被災職員の運転する車両と衝突し、負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	出勤途中、直進していたところ、左方から一旦停止せずに出てきた車両と衝突し、その反動で車両が反対車線に飛び出し、反対車線を走行していた車両と衝突した。
	交通事故(道路)	創傷(擦過傷含む)	普通乗用車で出勤途中、前日の降雪で路面に雪が残っており、車が意に反して左右に揺れ始めて横滑りし、電柱に衝突して負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	自家用車で通勤中、先行車が右折するので停車していたところ、後続車に追突されてその衝撃で頭部を座席上部で打ち、負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	軽二輪で退勤途中、信号機のない交差点に差し掛かったところ、交差点に進入してきた自転車と衝突し、転倒して負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	駅を下りて徒歩で勤務地に出勤していたところ、コンビニの駐車場から車が急にバックで歩道に進入したため、接触・転倒して負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	妻の運転する車に同乗して出勤途中、T字路を直進しようとしていたところ、乗用車が側道左側から急に右折してきたため、衝突して負傷した。
	交通事故(道路)	捻挫(腰痛を除く)	自家用車での通勤中、赤信号で停止していたところ、後続の普通乗用車に追突され、被災職員の車も前の車に追突し、負傷した。
	墜落・転落	打撲・挫傷	勤務終了後、徒歩で職場前の車道を駐車場に向かっていたところ、深さ1mの溝に転落して負傷した。
	転倒	骨折	勤務終了後、バイクで帰宅しようとしたところ、ブレーキをかけていない状態でアクセルを回したため、転倒して負傷した。
	転倒	骨折	徒歩で出勤途中、庁舎敷地内の公園(開放型)の通路でつまづいて転倒し、負傷した。
	転倒	骨折	原動機自転車での出勤途中、右折しようとしてブレーキをかけてハンドルを右に切ったところ、雨で路面が濡れていたため、滑って転倒した。
	転倒	骨折	自動二輪で出勤途中、交差点に入ろうとしたところ、信号無視した自転車が交差点の横断歩道を横切ったため、接触して転倒し、左足を自動二輪に挟まれて負傷した。

通勤災害全体

九職種名称	事故の型	傷病名	災害発生状況
	転倒	骨折	雪のためバスの運行が遅れると判断し、自宅から駅まで徒歩で出勤することとし、10分ほど歩いたところ、雪に足をとられて転倒し、負傷した。
	転倒	骨折	バイクで帰宅途中、道路を横断していた歩行者を避けるためにブレーキをかけたところ、雨で路面が濡れていたため、スリップして左側に転倒し、左肩等を強打した。
	転倒	創傷(擦過傷含む)	被災職員は、自宅からJR駅まで自転車で通勤中、三叉路を左折しようとしたところ、路面が凍結しており、自転車が滑って転倒し、負傷した。
	転倒	創傷(擦過傷含む)	原付自転車で出勤途中、坂道を下っていたところ、路面が凍結していたため、転倒して負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	自転車で歩道を走行して帰宅していたところ、歩行者がいたため、車道に出ようと思い、車道と歩道を仕切っている低い段差を超えようとしたが、タイヤが段差の溝に沿って滑り、転倒して負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	二輪車で通勤途中、前車が急ブレーキをかけたため、ブレーキをかけたところ、車輪がロックして転倒し、負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	スクーターで出勤途中、交差点を左折しようとしたところ、前輪がスリップして転倒した。
	転倒	打撲・挫傷	原付自転車で出勤途中、交差点で一旦停止しようとしたところ、停止線付近が凍結していたため、滑って転倒し、頭部を強打した。
	転倒	打撲・挫傷	通常バス通勤をしているが、当日は雪が降っていたため、知人に送ってもらい、下車後、勤務先の出入口に向かって歩いていたところ、凍結した路面で転倒して頭部を打撲した。
	転倒	捻挫(腰痛を除く)	退勤途中、横断歩道を歩いて渡っていたところ、自動二輪車と接触し、転倒して負傷した。
	転倒	捻挫(腰痛を除く)	自宅を出て自転車に乗って出勤しようとしていたところ、ハンドル部分に掛けていた傘が前輪とフレームの間に挟まり、転倒して負傷した。
	動作の反動、無理な動作	骨折	自家用車で出勤し、職員用駐車場に駐車して勤務場所に向かって歩いていたところ、段差で足を捻って負傷した。

【第三者加害事案（全体）】

〔分析結果〕

- 9職種別では、「その他の職員」43.6%、「警察職員」18.3%、「運輸事業職員」9.9%、「義務教育学校職員」、「清掃事業職員」がそれぞれ8.5%で続いている。
- 40職種別では、「一般事務職」が22.6%で最も高く、「警察職員」18.3%、「その他の教育公務員」11.3%、「清掃職員」・「運転士・車掌等」がそれぞれ9.9%で続いている。
- 男女別では、「男性」73.2%、「女性」が26.8%となっている。
- 年齢層別では、「50歳代」29.6%、「40歳代」28.2%、「30歳代」25.4%、「20歳代」15.5%が続いている。
- 月別分類では、「10月」が15.5%で最も高く、「11月」14.1%、「7月」11.3%、「5月」、「9月」がそれぞれ9.9%で続いている。
- 曜日別分類では、「水曜日」が22.5%で最も高く、「木曜日」、「金曜日」がそれぞれ21.1%、「月曜日」16.9%が続いている。
- 時間別分類では、「8時」が18.4%で最も高く、「7時」15.6%、「11時」、「18時」がそれぞれ8.5%で続いている。
- 事故の型別分類では、「交通事故」42.3%、「激突」、「激突され」がそれぞれ18.3%で続いている。
- 起因別分類では、「分類不能」を除き、「自動車（乗用車）」が67.6%で最も高く、「バイク」、「人間」がそれぞれ12.7%、「トラック等」、「自転車」がそれぞれ2.8%、「動物」1.4%となっている。車輛を起因とするものが85.9%となり9割近くを占める。
- 傷病別分類では、「打撲・挫傷」が40.8%で最も高く、「捻挫（腰痛を除く）」28.2%、「骨折」26.8%が続いている。
- 業務別区分では「出勤途上」、「通常の職務遂行中」が29.6%で最も高く、「退勤途上」26.8%、「出張中」12.7%が続いている。
- 災害発生場所では、「交差点」が59.1%で最も高く、「その他道路」26.8%、「出先機関施設等」8.5%が続いている。
- 公通区分では、「公務災害」49.3%、「通勤災害」50.7%となっている。
- 補償方針区分では、「示談先行」66.2%、「補償先行」33.8%となっている。
- 加害区分では、「交通事故」が81.7%で最も高く8割以上を占め、「その他」8.5%、「公務執行妨害」4.2%、「生徒加害」、「同僚加害」がそれぞれ2.8%となっている。
- 平成22年9月30日現在の完結状況では、「全額免責完結」が53.5%で最も高く、「補償先行（未完結）」21.1%、「全額収納完結」・「示談先行（未完結）」がそれぞれ12.7%となっている。
未完結は、示談先行、補償先行をあわせて33.8%となっている。

区分	項目	実数	割合
9職種別	義務教育学校職員	6	8.5
	その他教育職員	4	5.6
	警察職員	13	18.3
	消防職員	2	2.8
	電気、ガス、水道事業職員	2	2.8
	運輸事業職員	7	9.9
	清掃事業職員	6	8.5
	船員		0.0
	その他の職員	31	43.6
	計	71	100.0
40職種別	医師・歯科医師		0.0
	看護師	2	2.8
	保健師・助産師	2	2.8
	その他の医療技術者	1	1.4
	保育所保育士	2	2.8
	施設保育士・寄宿舎指導員等		0.0
	調理員		0.0
	養護学校教員	1	1.4
	その他の教育公務員	8	11.3
	社会教育主事	1	1.4
	警察職員	13	18.3
	消防職員	2	2.8
	清掃職員	7	9.9
	土木技師	3	4.2
	運転士・車掌等	7	9.9
	農林水産技師		0.0
	建築技師	2	2.8
	栄養士	1	1.4
	農業等改良普及員		0.0
	司書・学芸員		0.0
	獣医師		0.0
	一般事務職	16	22.6
	一般技術職	2	2.8
	技能労務職	1	1.4
計	71	100.0	
男女別	男	52	73.2
	女	19	26.8
計	71	100.0	
年齢層別	10歳代	0	0.0
	20歳代	11	15.5
	30歳代	18	25.4
	40歳代	20	28.2
	50歳代	21	29.6
	60歳以上	1	1.3
	計	71	100.0
月日別	4月	4	5.6
	5月	7	9.9
	6月	6	8.5
	7月	8	11.3
	8月	5	7.0
	9月	7	9.9
	10月	11	15.5
	11月	10	14.1
	12月	4	5.6
	1月	4	5.6
	2月	3	4.2
	3月	2	2.8
	計	71	100.0
曜日別	月曜日	12	16.9
	火曜日	6	8.5
	水曜日	16	22.5
	木曜日	15	21.1
	金曜日	15	21.1
	土曜日	6	8.5
	日曜日	1	1.4
	計	71	100.0

区分	項目	実数	割合
時間別	0時		0.0
	1時	2	2.8
	2時		0.0
	3時		0.0
	4時		0.0
	5時	1	1.4
	6時		0.0
	7時	11	15.6
	8時	13	18.4
	9時	2	2.8
	10時	1	1.4
	11時	6	8.5
	12時	4	5.6
	13時	2	2.8
	14時	2	2.8
	15時	3	4.2
	16時	3	4.2
	17時	5	7.0
	18時	6	8.5
	19時	4	5.6
	20時	1	1.4
	21時	5	7.0
	22時		0.0
	23時		0.0
不明		0.0	
計	71	100.0	
事故の型別分類	墜落、転落		0.0
	転倒	5	7.0
	激突	13	18.3
	飛来、落下	1	1.4
	崩壊・倒壊		0.0
	激突され	13	18.3
	はさまれ、巻き込まれ	2	2.8
	切れ、こすれ		0.0
	高温・低温物との接触		0.0
	有害物等との接触		0.0
	動作の反動、無理な動作		0.0
	交通事故	30	42.3
	故意の加害行為	6	8.5
	踏み抜き		0.0
	破裂		0.0
	火災		0.0
	汚染血液による事故		0.0
	その他	1	1.4
	分類不能		0.0
計	71	100.0	
起因物別分類	建設用等機械		0.0
	その他の動力機械		0.0
	自動車(乗用車)	48	67.6
	トラック等	2	2.8
	バイク	9	12.7
	自転車	2	2.8
	注射針等		0.0
	装置、設備		0.0
	人力機械工具等		0.0
	仮設物、建築物、構築物等		0.0
	危険物、有害物等		0.0
	材料		0.0
	荷		0.0
	地山・岩石		0.0
	立木等		0.0
	水		0.0
	高温・低温環境等		0.0
	人間	9	12.7
	動物	1	1.4
その他		0.0	
その他起因物		0.0	
起因物なし		0.0	
分類不能		0.0	
計	71	100.0	

第三者加害事案(全体)

区分	項目	実数	割合
傷病名分類	骨折	19	26.8
	打撲・挫傷	29	40.8
	創傷・擦過傷	3	4.2
	火傷		0.0
	靭帯・腱断裂		0.0
	捻挫(腰痛を除く)	20	28.2
	神経損傷		0.0
	刺傷		0.0
	眼疾患		0.0
	呼吸器疾患		0.0
	その他		0.0
	疾病		0.0
計		71	100.0
業務別区分	出勤途中	21	29.6
	退勤途中	19	26.8
	通常の職務遂行中	21	29.6
	出張中	9	12.7
	その他	1	1.3
	計	71	100.0
災害発生場所	交差点	42	59.1
	その他道路	19	26.8
	本庁	0	0.0
	出先機関施設等	6	8.5
	その他	4	5.6
	計	71	100.0
該当区分	公務災害	35	49.3
	通勤災害	36	50.7
	計	71	100.0
補償方針区分	示談先行	47	66.2
	補償先行	24	33.8
	計	71	100.0
加害区分	通常事案(交通事故)	58	81.7
	公務執行妨害	3	4.2
	生徒加害	2	2.8
	同僚加害	2	2.8
	その他	6	8.5
	計	71	100.0
完結状況 (H22.9.30現在)	示談先行(全額免責完結)	38	53.5
	示談先行(未完結)	9	12.7
	補償先行(全額収納完結)	9	12.7
	補償先行(未完結)	15	21.1
	計	71	100.0

第三者加害事案

補償方針	事故の型	傷病名	災害発生状況	
(47件)	示談先行	激突	骨折	自動二輪車で出勤途中、後続の普通乗用車が追い越しの途中、急に左斜め前の脇道に左折したため、普通乗用車に衝突し、転倒、負傷した。
	激突	打撲・挫傷	自転車	自転車で退勤途中、信号機等で交通整理の行われていない四差路交差点を東方へ向け進行していたところ、左方から進行してきた軽四乗用自動車と出会い頭に衝突し、負傷した。
	激突	打撲・挫傷	公用車	公用車で公民館に連絡文書を届け、預かった文書を後部座席に取っていたところ、後部座席の側方からバックしてきた車に追突されて負傷した。
	激突	打撲・挫傷	災害現場	災害現場の水路清掃を終え、作業車両付近で後片付けをしていたところ、停車していた作業車両の後方から加害車両が勢いよく通り抜け、右側前タイヤで右足を踏まれて負傷した。
	激突	打撲・挫傷	普通自動二輪車	普通自動二輪車で退勤途中、赤信号で停車し、信号が青となり10メートルほど進んだところ、後方から軽四自動車に追突され、転倒し負傷した。
	激突	打撲・挫傷	原付自転車	原付自転車で出勤途中、渋滞で停止していた車の横を走行していたところ、対向車線から交差点を右折してきた車と衝突して負傷した。
	激突	捻挫(腰痛を除く)	出勤途中	出勤途中、道路幅の狭い交互通行の道で停止していたところ、後方から追突され、1回目の追突で車両が1m前に押し出されたところに2回目の追突があり、強い衝撃により負傷した。
	激突	捻挫(腰痛を除く)	出張用務終了後	出張用務終了後、帰庁するため国道を西進中、前走車が右折するために停車したので、自車も停車し、前走車の進行を待っていたところ、後方から進行してきた車に衝突され、負傷した。
	激突	捻挫(腰痛を除く)	出勤途中	出勤途中、左折しようとして停止していたが、相手方車両は当方の方向を確認せずに右折してきたため、当方の車両前部に衝突した。
	激突	捻挫(腰痛を除く)	勤務が終了し	勤務が終了し、車で帰宅していた際、赤信号で一時停止していたところ、後続の小型乗用車に追突され、負傷した。
	激突され	打撲・挫傷	公用車で下り車線	公用車で下り車線を走行中、上り車線を走行していた車が急ブレーキでスリップし、下り車線に侵入したため、衝突して負傷した。
	激突され	打撲・挫傷	公用車で下り車線	公用車で下り車線を走行中、上り車線を走行していた車が急ブレーキでスリップし、下り車線に侵入したため、衝突して負傷した。
	激突され	打撲・挫傷	自家用車での通勤途上	自家用車での通勤途上、交差点で停車していたところ、後方から普通乗用車が追突し、その衝撃で頭部を強打し、負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	車で退勤途中	車で退勤途中、赤信号で停止していたところ、後続車に追突されて負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	自家用車での退勤途上	自家用車での退勤途上、雪道による渋滞の中、徐行していたところ、後続の乗用車に追突され、その衝撃で負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	公用車で出張中	公用車で出張中、交差点で信号待ちをしていたところ、後続車に追突されて負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	自家用車で出勤途中	自家用車で出勤途中、T字路を直進しようとしていたところ、乗用車が側道左側から急に右折してきたため、衝突して負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	交差点で停車していたところ	交差点で停車していたところ、後方から来た車に追突され、負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	自家用車で出張し	自家用車で出張し、用務終了後、年次有給休暇をとって自宅へ帰宅する途中、赤信号で停止していたところへ後方から追突され、負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	車で通勤しており	車で通勤しており、職務を終えて勤務地から駐車場に向かって横断歩道を歩いていたところ、前方不注意の車と接触して負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	休日勤務を終え	休日勤務を終え、原付自転車で退勤していたところ、左方向からきた自動車が一時停止を無視して交差点に進入したため、衝突して負傷した。
交通事故(道路)	骨折	ごみステーションで	ごみステーションで収集作業を終了し、収集車の運転席に乗り込もうとしたところ、後進していた車がアクセルとブレーキを踏み間違えて収集車に衝突し、収集車と相手車両に挟まれて負傷した。	
交通事故(道路)	骨折	自家用車での通勤中	自家用車での通勤中、反対車線を走行していた相手方車両がセンターラインを大きくはみ出したため、被災職員の運転する車両と衝突し、負傷した。	
交通事故(道路)	骨折	二輪車で出勤途中	二輪車で出勤途中、交差点で右側の橋から進入してきた二輪車と衝突し、負傷した。	
交通事故(道路)	打撲・挫傷	バスを運行中	バスを運行中、同一方向右側を走行していた車が左折しようとしてレーンチェンジをしたため、車とバス右前部が接触して負傷した。	
交通事故(道路)	打撲・挫傷	自家用車で通勤中	自家用車で通勤中、先行車が右折するので停車していたところ、後続車に追突されてその衝撃で頭部を座席上部で打ち、負傷した。	
交通事故(道路)	打撲・挫傷	普通乗用車で出勤途中	普通乗用車で出勤途中、交差点で信号を無視して進入してきた普通乗用車と衝突し、負傷した。	
交通事故(道路)	打撲・挫傷	バスに乗務中	バスに乗務中、停車して乗務記録をつけていたところ、軽自動車がバス正面に衝突して負傷した。	
交通事故(道路)	打撲・挫傷	ごみ収集車に同乗し	ごみ収集車に同乗し、信号のない交差点を直進していたところ、左側から直進してきた普通乗用車と衝突して負傷した。	
交通事故(道路)	打撲・挫傷	ごみ収集車に同乗し	ごみ収集車に同乗し、信号のない交差点を直進していたところ、左側から直進してきた普通乗用車と衝突して負傷した。	

第三者加害事案

補償方針	事故の型	傷病名	災害発生状況
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	ごみ収集車を運転中、信号のない交差点を直進しようとしたところ、左側から直進してきた普通乗用車に気付き、停止しようとしたが間に合わず、衝突して負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	バスの運行中、普通乗用車が中央線を越えて走ってきたので急ブレーキをかけたが、バスが停止したと同時に相手車両がバスの前部に衝突して負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	公休日に勤務を命じられ、勤務を終了し自家用車(原付125cc)で退勤途中、交差点内を北向きに直進していたところ、対向の南進右折してくる車両と衝突し、負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	妻の運転する車に同乗して出勤途中、T字路を直進しようとしていたところ、乗用車が側道左側から急に右折してきたため、衝突して負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	駅を下りて徒歩で勤務地に出勤していたところ、コンビニの駐車場から車が急にバックで歩道に進入したため、接触・転倒して負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	車で退勤途中、渋滞していたため、徐々に減速して完全に車が停車したところ、後続車に追突されて負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	退勤途中、職員の1台後ろの小型自動車が2台後ろの小型自動車に追突され、職員の車に追突し、被災職員の車も1台前の普通乗用車に追突し、負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	自家用車で通勤中、信号で停止中、後続の原動機付自転車に追突され、その衝撃で頸部を座席上部で打ち、負傷した。
	交通事故(道路)	捻挫(腰痛を除く)	管内パトロールのため小型警ら車を運転中、横断歩道で停車した際、二重追突事故に遭い、負傷した。
	交通事故(道路)	捻挫(腰痛を除く)	自家用車で通勤中、赤信号で停止していたところ、後続の普通乗用車に追突され、被災職員の車も前の車に追突し、負傷した。
	転倒	骨折	自動二輪で出勤途中、交差点に入ろうとしたところ、信号無視した自転車が交差点の横断歩道を横切ったため、接触して転倒し、左足を自動二輪に挟まれて負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	学生風の男性に職務質問をしようとしたところ、逃走しようとしたので、スクーターの後部エアロパーツを掴み走って追跡したが、振り切れられ転倒、負傷した。
	転倒	捻挫(腰痛を除く)	退勤途中、横断歩道を歩いて渡っていたところ、自動二輪車と接触し、転倒して負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	捻挫(腰痛を除く)	ごみの収集作業が終わったので収集車運転者に合図するため、収集車の横を後ずさりしていたところ、収集車を追い越そうとした車両に左足甲を轢かれ負傷した。
	故意の加害行為	骨折	被災職員が、もう1人の同僚と下校指導をしていたところ、生徒に拳で胸を殴られ負傷した。
	故意の加害行為	打撲・挫傷	看護師へのセクハラ行為をした患者を注意したところ、患者の知り合いと名乗る男が看護師を出すよう要求したが、それに応じなかったため、激昂してごみ箱で職員の頭部を殴打して負傷した。
	故意の加害行為	打撲・挫傷	交通トラブルの現場へ臨場した際、加害者が被害者に掴みかかりそうになったので、防ごうと間に立ったところ、突き飛ばされ転倒し、負傷した。
補償先行 (24件)	激突	骨折	自動二輪車で退勤途中、交差点進入直前で信号が黄色に変わったが、そのまま交差点に進入したところ、対向で右折待ちをしていた軽四自動車の左側面と衝突し、路面に投げ出され負傷した。
	激突	骨折	バイクで出勤途中、対向車が事故の反動で中央線を越え、反対車線を走行していた被災職員に衝突した。
	激突	創傷(擦過傷含む)	出張終了後、公用車の後方に積んでいた採水容器を取り出そうとして公用車のバックドアを覗き込んだところ、隣にいた職員がバックドアを閉めたため、頭部がドアの角に衝突して負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	週休日に勤務を命じられ、バイクで退勤途中、赤信号で停止していたところ、後方から車両に追突され、右斜め前方へ投げ出され、別の停車中の車両にぶつかり、負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	自転車で出勤中、T字路で右折しようとした自動車と衝突し、負傷した。
	激突され	捻挫(腰痛を除く)	参観日に出席するため、年休を取得して自宅に向かっていたところ、後続車に追突されて負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	110番の現場へ向かうため、小型警ら車を運転し、交差点を右折しようとした際、対向車線から赤信号無視で直進してきた速度超過の普通乗用車と激突し、負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	110番の現場へ向かうため、小型警ら車に側乗し、交差点を右折しようとした際、対向車線から赤信号無視で直進してきた速度超過の普通乗用車と激突し、負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	捜査を終え帰宅していたところ、見通しの悪い交差点で普通自動車と出会い頭に衝突し、負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	通勤のため、普通自動二輪車で道路を直進していたところ、反対車線から右折した乗用車の側面に衝突し、負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	出勤途中、直進していたところ、左方から一旦停止せずに出てきた車両と衝突し、その反動で車両が反対車線に飛び出し、反対車線を走行していた車両と衝突した。
	交通事故(道路)	骨折	準夜勤のため、原付自転車と病院に出勤途中、青信号で交差点を直進していたところ、対向車線を走行していた自動車が右折したため、衝突して負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	二輪車で退勤途中、左側脇道から侵入してきた車と衝突して負傷した。

第三者加害事案

補償方針	事故の型	傷病名	災害発生状況
	交通事故(道路)	骨折	自動二輪車で退勤途中、交差点を直進しようとしたところ、対向車が右折しようと交差点に進入してきたため、衝突して転倒し、負傷した。
	交通事故(道路)	骨折	勤務終了後、自家用車で退勤途中に、交差点で右折した際、直進してきた大型トラックに自車左側部を衝突され、負傷した。
	交通事故(道路)	打撲・挫傷	軽二輪で退勤途中、信号機のない交差点に差し掛かったところ、交差点に進入してきた自転車と衝突し、転倒して負傷した。
	はさまれ、巻き込まれ	骨折	音楽科の授業で使用するために教育委員会から借りていた箏を、次の貸出先に搬送する車まで運んでいた。他の職員が誤ってトランクの扉を開けて、車とトランクの扉の間に指を挟まれて負傷した。
	転倒	打撲・挫傷	バイクで帰宅中、交差点を通過直後、歩道端の電柱と植え込みの間から、目の前の道路に人が現れたが、回避できず軽く接触後、バイクとともに転倒し、負傷した。
	転倒	捻挫(腰痛を除く)	小学校の校門から転がり出たボールにより車が損害を受けたとして市に損害賠償を要求している住民が市長に会わせると大声をあげたので、静止しようとしたところ、住民に左腕を払いのけられ、そのはずみで後ろに転倒し、事務室の椅子で後頭部を強打し、負傷した。
	飛来・落下	捻挫(腰痛を除く)	帰りの会で生徒を注意したところ、その生徒が被災職員が座っていた椅子をいきなり後ろに引いたため、椅子から落ち、臀部及び頭部を打ち、負傷した。
	故意の加害行為	創傷(擦過傷含む)	宅地造成工事のため、里道に行き止まりの看板を立てたところ、立腹した住民と一緒にいた職員に暴力行為に出たため、止めに入ったところ、顔面を殴打され、腕を噛まれた。
	故意の加害行為	打撲・挫傷	宅地造成工事のため、里道に行き止まりの看板を立てたところ、立腹した住民車のボンネットに押し倒され、携帯電話の紐で首を絞められて負傷した。
	故意の加害行為	打撲・挫傷	バスを運行中、側道から合流しようとしていた車両の進路をふさぐように停車したため、車両の運転者が腹を立て、バスの窓越しから殴りかかってきた。
	その他	創傷(擦過傷含む)	もめごと事案に対応するため発生場所である廣畑方へ赴き、通報者へ事情聴取を始めようとしたところ、通報者の隣へ座っていた子犬が突然吠えだし、右足の親指の付け根を咬まれた。

【 凡 例 】 職種の区分について

① 義務教育学校職員

公立の小学校、中学校並びに特別支援学校の小学部及び中学部の職員であって、市町村立学校職員給与負担法第1条に掲げるもの

注) 市町村立学校職員給与負担法(昭和23年法律第135号)
第1条 市(特別区を含む。)町村立の小学校、中学校、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、助教諭、養護助教諭、寄宿舍指導員、講師、学校栄養職員及び事務職員の給料、扶養手当……は、都道府県の負担とする。

② 義務教育学校職員以外の教育職員

義務教育学校職員以外の公立学校の職員並びに教育委員会及びその所管に属する教育機関(公立学校を除く。)の職員

③ 警察職員

都道府県警察の職員(国家公務員である職員を除く。)

④ 消防職員

消防本部及び消防署の職員並びに常勤の消防団員

⑤ 電気、ガス、水道事業職員

電気、ガス、水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業に従事する職員

⑥ 運輸事業職員

鉄道、軌道、索道、航空機、自動車、軽車両又は船舶による旅客又は貨物の運送事業その他貨物取扱事業に従事する職員

⑦ 清掃事業職員

清掃事業に従事する職員

⑧ 船員

船員法第1条に規定する船員である職員

⑨ その他の職員

前各号に掲げる職員以外のすべての職員